

2016 年度入学生
履修要覧

在学中保存

国際地域学部

- 国際地域学科
国際地域専攻
- 国際観光学科
- 国際地域学科
地域総合専攻

Faculty of
Regional
Development Studies



東洋大学

目次

建学の理念と教育方針 1

- 建学の理念 2
- 大学の沿革 3

はじめに 5

- 本書の見方 6
- 掲示板案内 7
- ToyoNet-G / ToyoNet ACE / ToyoNet メール 8

学修にあたって 11

- カリキュラムの概要 12
- 卒業・学位 14
- 授業について 16
- 試験・レポート 26
- 成績 30
- その他 32

国際地域学部

各学科の履修方法と教育課程表 37

- 国際地域学科国際地域専攻 39
- 国際観光学科 68
- 国際地域学科地域総合専攻 98

諸資格について 119

- 教職課程 120
- 社会福祉主事 134

国際地域学部 学生支援プログラム 137

- 海外国際地域学研修 138
- 特別長期インターンシップ制度 142
- SFS (Short-term Field Study) 143
- テンブル大学ジャパンキャンパス学生交換プログラム 144
- 課外特別講座 145
- 外国語単位認定制度 147
- 国際地域学部語学賞 151
- 資格実務科目 152
- 大学院開講科目履修制度 155

海外留学・国際交流プログラム 157

- 海外留学プログラム 158
- Toyo Global Leader プログラム (TGL プログラム) 166
- ランゲージセンター課外プログラム 168

各種手続 171

- 各種相談や事務取扱窓口について 172
- 学籍情報 173
- 休学および復学 177
- 退学 180
- 除籍 182
- 再入学 183
- その他の学籍異動 184
- 各種証明書 185
- 納付金 187

建学の理念と教育方針

建学の理念

◆◆ 建学の精神 ◆◆

「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」

◆◆ 東洋大学の教育理念 ◆◆

【自分の哲学を持つ】

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学（人生観・世界観）を持つ人間を育成する。

【本質に迫って深く考える】

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方で、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

【主体的に社会の課題に取り組む】

社会の課題に自主的・主体的に取組み、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

◆◆ 東洋大学の心 ◆◆

【他者のために自己を磨く】

自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。

【活動の中で奮闘する】

現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

◆◆ 創立者 井上円了と東洋大学 ◆◆

東洋大学は、明治20（1887）年、哲学者・井上円了が創立した「私立哲学館」によってその歴史が始まりました。円了は幕末の安政5（1858）年、越後国長岡藩西組浦村（現在の新潟県長岡市浦）のお寺の長男として生まれ、明治14年、設立間もない東京大学文学部哲学科にただひとりの1年生として入学しました。勉学を通して「洋の東西を問わず、真理は哲学にあり」と確信します。当時のわが国は欧米文化至上主義の時代で、円了は西洋化に踊らされる日本を憂えていたと思われる。ここでいう哲学とは、「万物の原理を探り、その原理を定める学問」であり、それは観念的演繹的な哲学ではなく、事実と実証に基づく哲学であるという点が強調されました。

円了は創立前に「哲学はあらゆる事物の原理を定める学問であります。政治、法律はもとより科学や芸術まで、その根底には哲学がなくてはなりません」と述べています。この考えから明治20年「私立哲学館」という哲学専修の私立学校を創立しました。これが現在の東洋大学の前身にあたります。

円了が教育で目指した哲学は、いわゆる「哲学者」の養成ではなく、思想や精神を錬磨する術（すべ）であり、他に応用する能力も身につけなければならないものであると説いています。

哲学という言葉が初めて使われた明治時代から、哲学の欠如が問われている現在までの125年以上にわたり、東洋大学も激動の歴史を歩みながら、創立者井上円了の教育理念を継承してきました。

哲学館創立以降に、円了は「余資なく、優暇なき者」のために「社会教育」と「開かれた大学」を目指して活動を開始しました。その一つに、学校開設の翌年から『哲学館講義録』を発行して、通学できない者にも勉学の機会を与えました。これは当時としては画期的なことであり、この精神は現在の通信教育部に受け継がれています。

さらに、円了は30代から生涯続けることになる全国巡講を始めています。統計の残っている明治39年から大正7年までの13年間で、全国60市、2198町村において5291回の講演を行い、社会教育に力を入れました。明治の日本に新しい教育の扉を開こうとした円了の情熱がうかがえます。この心を引き継いで現在の東洋大学では「開かれた大学」を目指し、講師派遣事業や公開講座など、地域のみならず全国の人々に生涯学習の場を提供しています。

大学の沿革

1887 (明治 20) 年 9 月	井上円了が私立哲学館を創立 本郷区龍岡町 (現在の東京都文京区湯島) の麟祥院で授業開始
1889 (明治 22) 年 11 月	本郷区駒込蓬萊町に新校舎を開設
1897 (明治 30) 年 7 月	原町 (現在の文京区白山) に移転 (現在の白山キャンパス)
1906 (明治 39) 年 6 月	私立東洋大学と改称
1920 (大正 9) 年 5 月	「私立」の冠称が廃止され、「東洋大学」と改称
1949 (昭和 24) 年 4 月	新制大学に移行、文学部を設置
1950 (昭和 25) 年 4 月	経済学部を設置
1956 (昭和 31) 年 4 月	法学部を設置
1959 (昭和 34) 年 4 月	社会学部を設置
1961 (昭和 36) 年 4 月	川越キャンパス (埼玉県) 開設 川越キャンパスに工学部を設置
1963 (昭和 38) 年 4 月	附属姫路高等学校 (兵庫県) 開設
1964 (昭和 39) 年 4 月	附属牛久高等学校 (茨城県) 開設 通信教育部を設置
1966 (昭和 41) 年 4 月	経営学部を設置
1967 (昭和 42) 年 11 月	創立 80 周年記念式典を挙行
1977 (昭和 52) 年 4 月	朝霞キャンパス (埼玉県) 開設
1987 (昭和 62) 年 10 月	創立 100 周年記念式典を挙行
1997 (平成 9) 年 4 月	板倉キャンパス (群馬県) 開設 板倉キャンパスに国際地域学部、生命科学部を設置
2005 (平成 17) 年 4 月	朝霞キャンパス (文・経済・経営・法・社会学部) 1・2 年次を 白山キャンパスに統一、一貫教育開始 朝霞キャンパスにライフデザイン学部を設置 井上円了記念博物館を開館
2006 (平成 18) 年 4 月	白山第 2 キャンパス開設
2009 (平成 21) 年 4 月	工学部を再編し理工学部を設置 川越キャンパスに総合情報学部を設置 国際地域学部を白山第 2 キャンパスに移転
2011 (平成 23) 年 4 月	学校法人京北学園と法人合併 東京都板橋区に総合スポーツセンターを開設
2012 (平成 24) 年 11 月	創立 125 周年記念式典を挙行
2013 (平成 25) 年 4 月	板倉キャンパスに食環境科学部を設置 国際地域学部を白山キャンパスに移転
2014 (平成 26) 年 4 月	附属姫路中学校 (兵庫県) 開設
2015 (平成 27) 年 4 月	附属牛久中学校 (茨城県) 開設 東洋大学京北中学高等学校が新たに教育活動を開始

はじめに

本書の使用方法について説明します。

- ・ この履修要覧は 2016 年度入学生に適用されるものです。2015 年度以前に入学した学生は、自分の入学年度の履修要覧を使用してください。
- ・ 履修要覧には学生生活を送るうえで、とても重要な事項がたくさん記載されています。
- ・ 履修要覧は、卒業時まで使用します。紛失した場合、再発行はしませんので、大切に保管してください。なお、履修要覧は本学ホームページにてダウンロード可能です。
- ・ 履修要覧の記載事項に修正が生じた場合は、各学部掲示板等でお知らせします。

本書の見方

用語解説

本文内で記載された用語の解説、補足説明です。

掲示板案内

◆◆ 掲示板 ◆◆

大学あるいは学部からの連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板またはToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。

大学への登下校時をはじめ、日頃から必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 HP ToyoNet 情報関連ページ <http://www.toyo.ac.jp/site/toyonet/> ●●



掲示内容により掲示板の場所が異なりますので、注意してください。

◎授業時間割表
各授業の「開講学期」「曜日時間」「教室」などが記載されている一覧表

ToyoNet-Gの学生
トップページで、学
生個人宛のお知らせ
や休講・補講情報を
確認することができます。

- ◎ ToyoNet-G p.8
- ◎ ToyoNet-ACE p.8
- ◎ ToyoNetメール p.9
- ◎ 休講・補講 p.18
- ◎ 試験 p.26
- ◎ 緊急時の情報掲載について p.18

掲示内容	対象学部	掲示板設置場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
休 講	全学部	1号館1階エレベーターホール および6号館1階	各学部教務課
授業・試験・補講 ・レポート	文・社会	5号館地下2階エレベーター前 (第1部)	
	経済・経営・法 ・国際地域	1号館1階エレベーターホール (第2部) 1号館1階1101教室前	
時間割表 (教室変更を含む)	文・社会	6号館地下1階6B12教室前	
	経済・経営・法 ・国際地域	1号館1階1102教室横	
教 職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	
教 職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	文	5号館地下2階エレベーター横	
	経済	1号館2階エレベーターホール	
	経営	1号館2階1203教室前	
	法	1号館2階1203教室前	
	社会	5号館地下2階エレベーター横	
キャリア形成支援 ・就職活動支援		1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
	拾 得 物	6号館1階	

参照ページ案内

項目に関連する参照ページを紹介します。

ToyoNet-G 活用例

ToyoNet-G (学務システム) で利用できる機能を紹介します。

注意事項

特に注意すべきことを紹介します。

Column

関連情報やアドバイスなどを記載しています。

Notice

注意事項の補足説明などを記載しています。

掲示板案内

◆◆ 掲示板 ◆◆

大学あるいは学部からの連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板またはToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。

大学への登下校時をはじめ、日頃から必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 HP ToyoNet 情報関連ページ <http://www.toyo.ac.jp/site/toyonet/> ●●



掲示内容により掲示板の場所が異なりますので、注意してください。

◎授業時間割表
各授業の「開講学期」「曜日時間」「教室」などが記載されている一覧表



ToyoNet-Gの学生トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

☉ToyoNet-G p.8
ToyoNet-ACE p.8
ToyoNet メール p.9

☉休講・補講 p.18
試験 p.26

☉緊急時の情報掲載について p.18

掲示内容	対象学部	掲示板設置場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
休 講	全学部	1号館1階エレベーターホール および6号館1階	
授業・試験・補講 ・レポート	文・社会	5号館地下2階エレベーター前 (第1部)	各学部教務課
	経済・経営・法 ・国際地域	1号館1階エレベーターホール (第2部) 1号館1階1101教室前	
時間割表 (教室変更を含む)	文・社会	6号館地下1階6B12教室前	
	経済・経営・法 ・国際地域	1号館1階1102教室横	
教 職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	
教 職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	文	5号館地下2階エレベーター横	
	経済	1号館2階エレベーターホール	
	経営	1号館2階1203教室前	
	法	1号館2階1203教室前	
	社会	5号館地下2階エレベーター横	
	国際地域	1号館3階1305教室前	
キャリア形成支援 ・就職活動支援		1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
拾 得 物		6号館1階	学生支援課
ボランティア募集	全学部	1号館1・5・6・7階 3号館ナレッジスクエア入口脇 4号館1階 6号館地下1階	
セミナーハウス ・イベント情報			
医 務 室			
学生相談室			
バリアフリー推進室			
留学生奨学金等			
奨学金・学生呼出			
運動部活動			

※掲示板の設置場所が変更された場合は別途お知らせします。

※ ToyoNet-G や ToyoNet-ACE でお知らせする場合があります。

◆◆◆ ToyoNet-G / ToyoNet-ACE / ToyoNet メール ◆◆◆

学生生活を過ごすにあたって、大学のさまざまな web システムを使用する機会が多くあります。

授業や各種手続、お知らせを確認するための主な web システムについて紹介します。

◆◆ ToyoNet-G ◆◆

大学での生活・学修上で必要となる手続き・登録を行うシステムです。大学生活に関する情報の発信も行っています。

< ToyoNet-G を使う一例 >

- ・各種登録（履修登録など）
- ・各種照会（成績、定期試験時間割など）
- ・各種申請の手続（住所変更、成績調査など）
- ・各種書類の印刷（履修登録確認表、成績表など）
- ・アンケート回答・申込
- ・大学からのお知らせ確認（個人宛／休講・補講情報など）

詳しい利用方法については ToyoNet-G の「各種資料」にある「ToyoNet-G 利用ガイドブック」を参照してください。

◎情報システム利用通知書

大学の web システムを利用するにあたって、一人ひとりに付与された ID・パスワード・メールアドレスが記載された書類。

自動証明書発行機で再発行することも可能。

◎ログイン方法

東洋大学ホームページより、「ToyoNet-G」のパナーをクリックしてください。ログインに必要な ID とパスワードは、入学時に配付する「情報システム利用通知書」に記載されています。

※パナーは東洋大学ホームページの下段にあります。

●● 関連 HP（東洋大学トップページ） <http://www.toyo.ac.jp/> ●●

◆◆ ToyoNet-ACE ◆◆

授業において、出席の管理や課題の提出などに使用されます。

また、授業時間以外でも授業への理解を深めるため、講義内容を補完するツールとして使用されることが多くあります。

< ToyoNet-ACE を使う一例 >

- ・授業の出席確認
- ・講義資料の配信
- ・授業担当教員からのお知らせ
- ・小テスト、レポートの提出
- ・テスト結果の報告

詳しい利用方法については「東洋大学情報システム利用ガイドブック」を参照してください。

◆◆ ToyoNet メール ◆◆

本学の学生一人ひとりに付与されるメールアドレスです。無料で使用できます。このメールアドレスを使って、授業担当教員へ連絡することができます。また、大学から ToyoNet メールアドレスへ連絡することができますので、確認するように心がけてください。

< ToyoNet メールを使う一例 >

- ・ 授業担当教員との連絡
- ・ 就職活動での連絡先

詳しい利用方法については「東洋大学情報システム利用ガイドブック」を参照してください。

◎ログイン方法

東洋大学ホームページより、「ToyoNet 学内情報システムポータル」のバナーをクリックしてください。

「ホーム／提供サービス」の「ToyoNet-ACE ログイン」または、「ToyoNet メール ログイン」をクリックしてください。

ログインに必要なIDとパスワードは、入学時に配付する「情報システム利用通知書」に記載されています。

※バナーは東洋大学ホームページの下段にあります。

●● 関連 HP (ToyoNet 情報関連ページ) <http://www.toyo.ac.jp/site/toyonet/> ●●

Column

～学内（白山キャンパス）の PC 教室・自習用 PC 教室について～

大学内には自由に使うことができる PC 教室があります。

< 学内の常設 PC スペース >

- ・ 3号館 1階 ナレッジスクエア
- ・ 1号館地下1階 ラーニング・コモンス（図書館内）

また、自習用として開放されている PC 教室もあります。ただし、授業などで使用できない時間帯もありますので、注意してください。

< 自習用 PC 教室 >

- ・ 3号館 2階

学修にあたって

カリキュラムの概要

◆◆基盤教育「東洋大学スタンダード」◆◆

「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の精神のもと、東洋大学は現在、地球規模の視点で物事をとらえ、自分の未来を切り開くことのできる「グローバル人財（人という財産）」の育成を目指しています。

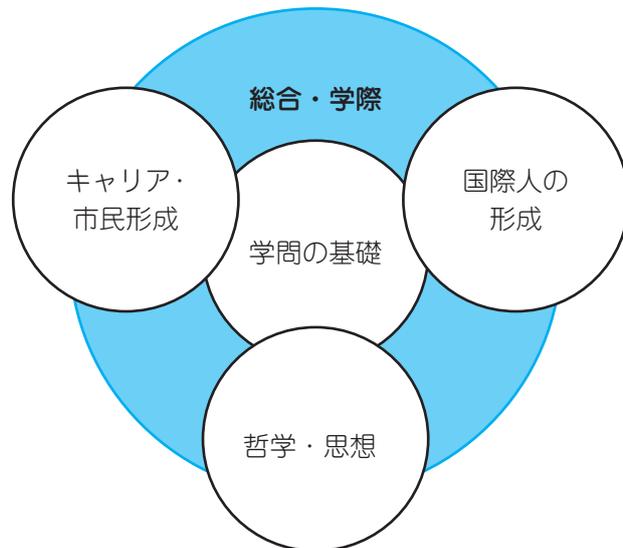
「東洋大学スタンダード」は、教育目標である「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」の3つの柱をつなぐ「教養教育」を強化し、学部の枠組みを越えて学ぶ基盤教育カリキュラムです。総合大学の特色を生かした幅広い教養教育として次のような枠組みを設けて展開しています。

<基盤教育による全学的人財養成の目標>

- 1) 哲学することを重んじ、自ら考え判断し行動する。
- 2) 知・徳・体の力を伸ばし、生命と自然を尊重する。
- 3) 学問を通じて、論理的思考力と生涯学習への礎を身につける。
- 4) 現代社会における諸課題を解決するための発想力・創造性を養う。
- 5) 自他の伝統と文化を相互に尊重するとともに、自らの個性を育む。
- 6) 21世紀のグローバル社会に貢献できる国際人・地球市民となる。
- 7) 総合的視野に立ち、他の分野の人々とも協働できるリーダーをめざす。

◎カリキュラム
大学の目的、学部学科の人材養成の目的を達成するために、開設する授業科目を配列し、どのような知識・能力を身につけることとなるのかを体系的に示したものを、教育課程。

◎学士課程教育
学部教育に加え、国際的通用性のある大学教育の課程の修了に関わる知識・能力を習得した者に学位を与える教育課程（プログラム）。



～基盤教育カリキュラム体系図～

基盤教育「東洋大学スタンダード」を学び幅広い知識・教養を身につけ、学科専門科目を深く体系的に学ぶことができるよう、本学の学士課程教育が構成されています。

基盤教育 東洋大学スタンダード	
哲学・思想	「建学の精神と思考鍛練の基礎」 東洋大学の伝統と歴史、創立者の考えを学ぶとともに、東西の哲学を通じて、自ら考え、判断し、行動する能力を身につけることを目指す科目群。創立者・井上円了によれば、「哲学教育」とは、思想鍛練の方法として必要な学問であり、ものの見方や考え方の基礎を身につけることにあります。グローバル人材の育成にあたり必要な実践哲学、倫理観の醸成を重視し、総合的な視野に立って他分野の人々とも協働できるグローバルリーダーを育成します。
学問の基礎	「普遍的な学問教育と論理的思考力の育成」 人文・社会・自然科学の学問領域を追求する、一般教養やリベラル・アーツといわれる科目群。学問上の方法論を修得し、論理的思考力の育成を目指すとともに、多様性を尊重し、地球環境の持続可能性を追求する人材を育成します。また、生涯にわたり学び続ける学習者としての態度を養います。
国際人の形成	「グローバル化した地球社会で生きる」 国際人を育成することに直接的に関わる、言語や情報等のコミュニケーション関連科目に加え、異文化理解や日本人としてのアイデンティティ、国際関係、地域文化などの理解を深める科目群。また、語学力・コミュニケーション能力を高めることで、他国の文化を受容・尊重し、自国の文化を世界に発信し、グローバル社会に貢献できる国際人・地球市民の養成を目指します。
キャリア・市民形成	「キャリア教育と知・徳・体の成長を重視した人格教育」 知・徳・体のバランスの取れた全人的人間性の養成を目指す科目群。めまぐるしく変化する現代社会においては、市民社会における個人の自由や権利を主張する一方で、地域のコミュニティを育て、連携して課題解決を目指し、協働することを学ぶ必要があります。社会的・職業的な課題における問題解決力や発想力の育成と、総合的な視野を持ち、他分野と協働できる能力の育成を目指し、自ら考え行動することを身につけ、自己実現を図ります。
総合・学際	「先進的で総合的な教育内容・学習法の取り組み」 さまざまな問題や課題を前面に出した複合的、総合的、学際的なテーマを設定する科目群。授業では最新の研究成果を広く他領域の学生に紹介し、複数の教員によるオムニバス形式、複数の教員が協働する同時登壇形式といった形式で行います。また、演習や討論、対話を通じて、学生が課題を探究・解決するアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。ICTを活用したキャンパス間をつないだ同時双方向遠隔授業なども行います。
留学支援	LEAP（学術英語習得プログラム）をはじめとする、学生の留学準備及び英語強化を支援する準集中型英語プログラムが展開されています。この科目群では、教室内外の学習機会を設けることで学生の TOEFL のスコア及び全体的な英語スキルの向上を達成しています。
専門教育科目	
学科専門科目	カリキュラムの中心となる最も多く履修・修得する必要がある学科専門科目群です。 必修・選択必修・選択科目等に分かれています。
教職科目	教育職員免許状を取得するために開設されています。

④ 教育課程表
国際地域学科
国際地域専攻
p.48～63
国際観光学科
p.80～96
国際地域学科
地域総合専攻
p.106～115

◆◆ 専門教育科目 ◆◆

本学部、各学科の人材養成の目的その他教育研究上の目的を実現するために必要なカリキュラムが構成されています。

詳しくは、各学科の教育課程表のページを参照してください。

卒業・学位

◎ 修業年限 p.175

◆◆ 卒業要件、修業年限／在学年限 ◆◆

卒業するには、4年（8セメスタ）以上在学し、各学科が定めている卒業要件をすべて充足することが必要です。

在学できる年数は最長で8年（休学期間を除く）と定められています。

◎ 卒業見込み

卒業見込みとは、休学期間を除いて6セメスタ以上在学後、(100単位以上修得)1年間(2セメスタ)在学し、所定の単位を修得することで、卒業要件を満たして卒業が可能になる状態を指します。卒業見込みが立っていてもすべての卒業要件を満たさなければ卒業できません。

卒業要件

- 1) 修業年限を満たしていること。
- 2) 各学科の卒業要件を満たしていること。
- 3) 卒業要件に含まれる科目の修得単位数が124単位以上であること。

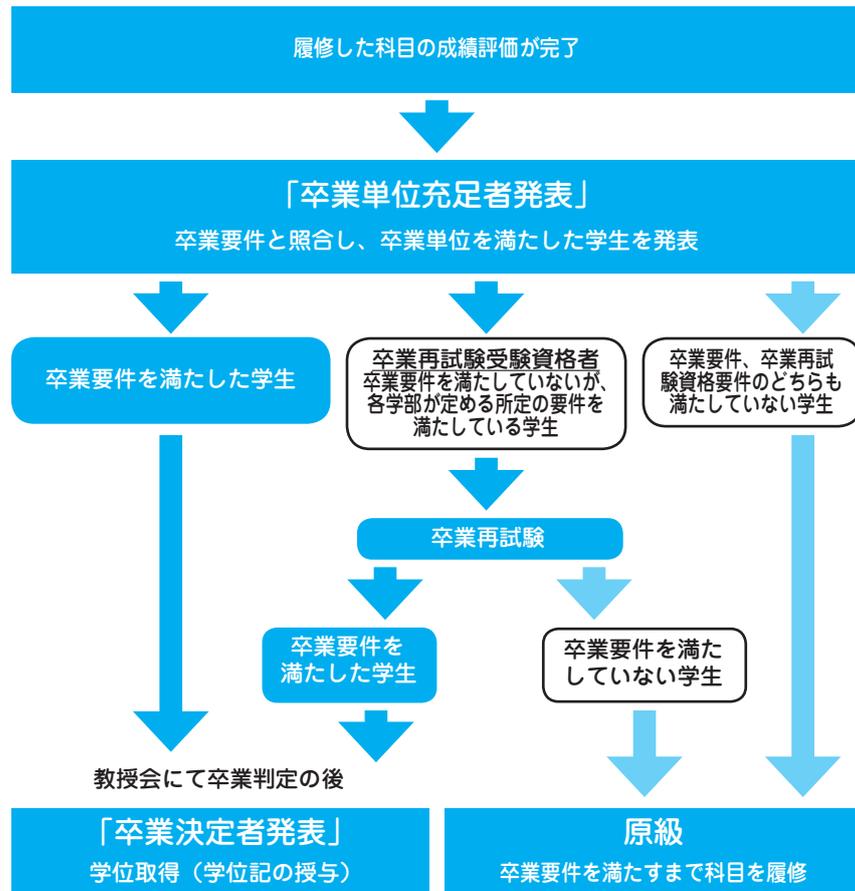
◆◆ 卒業決定の通知 ◆◆

教授会にて学部・学科の卒業要件と照合し、卒業可能かどうかを判定した後、卒業決定者を発表します。

卒業単位充足者、卒業決定者の発表は、ToyoNet-G 等にて行います。

卒業決定の通知の流れ（対象：8セメスタ以上の学生）

◎ 卒業再試験 p.28



学位の授与

修業年限を満たし、学科ごとに定められている卒業要件をすべて充足することで、学位が授与されます。

国際地域学科……学士（国際地域学）

国際観光学科……学士（国際観光学）



各学科の卒業要件を必ず確認してください。

国際地域学科 国際地域専攻… p.42 参照

国際観光学科 … p.73 参照

国際地域学科 地域総合専攻… p.101 参照

授業について

◆◆ (1) 学期・セメスタ ◆◆

本学では1年を次の学期に分けます。

春学期 (※ 4月1日～9月30日)						秋学期 (※ 10月1日～3月31日)					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業期間						授業期間					
				夏季休暇期間						春季休暇期間	

学籍異動
p.177～184

※学則上の学期日程と実際の学年暦（授業カレンダー）は異なることがあります。
学籍異動等の取り扱いは、学則上の学期日程（春：4月1日～9月30日、秋：10月1日～3月31日）で取り扱います。

※学年暦（授業カレンダー）、授業開始日、授業終了日等は年度によって変更することがありますので、「年度行事予定」（『学生生活ハンドブック』）で確認してください。

※履修登録期間は『履修登録のしおり・授業時間割表』（4月初旬に配布）にて、お知らせします。

また、追加の周知事項がある場合、秋学期の「履修登録のしおり」を9月にToyoNet-Gで配信する予定です。

（セメスタ制）

セメスタ制とは、1年を2つの学期（セメスタ）に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて学修し、卒業する制度です。年に2回（4月・9月）履修登録を行います。学期単位で授業が完結し、試験やレポート等の成績評価に基づいて単位が認定されます。

◆◆ (2) 授業時間 ◆◆

白山キャンパス・総合スポーツセンター（板橋区清水町）の授業時間帯は以下のとおりです。授業時間は90分です。

なお、授業時間帯は変更することがあります。

	時限	時間帯
第1部	1時限	9:00～10:30
	2時限	10:40～12:10
	3時限	13:00～14:30
	4時限	14:45～16:15
	5時限	16:30～18:00
イブニング コース	6時限	18:15～19:45
	7時限	19:55～21:25

! 定期試験は時間帯が異なります。注意してください。(p.27 参照)

! 白山キャンパス・総合スポーツセンター（板橋区清水町）間をまたがり履修する場合は、移動時間を30分以上要するため、履修登録できない時限があります。(p.21 参照)

◆◆ (3) 休講・補講／授業の欠席 ◆◆

◎休講

授業科目の担当教員の都合や緊急事態等により、当日の授業を行わないこと。

◎緊急時の授業の取扱い

下記①～③の場合、授業の取扱いについて、本学のホームページ・ToyoNet-Gにてお知らせしますので、大学の指示に従ってください。

- ①台風の接近等により交通機関の混乱が予想される場合
- ②台風・地震の災害等により交通機関が運行停止となった場合（人身事故等一般的な運行停止を除く）
- ③大規模地震の警戒宣言が発令された場合

※授業中に上記①、③の状況となった場合は、学内掲示、学内緊急放送にてお知らせします。

※学内で実施される講演会・講座等についても、上記措置に準ずるものとします。

休講の決定・お知らせ

担当教員のやむを得ない理由により、授業が休講となることがあります。

あらかじめ休講とする場合には、休講掲示液晶ディスプレイ、ToyoNet-Gの「休講・補講情報」にて通知されます。

緊急の場合には、教職員が直接教室にて連絡することがあります。

※授業開始時刻から30分経っても教員が教室に来ない場合は、教務課まで連絡のうえ、職員の指示に従ってください。

休講の確認方法

- ・液晶ディスプレイ（1号館1階、6号館1階）
- ・ToyoNet-G
ToyoNet-G ログイン後、トップページにて確認することができます。



休講情報は
ここで確認できます。
補講情報は
ここで確認できます。

◎補講

授業を休講したことにより、定められた授業計画（週）を補うために行われる授業のこと。

補講実施のお知らせ

原則休講に対する補講が行われます。補講実施情報は、学内掲示板、ToyoNet-Gの「休講・補講情報」にてお知らせします。

※補講は補講実施期間内に行う場合と、期間外に行う場合があります。

授業の欠席について

やむを得ない理由により、授業を欠席する場合は、担当教員に直接連絡してください。教員の連絡先は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」にて確認してください。

窓口・電話等での取り次ぎは一切行いません。

ただし、病気・ケガ等により長期欠席することが予想される時には、教務課へ連絡のうえ相談してください。なお、教育実習、介護等体験により授業を欠席する場合は、指定用紙にて担当教員にあらかじめ届け出てください。

☎ 教員との連絡 p.25

◎感染症治癒証明書

感染症に罹患した場合、出席停止となります。治癒後、診断を受けた医師から治癒証明を受け、証明書を医務室に提出してください。

感染症治癒証明書は ToyoNet-G の「各種資料」からダウンロードできます。

☎ 休学 p.177

欠席の理由	提出書類	連絡方法	備考
体調不良ほか自己都合	教員の指示に従う	教員へ直接連絡 (次回授業出席時・メール)	冠引きの場合でも原則出席扱いにはなりません。
指定感染症による出席停止（インフルエンザ、はしか等）	感染症治癒証明書	医務室へ電話連絡の後、 教員へ直接連絡（次回授業出席時・メール）	出席停止の場合でも原則出席扱いにはなりません。
3ヶ月以上の欠席を要する病気・怪我	休学許可願 (休学する場合)	教務課へ連絡	病気・家庭の事情等の理由により、3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て、休学することができます。

※メールのみの連絡は一方的かつ行き違いの原因となります。必ず次回出席時に担当教員に申し出てください。
※交通機関の影響等による遅刻の場合は、交通機関発行の遅延証明書を担当教員に提出してください。

◆◆ (4) 単位のしくみ ◆◆

授業科目には学修時間に応じた単位数が定められており、卒業要件等の基準は修得すべき単位数として規定されています。1単位は、授業や自習（予習・復習）を含めた45時間の学修に対応しており、45時間の学修のうち授業の占める時間は、講義・演習科目は15時間、外国語科目は30時間、実験・実技・実習科目は45時間と設定されています。

1学期週1回15週にわたって授業が実施されるのが、標準的な授業形態です。授業時間はどの科目も90分間です。

授業科目の区分と1単位における学修時間

授業科目等	単位数	授業実施	学修時間		
			授業時間	予習・復習時間	合計
講義・演習	1単位	15週	15時間	30時間	45時間
外国語科目	1単位	15週	30時間	15時間	45時間
実験・実技・実習	1単位	15週	45時間	0時間	45時間

◆◆ (5) 履修計画・履修登録 ◆◆

各学科の教育課程表に沿って、計画的な履修をするようにしてください。また、履修計画を立てるにあたっては、カリキュラムマップを参考にし、不明点は教職員の履修指導を受けるなど、段階的に学修に取り組むようにしましょう。

なお、授業を受け、単位を修得するためには、事前に履修を希望する授業科目の登録（「履修登録」）が必要です。

履修計画のポイント

- ①所属学科の卒業要件をよく理解すること。
- ②所属学部の『履修登録のしおり・授業時間割表』をよく読み、当該年度の履修上のルールなどについて、きちんと把握すること。
- ③必修科目や選択必修科目など、卒業要件のうち優先度の高い科目については、配当学年（履修可能年次）において早めに履修すること。「履修登録」はToyoNet-Gより行うこと。
- ④『履修登録のしおり・授業時間割表』をよく読み、履修を希望する科目同士の時間割の重複（曜日・時限・開講学期）がないか確認すること。重複があった際には、上記③の優先度を考慮して履修すること。
- ⑤進級する際や成績発表後は、これまで履修し、単位修得した科目を振り返り、残りの必要単位数や修得が必要な科目を確認すること。
また、各学科の『カリキュラムマップ』を参考に、これまで履修した科目やこれから履修する科目の関係性を理解するとともに、卒業までに必要な知識・能力などを踏まえ、選択科目などの必要な履修の参考にすること。
- ⑥必要に応じて、教員に相談するほか、履修ガイダンスに参加し、必要な科目をチェックすること。

④ 卒業要件
国際地域学科
国際地域専攻
p.42
国際観光学科
p.73
国際地域学科
地域総合専攻
p.101

④ 「履修登録のしおり・
授業時間割表」の配
布 p.16

⑤ カリキュラムマップ
国際地域学科
国際地域専攻
p.46
国際観光学科
p.78
国際地域学科
地域総合専攻
p.105

！ 定められた期間に「履修登録」をしないと、履修希望する科目の受講、試験の受験が認められず、単位の修得もできません。

◆◆履修登録の流れ◆◆

履修関係書類配布：新入生 就学手続時
 在校生 進級手続時
 『履修要覧』『履修登録のしおり・授業時間割表』等が配布されます。



Web 履修登録ガイダンス（新入生のみ）
 新入生は4月初めにWeb履修登録のガイダンスがあります。
 （在校生はWeb履修登録に関する特別なガイダンスは行わないので、ToyoNet-G「各種資料」にある『ToyoNet-G 利用ガイドブック』で確認すること）



時間割作成
 『履修要覧』『シラバス（講義要項）』『履修登録のしおり・授業時間割表』（及び前学期の「成績表」）をもとに今学期履修する授業を決め、時間割を作成します。



Web 履修登録
 作成した時間割に基づき履修登録します。（学外のPCからも登録可能です）
 期間内なら何度でも登録の変更が可能です。（事前登録された科目を除きます）

窓口申請科目の登録
 各種単位認定科目についてはToyoNet-Gトップページの「お知らせ」から該当する申請書をプリントアウトし、教務課窓口に提出してください。
 ※履修登録期間内に行うこと

☎ToyoNet-G p.8



履修登録確認表【確定版】の出力（確定日以降に必ず行ってください。）
 各自の履修科目を証明する書類となるので成績発表時まで大切に保管してください。



履 修 登 録 完 了



履修取消（希望者のみ）
 定められた期間に教務課窓口で手続を行うことで、履修科目を取り消すことができます。

！ ①履修登録期間を過ぎてからの訂正は認められません。
 ②GPA制度に沿わない履修科目の取り消しはできません。『履修登録のしおり』をよく確認して下さい。

☎GPA p.31

◆白山キャンパス・総合スポーツセンター（板橋区清水町）間を
またがり履修する場合◆

キャンパス間の移動に 30 分以上を要するため、連続している時限では、白山キャンパスと総合スポーツセンター間をまたぐ履修はできません。

下表を参照のうえ、履修可能な時間割を作成し履修登録を行ってください。

1 時限	2 時限	昼休み	3 時限	4 時限	5 時限
●	履修不可				
履修不可	●				
			●	履修不可	
			履修不可	●	履修不可
				履修不可	●

●・・・総合スポーツセンター(板橋区清水町)で履修をする場合

◆◆ (6) 履修上限単位数 (CAP 制) と履修科目の制限 ◆◆

各学期 (セメスタ) に履修登録することのできる単位数に制限があります。

履修上限単位数

年次	春学期	秋学期
1 ~ 2	22 単位	22 単位
3 ~ 4	24 単位	24 単位

なお、履修上限単位数に含まれる科目は以下のとおりです。

	区分	履修制限
卒業要件 に含める	基盤教育	制限内
	専門教育科目	
	他学部他学科開放科目	
卒業要件 に含めない	自由科目	制限外
	教職科目	

履修科目の制限・注意

- (1) 既に修得した科目は履修できません（学科によっては重複履修可能な科目もあります）。
- (2) 上級学年に担当されている科目は履修できません。
- (3) キャンパス間をまたがる履修においては、履修ができない時限帯があります。
- (4) 隔年開講の科目や第1部・イブニングコースいずれかでのみ開講する科目があります。
- (5) 同一名称科目を同一学期に2科目以上履修することはできません。ただし、履修した科目を修得できなかった場合は、次学期以降に再度履修することができます。
- (6) 学部・学科・学年・クラス等が指定されている科目がありますので、「履修登録のしおり・授業時間割表」を確認の上、登録してください。
- (7) 自分の所属する学科の教育課程表にない科目を自由科目として履修する場合は、担当教員の許可を得て履修してください。
- (8) 科目によっては、定員を設けている場合があります。第1回目の授業に出席し、担当教員の許可を得ることが履修の条件となる科目もありますので、「履修登録のしおり・授業時間割表」やシラバスを確認してください。
- (9) 履修希望者が集中し、教室の収容定員を超えた場合は、抽選等により履修者を決定します。詳細は、「履修登録のしおり・授業時間割表」を確認してください。
- (10) 履修登録期間終了後、授業教室が変更される場合があります。

◆ (7) シラバス ◆

シラバス（講義要項）には、授業の内容（概要）や到達目標など、科目の履修を通じて身につけることのできる知識、能力、また各回の授業の進め方や内容、成績評価方法・基準、使用テキストや予習・復習の指示などが記載され、あらかじめ学生に示されています。

履修する科目を決める際に、シラバスを熟読することはもちろん、次回の授業の準備学習や復習の際の振り返りに用いるなど、シラバスを活用することによって学習効果を高めるよう努めてください。

シラバスは「ToyoNet-G」にて公開しています。

● ToyoNet-G p.8

シラバスの記載項目

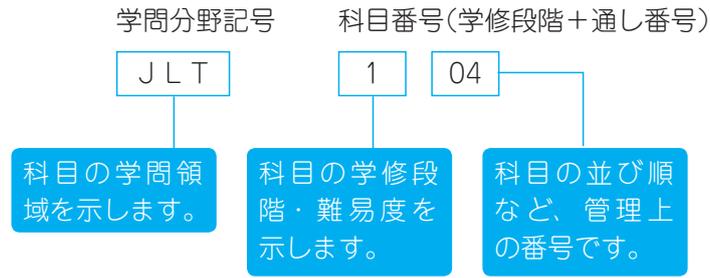
主な記載項目	記載内容
科目名	履修要覧・時間割表に記載されている科目名が示されています。
担当者	担当教員名が示されています。
サブタイトル	科目のサブタイトル、サブテーマが示されています。
講義の目的・内容	科目の目的として、どのような内容を学ぶのか、またどのように教授していくかについて示されています。
学修到達目標	履修を通じて身につけることのできる知識・能力などが具体的に示されています。
講義スケジュール	各回の授業内容・テーマをもとにしたスケジュールが示されています。
指導方法	担当教員がどのように授業内容を進めていくのかについて示されています。
事前・事後学習	授業を受講するにあたって、必要な予習・復習について示されています。
成績評価の方法・基準	どのような方法で成績評価をするのか、また評価方法ごとにどのような割合で成績に反映するのかについて示されています。
受講要件	履修にあたってあらかじめ必要な条件について示されています。
テキスト	授業で使用する教科書やテキストについて示されています。
参考書	授業に関連する参考書が紹介されています。

シラバスの検索方法

シラバスは ToyoNet-G で検索することができます。

調べたい科目名や教員名を入力

◆ (8) 科目の記号と番号 (科目ナンバリング) ◆



各授業科目には、記号と番号が付されています(各学科教育課程表を参照)。記号と番号の意味は以下のとおりです。

学問分野記号

教育課程表上の各科目に付されている学問分野記号は次のとおりです。

◎教育課程表
国際地域学科
国際地域専攻
p.48 ~ 63
国際観光学科
p.80 ~ 96
国際地域学科
地域総合専攻
p.106 ~ 115

ABE	建築学	ENV	環境保全学	LIH	図書館情報学・人文社会情報学
ACC	会計学	EPS	環境政策・環境社会システム	LIN	言語学
ARC	考古学	ESS	教科教育学	MAN	経営学
ARS	地域研究	EUL	ヨーロッパ文学	MAT	数学
ASA	美学・芸術諸学	FAH	美術史	MOF	金融・ファイナンス
AST	天文学	FLE	外国語教育	MUD	マルチメディア・データベース
BAB	基礎生物学	FRA	語学(フランス語)	NDD	自然災害科学・防災学
BSC	基礎化学	FUL	基礎法学	PFP	財政・公共経済
CAS	文化財科学・博物館学	GBC	GBCセミナー(経営学部)	PHE	哲学・倫理学
CEE	土木環境システム	GDE	ジェンダー	PHY	物理学
CEP	土木計画学・交通工学	GER	語学(ドイツ語)	POL	政治学
CHI	語学(中国語)	GGR	地理学	PSY	心理学
CHL	中国文学	HAA	アジア史・アフリカ史	PUL	公法学
CIB	中国哲学・印度哲学・仏教学	HEA	ヨーロッパ史・アメリカ史	RES	宗教学
CIL	民事法学	HIS	史学	SCE	科学教育
CIV	キャリア/インターンシップ/ボランティア系組	HIT	思想史	SEM	ゼミナール/基礎演習
CLI	臨床心理学	HSG	史学一般	SHS	科学社会学・科学技術史
CME	商学	HSS	健康・スポーツ科学	SNE	特別支援教育
CRL	刑事法学	HUG	人文地理学	SOC	社会学
CUA	文化人類学・民俗学	HYE	水工学	SOE	教育社会学
DEV	持続可能システム	IHR	国際人の形成	SOF	ソフトウェア
EAP	地球惑星科学	ILA	国際法学	SOL	社会法学
ECD	キャリア・市民形成	INN	情報ネットワーク	SOP	社会心理学
ECH	経済史	INR	国際関係論	SPS	スポーツ科学
ECO	経済学	ITS	総合・学際	SSS	社会・安全システム科学
ECP	経済政策	JLE	日本語教育	STS	統計科学
ECS	経済統計	JLN	日本語学	SUS	留学支援
ECT	理論経済学	JLT	日本文学	SWS	社会福祉学
EDE	経済学説・経済思想	JPH	日本史	THE	卒業論文/卒業制作
EDP	教育心理学	JPN	語学(日本語)	THI	情報学基礎理論
EDU	教育学	LAW	法学	TOS	観光学
ENE	エネルギー学	LIE	英米・英語圏文学	TPA	都市計画・建築計画
ENG	語学(英語)	LIG	文学一般	TYS	自校教育科目
ENL	英語学				

科目番号 (学修段階+通し番号)

100 番台	主に大学1年生を対象とした授業(1年次レベル)
200 番台	主に大学2年生を対象とした授業(2年次レベル)
300 番台	主に大学3年生を対象とした授業(3年次レベル)
400 番台	主に大学4年生を対象とした授業(4年次レベル)
500 番台	大学院レベル

※上記の科目番号は授業の難易度を示すものとして付されています。教育課程表に記載されている配当学年(履修可能年次)と異なる場合があります。

◆◆ (9) 教員との連絡 ◆◆

教員と連絡を取りたい場合は、次のような方法があります。

研究室を訪ねる

専任教員（教授、准教授、講師、助教）にはそれぞれ研究室があり、学生からの相談や質問を受けるために「オフィスアワー」が設けられています。

オフィスアワーでは、授業内容に関する質問や、学修の進め方、履修登録のプランなどの相談のほか、レポート指導なども行っています。その他、卒業後の進路や休学、転部・転科、留学、大学院進学などの進路に関する相談、学生生活全般の相談など、幅広い相談に対応しています。

非常勤講師の教員は、研究室を持たないため、オフィスアワーがない場合があります。連絡を取りたい場合は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている連絡先を参照してください。

◎オフィスアワー
正課の授業とは別に授業や学修について相談できる場として設けた時間帯のこと。

◆オフィスアワーの確認方法◆

- ① ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている「オフィスアワー」の時間帯、研究室の場所を確認し、訪問してください。予約が必要な場合もありますので、あらかじめ確認することをお勧めします。
- ② 研究室のドアに貼られている「オフィスアワー」を確認し訪問してください。研究室には、以下のような掲示がされています。



（オフィスアワーの掲示例）

メールを送る

ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されているメールアドレスを確認し、メールを送ってください。



メールで連絡する際には、必ず学籍番号・氏名を明記し、授業科目名を書くなど、相談内容を明確にし、簡潔にまとめること。

試験・レポート

◆試験について◆

- 1) 履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験に合格しなければなりません。
- 2) 試験には平常試験と学期末に行われる定期試験があります。科目によっては、レポートまたは平常点によって評価します。

試験には次の種類があります。

平常試験	各授業科目の担当教員により授業期間内に行われる試験
定期試験	7月～8月(春学期)及び1月～2月(秋学期)に設けられた一定の期間内に行われる試験 ※試験実施の2週間前に定期試験時間割表をToyoNet-Gで発表します。
レポート	試験のうち、担当教員の判断により筆記試験に替えて課す課題
卒業再試験	卒業単位充足者発表後、各学部所定の要件を満たした卒業を希望する4年生(8セメスタ以上)を対象として行われる試験

④ シラバス p.23

※授業ごとの成績評価方法については、シラバスの「成績評価の方法・基準」を確認してください。また授業中に担当教員から指示される場合があります。

定期試験受験上の注意

- (1) 履修登録確認表に記載されていない科目を受験しても無効です。
- (2) 試験時間は60分間です。試験期間中は、すべての時間帯が平常授業時とは異なります。また、試験会場も平常授業時の教室と異なる場合がありますので十分注意してください。
- (3) 1科目で試験会場が2ヵ所以上になる場合、学籍番号で試験会場を指定しますので、必ず指定された試験会場を受験してください。
- (4) 試験に際しては、すべて監督者の指示に従ってください。
- (5) 学生証がないと受験できないので必ず携帯し、試験会場では机上の指示された場所に提示してください。
- (6) 試験に関しては、担当教員の指示物以外を持ち込むことはできません。
- (7) 筆記用具(ボールペン、鉛筆、消しゴム)を必ず持参してください。貸出は一切行いません。
- (8) 試験会場に持ち込みできるものは、筆記用具・時計機能だけの時計・持ち込みが許可されたもののみです。携帯電話、スマートフォン等の通信機能が付いた機器は机上に置けません。試験の妨げにならないよう電源を必ず切ってください。なお、上記の機器、音楽プレーヤーを時計代わりに使用することはできません。
- (9) 試験中の飲食は禁止です。
- (10) 答案用紙には、まず学部・学科・学年・学籍番号・氏名を必ず黒のペンまたはボールペンで記入してください。
- (11) 学籍番号欄は学生証に記載されている学籍番号の10ケタすべてを記入してください。学籍番号、氏名のない答案用紙は無効となります。
- (12) 試験開始後20分までに入場しないと受験資格を失います。また開始後30分過ぎないと退場できません。中途退場した場合、再入場は認められません。
- (13) 天災、病気、その他やむを得ない理由によって、定期試験を受験できなかった場合は速やかに証明書または診断書(コピー可)等を添えて担当教員に届け出て、具体的な指示を受けてください。
- (14) 不正行為を行った場合は、学則(第57条)に基づき処分されます。
- (15) 交通機関の運行や天候の乱れ等に留意し、試験会場へは時間に余裕をもって入場してください。

定期試験時間割

定期試験は通常授業と異なる時間（60分）で実施します。

	時限	定期試験時間
第1部	1時限	9:20～10:20
	2時限	11:00～12:00
	3時限	13:00～14:00
	4時限	14:45～15:45
	5時限	16:30～17:30
イブニング コース	6時限	18:15～19:15
	7時限	19:55～20:55

※定期試験時間割は変更となる場合がありますので、毎学期、ToyoNet-Gで確認してください。

試験における不正行為

不正行為（本学の規則に反する行為、または学生の本分に反する行為）を試験において行った場合は、学則第57条に則り処分されます。

1. 処分の種類
処分は、譴責、停学又は無期停学とする。
2. 処分とその対象となる不正行為
 - (1) 譴責の対象となる行為
 - ア 持ち込みが認められているものの貸借。
 - イ 他人の答案の覗き見、答案を故意に他人に見せ又はそれを見る行為。
 - ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意を無視した行為。
 - エ その他アからウに準ずる行為。
 - (2) 停学1ヵ月の対象となる行為
 - ア 解答用紙を交換する行為。
 - イ 許可されていないもの（カンニングペーパー及びそれに類するものを含む。）の持ち込み。
 - ウ 書込みを許可されていない持込許可教材、机上、手掌等へ書込みをしておいた受検、又は、これに類似する行為。
 - エ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴言。
 - オ その他アからエに準ずる行為。
 - (3) 無期停学の対象となる行為
 - ア 替え玉受験。
 - イ 在学中における再度の不正行為。
 - ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴力行為。
 - エ その他、極めて悪質な行為。
3. 処分に伴う措置
 - (1) 処分の種別にかかわらず、不正行為のあった試験科目の単位は、当該年度（学期）において認定しない。また、上記「2. (2)」及び「2. (3)」の停学の対象となる行為については、当該年度（学期）の試験期間において実施される全ての試験科目の単位を認定しない。
 - (2) 停学期間は当該学部教授会で処分に関する意見を決定した日から起算することを原則とする。
 - (3) 決定した処分内容については、不正行為者が所属する学部の学部長が、本人及び保証人と面接のうえ、通達する。
 - (4) 停学期間中は、不正行為者に対してその所属学部が教育的指導を行う。
 - (5) 「譴責の対象となる行為ア及びイ」、「停学1ヵ月の対象となる行為ア」、「無期停学の対象となる行為ア」の不正行為は、その当事者全てが上記（1）～（4）の措置の対象となる。
4. 不服申立て
不正行為の指摘を受けた学生は、不服申立てをすることができる。

卒業再試験

4 年次生で卒業当該学期に卒業要件を満たしていない者について、以下の要領で「卒業再試験」を実施します。

(受験資格)

卒業再試験は 4 年次生で卒業を希望する者であり、卒業当該学期に卒業に必要な単位数で不足している科目数が 3 科目以内かつ 6 単位以内の者に対して所定の手続きを経て行われます。

(対象科目)

卒業再試験の対象となる科目は以下のすべてに該当する科目とします。

- (1) 卒業当該学期に履修登録を行っている科目
- (2) 卒業単位充足者発表時の評価で「D」の評価を得た科目

(対象除外科目)

以下の科目は卒業再試験対象科目から除外されます。

- (1) 演習、実習、実験、実技、ゼミナール関係科目
- (2) 卒業研究、卒業論文、卒業制作
- (3) 教職科目の内、教職に関する科目
- (4) 不正行為等により無効となった科目
- (5) 通常の評価において「E」「*（評価対象外）」と判定された科目
- (6) 科目の性質上、担当教員と開講責任学部の学部長が協議して卒業再試験にふさわしくないと判断した科目。ただし、その科目にあっては学生の履修登録以前に卒業再試験を実施しないことを学生に対して明示するものとします。

(再試験手続)

再試験は、卒業当該学期で発表される卒業単位充足者発表時に、定められた期間内に面接を受けた上で所定の手続を行うものとします。

- (1) 再試験手続を行わなかった場合は、自動的に受験する権利は消滅します。
- (2) 受験しようとする者は、卒業再試験対象科目であり、かつ卒業再試験を行う科目の中から、卒業に不足する単位数分の科目数のみ受験することができます。
- (3) 代理人による手続きは認められません。

(再試験受験料)

再試験受験料は以下の通りです。

1 科目 5,000 円

(再試験の評価)

卒業再試験の成績評価は以下の通りです。

- (1) 成績評価基準は、それぞれの科目において定期試験で実施した基準と同等とします。
- (2) 再試験の結果、合格した者の成績評価は「C」評価とします。

◆レポートについて◆

レポート提出方法、日時、提出先を授業時及び掲示板で確認してください。



教務課窓口では、レポート郵送先・教員の連絡先の照会に応じることはできません。

レポートボックス設置場所

担当教員の指定するボックス番号、提出物の回収締め切り日時等を確認してください。

設置場所 2号館3階 3号館連絡通路脇 (No.1～50)
6号館2階 6210 教室横 (No.51～80)

Column

～学修支援室を活用しよう～

白山キャンパス学修支援室では、次のような学修相談・各種講座等の支援を行っています。大学での学修をより良くするためにも、学修支援室を利用しましょう。

- (1) 学修上の諸問題に係る相談
- (2) レポート・論文の書き方相談、文献・資料の調べ方相談
- (3) 高校までの基礎学力向上に係る支援
- (4) 語学系資格取得に関する支援
- (5) 情報リテラシーに係る支援
- (6) 留学希望者への事前学修および留学後の事後学修に係る支援
- (7) 留学生に対応した日本語ライティング支援、論文の書き方相談

～開室時間～

月～金 10:00～18:00 3号館1階 ナレッジスクエア内

※開室日時は変更になることがあります。利用の際は、ホームページにて確認してください。



成績

◆◆単位の認定◆◆

単位の認定は、履修登録した科目に対して、出席状況、試験（レポート含む）等によって評価されます。

シラバス p.23



授業科目ごとの成績評価方法は、シラバスに記載された「成績評価の方法・基準」を確認してください。

◆◆成績評価基準◆◆

本学の成績評価基準は以下のとおりです。

合否	成績表示	評価点の範囲	基準
合格	S	100～90	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
	A	89～80	到達目標を十分に達成している。
	B	79～70	到達目標を達成している。
	C	69～60	到達目標を最低限達成している。
不合格	D	59～40	到達目標を達成していない項目がある。
	E	39以下	到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成していない。
	*	評価対象外	出席・試験・レポート提出等の評価要件を欠格。

※ 上記の到達目標とは授業科目のシラバスに明記された到達目標を指します。
 ※「評価対象外」とは、授業期間を通じ出席不良（3分の2以上出席していない）、またはレポート未提出、試験の不受験のために成績評価の判断ができないものを指します。
 ※上表のほかに、留学や他大学での学修成果などを単位認定する場合、「T（Transferの略）」を合格の評価として使用します。



履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験（レポート、平常試験等含む）に合格しなければなりません。

◆◆成績の通知◆◆

- (1) 成績は学期ごとに ToyoNet-G で通知します。成績発表日については掲示等でお知らせします。
- (2) 成績表は毎学期、保証人へ送付します（留学生を除く）。



保証人への送付を希望しない学生は、定められた期間に教務課窓口にて手続きを行ってください。

◆ GPA 制度 ◆

GPA (Grade Point Average) とは、授業科目ごとの成績に対して、4.0 ~ 0.0 のグレード・ポイントを付与し、この1単位あたりの平均を算出したもので、学生の学習到達度をはかる指標として、国内外の大学で広く使われています。

【GPA の算出方法】

$$\text{GPA} = \frac{(\text{Sの修得単位数} \times 4.0) + (\text{Aの修得単位数} \times 3.0) + (\text{Bの修得単位数} \times 2.0) + (\text{Cの修得単位数} \times 1.0) + (\text{Dの修得単位数} \times 0.0) + (\text{Eの修得単位数} \times 0.0) + (*\text{の修得単位数} \times 0.0)}{\text{総履修登録単位数}}$$

※対象とする科目は、卒業要件の科目とし、卒業要件以外の資格科目・自由科目は対象となりません。

※対象とする評価は、「S, A, B, C, D, E, *」とし、認定の評価「T」は対象となりません。

※再履修で評価を受けた成績については、最新の成績が反映されます。

※ GPA は計算結果の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示します。

◆ 成績調査 ◆

成績発表後、成績評価に誤りがあると思われる十分な理由がある場合、担当教員に成績評価に誤りがないか、確認の申請をすることができます。

成績調査の申請および申請結果の確認は ToyoNet-G で行ってください。



成績調査は成績の再考や、個別の得点の開示を求めるものではありません。十分な理由が示されていない、成績調査の趣旨に沿わない調査申請については申請を取り消されるので、本学の成績評価基準、及び各科目のシラバスに記載された「成績評価の方法・基準」を必ず確認したうえで申請してください。

◆ 単位僅少者に対する学修指導について ◆

📍 学修支援室 p.29

各セメスタもしくは学年の終了後、修得単位が僅少の学生に対して、学修計画の見直しなどの学修指導（面談）を行う場合があります。学部・学科からの連絡・指示に従って、学修指導を受けてください。

◆ ◆ その他

◆ ◆ 学生アンケートについて ◆ ◆

本学では、教育の改革・改善を目的として、各授業の改善を図るために各学期ごとに行う授業評価アンケートや、各学年のカリキュラムや教育方法、学修支援の検証を行うための学生アンケートを実施しています。

アンケートの実施は別途周知されますので、ご協力をお願いいたします。

◆ ◆ 学外での活動について ◆ ◆

学外実習・フィールドワーク等は、必ず担当教員の指示のもと実施・参加してください。実習先等への配慮はもちろんのこと、本学学生として自覚をもった行動をするよう心がけてください。

またすべての学生は、「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」に加入しています。傷害を被った場合は、所定の手続きにより保険の請求をすることができます。

詳しくは、『学生生活ハンドブック』を確認してください。不明点は、学生支援課窓口まで問合せてください。

◆◆ 4年間の主な流れ・スケジュール ◆◆

		1年次	2年次	3年次	4年次
4月	入学式 新入生オリエンテーション		進級手続		
		春学期履修登録・授業開始			
5～6月					
7月～9月		春学期試験・補講			
		夏季休暇			
		春学期成績発表・成績調査			
		秋学期履修登録・授業開始			※第8セメスタ以降学生対象 卒業単位充足者発表 卒業再試験 卒業決定者発表式 卒業式
10月～12月		大学祭			
		冬季休暇			
1月		秋学期試験・補講			
2月		春季休暇			
		秋学期成績発表・成績調査			
3月					※第8セメスタ以降学生対象 卒業単位充足者発表 卒業再試験 卒業決定者発表式 卒業式

※年度によって変更となる場合があるので、『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定表」を参照すること。

学則

学則（学籍に関する事項の抜粋）

平成 27 年 4 月 1 日現在
最新の学則はホームページをご確認ください。

第 3 章 修学等

第 1 節 修業年限

（在学年限）

第 20 条 卒業に必要な単位を修得するために在学できる年数（以下「在学年数」という。）は、通算して 8 年を限度とする。この場合において、休学年数は在学年数に算入しない。

2 再入学又は編入学をした者の在学年数は、前項の在学年数から再入学又は編入学までの通常の在学の年数を控除した年数とする。

第 4 章 入学、退学、休学及び除籍等

第 1 節 入学、留学等

（入学の時期）

第 24 条 入学期は、学期の初日から 30 日以内とする。

（入学資格）

第 25 条 学部第 1 年次に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- 三 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 文部科学大臣が指定した者
- 六 大学入学資格検定（平成 17 年 1 月 31 日規程廃止）に合格した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- 八 その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの

（入学の志願・選考）

第 26 条 入学志願者は、所定の書式による入学願書を提出し、別表（4）の 1 に定める入学検

定料を納入し、かつ、選考試験を受けなければならない。

（入学の手続き）

第 27 条 入学を許可された者は、入学金を納入し、所定の書式により誓約書を提出しなければならない。

（保証人）

第 28 条 保証人は、父、母又はその他の成人者で独立の生計を営む者でなければならない。

2 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

3 学生は、保証人を変更し、又はその氏名若しくは居住地に変更があったときは、速やかに変更届を提出しなければならない。

（学生証）

第 29 条 入学手続きを終えた者には、学生証を交付する。

（編入学）

第 30 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を希望するときは、選考の上、編入学を許可することができる。

- 一 短期大学を卒業した者
 - 二 大学を卒業した者
 - 三 高等専門学校を卒業した者
 - 四 専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- 2 編入学に関する規程は、別に定める。

（転入学）

第 31 条 他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、転入学を認めることができる。

2 転入学に関する規程は、別に定める。

（転部・転科）

第 32 条 学生が学部の他の部へ、又は他の学部・学科へ転部・転科を願い出たときは、選考の上、これを許可することができる。

2 転部・転科に関する規程は、別に定める。

（留学）

第 33 条 学長は、学生が外国の大学で学修することを願い出たときは、教授会の意見を聴いて留学を許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、在学年数に算入する。

(二重学籍の禁止)

第34条 学生は、他の学部・学科と又は他の大学と併せて在学することはできない。ただし、本学と本学の協定大学の間で実施されるダブル・ディグリー・プログラム及びジョイント・ディグリー・プログラムへの参加者には適用しない。

第2節 休学、退学、転学及び除籍

(休学)

第35条 学生が引き続き3カ月以上修学できないときは、許可を得て、その学期を休学することができる。

2 休学は、連続する2学期限りとする。ただし、特別の事情がある場合は、学長は教授会の意見を聴いて、2学期を超える期間の休学を許可することができる。ただし、休学の期間は、通算して8学期を超えることはできない。

3 休学期間中に休学の理由が消滅した場合において、復学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、その理由を明確にして願い出て、許可を受けなければならない。

2 願いにより退学した者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(転学)

第37条 学生が転学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(除籍)

第38条 次に掲げる各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- 一 授業料その他の学費を所定の期日までに納入しない者
- 二 第20条に定める在学年数を超えた者
- 三 第35条第2項に定める休学期間を超えた者
- 四 新入生で指定された期限までに履修届を提出しないこと、その他本学において修学の意思がないと認められる者

2 学生は、除籍されることにより、本学則及びその施行のために定められた規則に基づいて有する一切の権利を失う。

3 第1項の規定（第2号及び第3号に掲げる者を除く。）により除籍された者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、

これを許可することができる。

第8章 賞罰及び奨学

(懲戒)

第57条 学長は、本学の規則に反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対し、教授会の意見を聴いて、行為の軽重と教育上の必要とを考慮して、譴責、停学又は退学の処分をすることができる。

2 退学処分は、次の各号の一に該当する者以外には、これを行うことはできない。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 二 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
- 三 正当な理由なくして出席常でない者
- 四 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

国際地域学部 各学科の履修方法と教育課程表

本項目には以下の内容が記載されています。

①カリキュラムマップ

1年次から4年次までの各学科専門教育科目体系をモデル化した図です。
履修計画を立てる際、学びたい科目体系の指標としてください。

②教育課程表

各学科の教育課程（カリキュラム）に配置されている科目の一覧表です。
図表化されたものと、リスト化されたものとの、2種類あります。表記の形態は異なりますが、単位数、配当学年などは同じ内容です。

【教育課程表（リスト形式）の見方】

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
基盤教育科目						
基盤教育 合計 21単位 以上	哲学・思想 2単位以上	CIB101	東洋思想	1～4	2	
		HIT101	科学思想史A	1～4	2	
		HIT102	科学思想史B	1～4	2	
		INR101	地球倫理A	1～4	2	
		INR102	地球倫理B	1～4	2	
		PHE101	哲学A	1～4	2	

- ・卒業要件 : 卒業に必要な要件を表しています。
- ・区分 : 科目区分と卒業するために必要な条件を表しています。
- ・科目ナンバリング : 科目ナンバリングを表しています。(P.24 参照)
- ・科目名 : 科目の名称です。
- ・配当学年 : その科目を履修することができる学年を表しています。
(ただし、原則、自分の学年より下の配当学年の科目は履修可能です)
- ・単位数 : その科目を修得した場合の単位数を表しています。
- ・履修上の注意／備考 : その科目を履修するうえでの注意事項や補足説明を表しています。

③卒業要件

各学科に定められている卒業要件を記載しています。

教育研究上の目的（国際地域学部）

1 人材の養成に関する目的

国際地域学部は、グローバル化する経済・社会の要請を受けて創設された課題解決型（テーマ型）の学部です。国内外を問わず積極的に地域づくりや観光開発に関わり、「地域」を活性化し、創造的に発展させていく「国際的な視野を持つ職業人」を養成します。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

現場を重視した教育・研究を通して、まず第一に、世界につながる確実なコミュニケーション能力を身に着けること、第二に広く社会の仕組みを理解しつつ、積極的に行動できる能力を培うこと、第三に身近な環境から世界へと幅広く実践的な地域づくりを担う能力を磨くことを教育目標としています。

3 その他の教育研究上の目的

今日のグローバリゼーションによる都市化、資源・エネルギー消費、地域間格差の拡大、人口変動等といった経済社会の変化の中で、「地域（コミュニティ）」からの発想は大きな可能性を有しており、これに対応する哲学を持ち、現場主義を実践する学問として、領域横断的な国際地域学の構築を目指しています。

国際地域学部は、今日のグローバル化する経済・社会の要請を受け、東洋大学に創設されたいわば課題解決型（テーマ型）の学部です。2006年に開催された10周年記念式典では、学部の特色ある教育・研究活動について期待と評価をいただきました。2009年度には更なる発展を期して都心の白山第2キャンパスへ移転、2010年度には国際地域学科を2専攻体制とレイブニングコースである地域総合専攻を開設し、さらに2013年4月、学生諸君の学び舎となる白山キャンパスに移転しました。

教育の特色は「国際的な視野に立って、地域づくりや観光振興に貢献し、地域を創造的に活性化させる人材を育成すること」にあります。Think globally, Act locally「地球規模の視点で問題をとらえ、ローカルな場で行動する」人材の育成を目指しています。

地域との連携による「地域づくり」や「観光振興」の政策・手法の広い範囲での活用など、グローバルな視点で時代を見据えながら、さらなる発展を目指しています。

国際地域学部長

◆◆国際地域学部の教育方針（ポリシー）◆◆

〈ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）〉

国内外を問わず積極的に持続可能な地域づくりや観光開発に関わり、「地域」を活性化し創造的に発展させていく「国際的な視野を持つ職業人」の養成を教育目標として掲げています。卒業するまでに、世界につながるコミュニケーション能力、社会の仕組みを理解しつつ持続可能な地域づくりや観光開発を担う実践的な能力、そして広い視野を持ちつつ身近な行動を積極的に実行していく能力を身につけることを求めています。

教育研究上の目的（国際地域学科国際地域専攻）

1 人材の養成に関する目的

国際地域学科国際地域専攻は、「現場主義」にたつて、国の内外での「地域づくり」を学び、実践する専攻です。そして、外国語能力を備え、異文化コミュニケーション能力を十分に身につけた「国際的視野を持つ職業人」を養成することを目的としています。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

外国語教育を強化し、さまざまな分野にわたる専門科目を英語での講義、海外の大学との協定にもとづくフィールドスタディや交換留学の機会の確保、「英語特別プログラム」（希望者）の実施により、使える外国語能力の向上、英語による専門性を重視したコミュニケーション能力の向上を目指しています。

また、多様な経歴を持つ教員によるバラエティあふれる講義、1年次から少人数ゼミでの実践的な学修、留学生との交流、国内外のさまざまな地域へのフィールドスタディや地方自治体や企業と連携したインターンシップを通して、異文化コミュニケーション能力を高めるとともに、現場で通用する実践的な能力の向上を目指します。

国際地域学科国際地域専攻は、「現場主義」にたつて、国の内外で「地域づくり」を学び、実践する専攻です。国際機関での勤務経験を有する教員や、国内に加えて海外を研究のフィールドにしている教員が多くおり、国際協力、都市・農村開発、そして環境について学ぶことができます。

1年次から4年次まで一貫して少人数のゼミで実践的な学習を行います。また、アジアや欧米の大学との協定に基づくフィールドスタディ（国際地域研修等）の充実と交換留学の機会増大を図っています。3年次には専門性をさらに深めるゼミに所属し、指導教員のもとで国の内外でフィールドスタディが実施されます。

外国語教育を強化し、さまざまな分野にわたる専門科目を英語で講義することで自然に英語力が身につくように工夫をしています。平成24年度から英語による専門科目の開講数を増やし、副専攻（ESP；English Special Program）制度を設置して卒業必要単位の半数程度を英語で学び、卒業論文を英語で執筆することも選択できるようになりました。英語による専門性を重視したコミュニケーション能力アップを目指します。

また、国内に目を向けると、地方自治体や企業と連携してインターンシップ科目を開設して現場で地域づくりを学びます。また、就職のためのキャリア開発支援に力を入れており、一般企業、自治体、さらに卒業後にキャリアを積んで国際機関に就職できるよう教育を行っています。

こうした教育研究環境のもとで、国際地域学科国際地域専攻では、外国語能力を備え、異文化コミュニケーション能力を十分に身につけた「国際的視野を持つ職業人」を養成することを目的としています。

国際地域学科国際地域専攻長

国際地域学科国際地域専攻の教育方針

◆◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）◆◆

環境・貧困・雇用・人権問題に現れているように、自然・社会・経済・政治など様々な分野での地球化と地域化が同時進行する中で、これまでとは全く異なる都市づくり、地域づくり、環境づくりなどに、地域（コミュニティ）から解決策へとアプローチすることは大きな可能性を有しています。地球規模の視点で問題をとらえローカルな場で具体的に行動する、いわゆる、Think globally, Act locally という哲学のもとに、地域社会におけるさまざまな現象を幅広い視点でとらえ、「現場主義」にたち、さまざまな人々とのコミュニケーションの中から解決策を探っていく人間力が求められます。

このようなことから、国際地域学科国際地域専攻では

- (1) 国際社会を舞台に活躍できるような知識、実践的な語学能力、コミュニケーション能力の修得を志す学生
- (2) 地域の諸問題に対して広い視野から客観的に把握・分析する能力を修得し、現場において具体的な行動として実践していく意欲のある学生

が教員と一緒にあって相互に学び成長していくことを期待しています。

受験生に期待されるのは、①地域社会におけるさまざまな問題へ関心を持っていること、②自身もつ知識や経験を積極的に活用して社会に貢献しようとする意欲、③他者と積極的にコミュニケーションを図りながら異なる文化を持つ人々とともに働くことへの意欲です。

◆◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）◆◆

教育目標を実現するために、以下の方針でカリキュラムを組み立てています。

- (1) 国内外の地域づくりに関わる人文社会科学、環境科学の広範な学問領域から幅広い知識を習得できるようにするとともに、「国際コース」、「地域コース」、「環境コース」の3つの履修モデルにより専門性も高めます。
- (2) 外国語教育を強化し、さまざまな分野の専門科目を英語で実施することで実践的かつ高度な英語力が身につくようにします。また、集中的な英語学習を支援する英語特別プログラム（ESP）、学内外の人々が英語で自由に集うイングリッシュコミュニティゾーンの活用を通して、英語による専門性を重視したコミュニケーション能力の向上を目指します。
- (3) 「現場主義」を掲げ、フィールドスタディやインターンシップ科目などにより現場・実務体験を充実させるとともに、1年次から少人数のゼミでの各個人の目標や個性を重視した実践的な学習を行います。

◆◆ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）◆◆

国の内外において、環境との調和を図りながら地域の特性を活かした「地域づくり」を行うための知識と、現場においてそれを実施する実行力を有した人材の育成を教育目標として掲げています。卒業するまでに、異文化コミュニケーション能力を十分に身につけ、地球規模の視点で問題をとらえ、ローカルな場で行動できる能力を培うことを求めています。

コースの概要

◆◆国際コース◆◆

国際コースでは、経済学、政治学、社会学、文化人類学、社会システム論などの様々な視点から複雑多様な国際社会・地域の諸問題を取り扱っていきます。進路としては、民間・公共の国際部門を中心に国内外での活躍が目標です。学生の皆さんは、春や夏の長期休暇に国外で行われる海外研修や国際実務のインターンシップを体験しながら、国際地域学科の特徴である「現場主義」を国際的に実践できるようになっていきます。また、日本についての知識も深めることで、国際的に日本発の情報を発信できるようになっていきます。そのために、英語で行われる専門科目も充実しています。3年から始まる国際地域学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでは、多文化環境における共同作業などを通じてコミュニケーション能力やチームワークを伸ばし、国内外で活躍できるよう指導を行っていきます。卒業論文の使用言語は日英いずれかとなりますが、英語を希望した者には言語についても精密な指導を行います。

◆◆環境コース◆◆

環境コースでは、人文・社会・自然に関する豊かな教養の上に、環境社会論、自然災害と防災、環境システム論、環境産業論、情報マネジメントⅠ・Ⅱなど、現代社会や地域社会、産業と生活などと環境との関係について幅広い観点から学び、情報技術についても学習を深めていくコースです。海外研修やインターンシップなどにも積極的に参加することができます。

環境問題は、今後の日本と世界にとって重要な課題であり、その解決に向けて人類全体が努力を傾けていかなければならない分野ですから、企業の関心も高く、就職活動においてもアピールできる有望な分野であると言えます。

環境コースは2つの履修モデルを持っており、モデルAは都市環境、地域環境、環境対策など、地域環境に関する具体的な問題に強い関心を持っている学生向けのモデルです。モデルBは地域環境、資源エネルギー問題、21世紀の社会（世界）の動向など、マクロな課題に強い関心を持っている学生向けのモデルです。もちろん、両方のモデルにまたがって学ぶこともできます。

また、環境コースでは情報教育やフィールドワークなどを通して、理論、方法論、現場感覚がバランス良く育成されることを目指しており、環境問題や社会問題に対してセンスが良く、社会に出て貢献のできる学生を育てることとしています。

◆◆地域コース◆◆

地域コースでは、都市計画等を通じて地域を計画論的に分析し理解することや、地域経済、地方行政や社会基盤整備などの知識やノウハウを習得し、国の内外を問わず地域づくりに取り組める人材の養成を目的とします。進路としては、公務員やマスコミのほか、民間企業においても、地域づくりの視点から行動し、地域に貢献できることを目指します。海外研修によって地域づくりの現場を体験したり、国内における地域づくりの研修やインターンシップ活動を経験しながら、地域づくりに関係した「現場主義」を実践できる学生になっていきます。3年から始まる国際地域学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでは、国内外の地域づくりで活用でき、就職後にも必要なスキルである、①情報力、②分析力、③専門力、④表現力（文章力を含む）、⑤語学力について、一人一人の資質を見ながら丁寧に指導していきます。

卒業要件

卒業に必要な単位数は 124 単位で、次の表の太枠内に掲げる所定の単位を修得しなければなりません。

		科目区分		一般学生	留学生	
卒業必要単位数	基盤教育	哲学・思想		2 単位以上		
		学問の基礎		2 単位以上		
		国際人の形成				
		キャリア・市民形成				
		総合・学際				
		留学支援(英語特別教育科目)				
	21 単位以上	外国語系教育科目 一般学生 = 15 単位 留学生 = 13 単位	必修	9 単位	8 単位	
			選択必修	3 単位以上		
			選択	3 単位以上	5 単位以上	
	124 単位	専門教育科目 88 単位以上	必修		28 単位	
			選択必修		28 単位以上	
			選択		22 単位以上	
キャリア形成支援			2 単位以上			
		開放領域(国際地域学部内他学科・他学部他学科)				
		教職科目				
		自由科目				

年次別履修登録単位数制限

◆履修できる単位数◆

下記の通り年次別に履修できる単位数の上限が設定されています。

年次	年間	卒業単位として認められる科目		卒業単位として認められない科目
		春学期	秋学期	
1	44 単位	22 単位	22 単位	制限なし
2	44 単位	22 単位	22 単位	
3	48 単位	24 単位	24 単位	
4	48 単位	24 単位	24 単位	

<卒業に必要な単位として認められる科目>

基盤教育、専門教育科目、開放領域（国際地域学部内他学科科目・他学部他学科開放科目）

<卒業に必要な単位として認められない科目>

・教職課程の教職に関する科目（教職概論、教育心理学等）

④ 教職課程 p.120～133

・教職課程の教科に関する科目のうち、以下の科目

「日本史 A・B」、「外国史 A・B」、「倫理学概説 A・B」、「哲学概説 A・B」「地理学 A・B」「地誌学 A・B」「技術と産業の社会史」「歴史と郷土文化」「自然地理学 A・B」「人文地理学 B」

④ 自由科目 p.45

・自由科目

自分の学科教育課程表になく、なおかつ他学部他学科開放科目として履修できない科目で担当教員の許可を得て履修する科目

履修上の注意

◆◆ 基盤教育 ◆◆

以下の①・②の基準を満たし、外国語系教育科目を含め最低 21 単位修得しなければなりません。

- ①「哲学・思想」分野より最低 2 単位修得すること。
- ②「学問の基礎」「国際人の形成」「キャリア・市民形成」「総合・学際」の 4 分野の中より 2 単位以上修得すること。
- ③「スポーツ健康科学実技Ⅰ A～Ⅲ B」「スポーツ健康科学講義Ⅰ～Ⅱ B」「スポーツ健康科学演習Ⅰ」の授業は、総合スポーツセンター（板橋区清水町）で開講されます。総合スポーツセンターでの授業は、白山 6 学部すべての 1～4 年生が履修できます。
- ④「スポーツ健康科学実技」および「スポーツ健康科学演習」の各コースの受講者数は人数調整が必要になる場合があります。詳細については履修関係資料、学内掲示を参照してください。
- ⑤一度単位修得した科目は再登録できません。なお、修得できなかった科目の再履修は可能です。

<外国語系教育科目>

<一般学生の場合>

以下の 3 つの基準を満たし、最低 15 単位修得しなければなりません。

- ①必修科目に充当されている 9 科目 9 単位を修得すること。
- ②選択必修に充当されている、中国語、ハングル、フランス語、ドイツ語、スペイン語、タイ語の中から 1 ヶ国語を選択し、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に 3 科目 3 単位を履修、単位修得すること。
- ③選択に充当されている科目の中から 3 科目 3 単位以上を修得すること。

<外国人留学生の場合>

以下の 2 つの基準を満たし、最低 13 単位修得しなければなりません。

- ①必修科目に充当されている 8 科目 8 単位を修得すること。
- ②選択に充当されている科目の中から 5 科目 5 単位以上を修得すること。
なお、中国語、ハングル、フランス語、ドイツ語、スペイン語、タイ語を履修する場合は、同じ言語でⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの順に履修、単位修得してください。
また、母国語の履修はできません。

◆◆ 専門教育科目 ◆◆

必修科目 28 単位、選択必修科目 28 単位、選択科目 22 単位、キャリア形成支援科目 2 単位を含め、合計 88 単位以上修得しなければなりません。

<必修科目>

1 年次 10 単位、2 年次 6 単位、3 年次 4 単位、4 年次 8 単位の計 28 単位を修得しなければなりません。

<選択必修科目>

最低 14 科目 28 単位以上修得しなければなりません。

<選択科目>

最低 11 科目 22 単位以上修得しなければなりません。

◆◆卒業要件を上回って修得した単位について◆◆

教育課程表上の基盤教育および専門教育科目において、卒業要件に定められた単位数を上回って修得した単位は、卒業に必要な単位数 124 単位の中の単位として換算されます。

◆◆既修得科目の再登録について◆◆

既修得科目の再登録は、下記に掲げる科目以外は、履修登録の上限単位数内であれば担当教員の許可を得て履修を認めます。ただし、取得した単位は重複して卒業単位に組み入れられません。なお成績については、成績上位の評価を卒業単位とみなします。

再登録ができない科目は次の通りです。

(基盤教育)

・全ての科目

(専門教育科目)

- ・国際地域学入門Ⅰ・Ⅱ
- ・国際地域学基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- ・国際地域学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- ・卒業論文

(学部内他学科科目)

- ・コンベンション論
- ・地域観光論

(他学部他学科科目)

・全ての科目

(教職科目)

・全ての科目

(自由科目)

・全ての科目

◆◆開放領域について◆◆

国際地域学部内他学科科目・他学部他学科開放科目を履修することができます。履修した単位は、開放領域の単位として卒業に必要な単位数 124 単位の中の単位として換算されます。

なお、履修にあたっては、開講学部・学科の履修要件、配当学年・セメスタに従ってください。

◆◆自由科目について◆◆

自分の学科教育課程表になく、他学部他学科開放科目一覧にも記載されていない科目で、担当教員の許可を得て履修する科目を指します。なお、この科目は卒業単位として認められません。

履修希望者は、毎学期始めに配布される「履修登録のしおり・授業時間割表」を確認してください。(秋学期の「履修登録のしおり」は ToyoNet-G で配信予定です。)

⑤ 国際地域学部
内他学科科目
p.59

⑥ 他学部他学科
開放科目
p.59～63

◆◆ 2016 年度入学生用 国際地域学科国際地域専攻 教育課程表 (基盤教育 一般学生用) ◆◆

		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
哲学・思想 (2)		哲学A 倫理学基礎論A 科学思想史A 宗教学ⅡA 論理学A 東洋思想	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	哲学B 倫理学基礎論B 科学思想史B 宗教学ⅡB 論理学B ロジカルシンキング入門	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	哲学史A 応用倫理学A 宗教学ⅠA 地球倫理A 井上円了と東洋大学A クリティカルシンキング入門	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	哲学史B 応用倫理学B 宗教学ⅠB 地球倫理B 井上円了と東洋大学B クリティカルシンキング入門	(2) (2) (2) (2) (2) (2)
	学問の基礎	美術史A 歴史の諸問題A 統計学A 政治学A 人類学A 自然の数理A エネルギーの科学A 環境の科学A 生物学A 自然科学概論A 物理学実験講義A 化学実験講義A 数理・情報実習講義A	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	美術史B 歴史の諸問題B 統計学B 政治学B 人類学B 自然の数理B エネルギーの科学B 環境の科学B 生物学B 自然科学概論B 物理学実験講義B 化学実験講義B 数理・情報実習講義B	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	音楽学A 経済学A 法学A 社会学A 心理学A 生活と物理A 物質の科学A 地球の科学A 天文学A 自然誌A 生物学実験講義A 地球科学実験講義A 天文学実習講義A 自然科学演習B	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	音楽学B 経済学B 法学B 社会学B 心理学B 生活と物理B 物質の科学B 地球の科学B 天文学B 自然誌B 生物学実験講義B 地球科学実験講義B 天文学実習講義B 自然科学演習B	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
国際人の形成 2 単位以上		地域文化研究ⅠA 地域文化研究ⅡA 多文化共生論A 日本の昔話A 日本の詩歌A 現代日本文学A 地域史(東洋)A 国際比較論A 国際関係入門 海外研修Ⅰ 短期海外研修Ⅰ 短期海外実習Ⅰ	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (1)	地域文化研究ⅠB 地域文化研究ⅡB 多文化共生論B 日本の昔話B 日本の詩歌B 現代日本文学B 地域史(東洋)B 国際比較論B 地域と生活 海外研修Ⅱ 短期海外研修Ⅱ 短期海外実習Ⅱ	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (1)	地域文化研究ⅡA 国際教育論A 百人一首の文化史A 日本文学文化と風土A 西欧文学A 地域史(日本)A 地域史(西洋)A アジアの文学 国際キャリア概論 海外実習Ⅰ 短期海外研修Ⅲ 短期海外実習Ⅲ	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (1)	地域文化研究ⅡB 国際教育論B 百人一首の文化史B 日本文学文化と風土B 西欧文学B 地域史(日本)B 地域史(西洋)B アジアの古典 留学のすすめ 海外実習Ⅱ 短期海外研修Ⅳ 短期海外実習Ⅳ	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1)
	基盤教育 (21)	日本国憲法 企業会計 スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡA 情報倫理 キャリアデベロップメント論A 社会貢献活動入門 地球環境論	(2) (2) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2)	ベーシック・マーケティング 流通入門 スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学講義ⅡB コンピュータ・リテラシー キャリアデベロップメント論B 公務員論 インターンシップ入門	(2) (2) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2)	英語特別教育科目 English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking Pre-Study Abroad College Study Skills Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	(2) (2) (2) (1) (1)	English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing Pre-Study Abroad Basic Academic Writing Business English Communication	(2) (2) (1) (2)
キャリア・市民形成 (21)		総合ⅠA 総合ⅢA 総合ⅤA 総合ⅦA 総合ⅨA 全学総合ⅡA	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	総合ⅠB 総合ⅢB 総合ⅤB 総合ⅦB 総合ⅨB 全学総合ⅡB	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	総合ⅡA 総合ⅣA 総合ⅥA 総合ⅧA 全学総合ⅠA 首都東京を学ぶ	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	総合ⅡB 総合ⅣB 総合ⅥB 総合ⅧB 全学総合ⅠB 首都東京を学ぶ	(2) (2) (2) (2) (2) (2)
	留学支援	英語特別教育科目							
外国語系教育科目 (15)	必修 (9)	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ LL演習Ⅰ LL演習Ⅱ 英文読解Ⅰ 英文読解Ⅱ	(1) (1) (1) (1) (1) (1)	英会話Ⅲ メディア英語Ⅰ	(1) (1)	メディア英語Ⅱ	(1)		
	選択必修 (3)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ハンガールⅠ ハンガールⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ タイ語Ⅰ タイ語Ⅱ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	中国語Ⅲ ハンガールⅢ フランス語Ⅲ ドイツ語Ⅲ スペイン語Ⅲ タイ語Ⅲ	(1) (1) (1) (1) (1) (1)				
選択 (3)	英作文基礎 Study English Abroad	(1) (1)	LL演習Ⅲ 英会話Ⅳ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ インターネット・リサーチ クリティカル・シンキング 英文読解演習 メディア英語読解演習Ⅰ メディア英語読解演習Ⅱ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	Intercultural Studies 中国語Ⅳ ハンガールⅣ フランス語Ⅳ ドイツ語Ⅳ スペイン語Ⅳ タイ語Ⅳ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		中国語圏の言語と文化 ハンガール圏の言語と文化 フランス語圏の言語と文化 ドイツ語圏の言語と文化 スペイン語圏の言語と文化	(1) (1) (1) (1) (1)

◆ 2016年度入学生用 国際地域学科国際地域専攻 教育課程表 (専門教育科目 一般学生・外国人留学生共通) ◆

		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専 門 教 育 科 目 (88)	必修 (28)	国際地域学基礎	(2)	国際地域学論理	(2)	国際地域学演習Ⅰ	(2)	国際地域学演習Ⅲ	(2)	
		国際地域学入門Ⅰ	(2)	国際地域学基礎演習Ⅰ	(2)	国際地域学演習Ⅱ	(2)	国際地域学演習Ⅳ	(2)	
		国際地域学入門Ⅱ	(2)	国際地域学基礎演習Ⅱ	(2)			卒業論文	(4)	
		国際地域情報学入門Ⅰ	(2)							
	選択 必修 (28)	国際地域情報学入門Ⅱ	(2)							
		ミクロ経済学Ⅰ	(2)	ミクロ経済学Ⅱ	(2)	地域データ分析	(2)			
		マクロ経済学Ⅰ	(2)	マクロ経済学Ⅱ	(2)	社会基盤論	(2)			
		国際協力論	(2)	地方自治論	(2)	公共経済学	(2)			
		宗教と社会	(2)	都市地理学	(2)					
		国際政治学Ⅰ	(2)	国際経済学	(2)	社会保障論	(2)			
国際環境計画入門		(2)	社会システム論Ⅰ	(2)	地域計画	(2)				
エネルギー・資源論		(2)	地域システム論	(2)	情報マネジメントⅠ	(2)				
社会調査法	(2)	地域産業論	(2)	自然災害と防災	(2)					
国際開発援助論	(2)	比較政治学	(2)	環境マネジメント	(2)					
選 択 (22)	【コース共通】		【コース共通】							
	文化人類学入門	(2)	社会システム論Ⅱ	(2)	水と国土	(2)	食料問題論	(2)		
	地域とボランティア	(2)								
	日本外交論	(2)	【国際コース】							
	政治学	(2)	国際関係史	(2)	アジア経済論	(2)				
	現代日本学	(2)	国際金融論	(2)	地域社会学Ⅱ	(2)				
	人文地理学A	(2)	欧米地域研究	(2)	農村地域開発論	(2)				
	情報社会論	(2)	文化人類学	(2)	開発と異文化理解	(2)	国際フィールド調査研究	(2)		
	都市論	(2)	開発経済論	(2)	国際関係特論	(2)	国際特別演習	(2)		
	社会システム哲学	(2)	【環境コース】							
	統計学	(2)	環境管理適正技術論	(2)	災害と復興	(2)				
	地域エネルギー計画	(2)	環境産業論	(2)	環境社会論	(2)				
	国際政治学Ⅱ	(2)	水辺と環境	(2)	知識情報処理	(2)				
	アジアの地誌と文化	(2)	環境システム論	(2)	情報マネジメントⅡ	(2)	環境特別演習	(2)		
	ヨーロッパ地域研究	(2)	【地域コース】							
	アフリカの文化と社会	(2)	コミュニティ開発論	(2)	都市地域分析	(2)	民事法	(2)		
	中東の文化と社会	(2)	国土計画・広域計画	(2)	都市計画	(2)	企業法	(2)		
	中南米の経済と社会	(2)	地域経済学	(2)	土地・住宅問題	(2)				
	アジアの都市と交通	(2)	社会基盤計画・政策	(2)	公共経営論	(2)				
	NGO・NPO論	(2)	まちづくり手法論	(2)	福祉経済論	(2)				
	外国地誌	(2)	地域デザイン基礎	(2)	地域福祉論	(2)	地域フィールド調査研究	(2)		
	社会政策論	(2)	地域デザイン演習	(2)	地域社会学Ⅰ	(2)	地域特別演習	(2)		
	地域文化A	(2)								
	地域文化B	(2)								
	国際協力と日本語教育	(2)								
	国際地域学研修Ⅰ	(2)								
	国際地域学研修Ⅱ	(2)								
	国際地域学研修Ⅲ	(2)								
国際地域学研修Ⅳ	(2)									
Participatory Development	(2)	Academic Essay Writing	(2)	Regional and Urban Sociology on Asian Countries	(2)	Global Environmental Issues	(2)			
Qualitative Research Methodologies	(2)	Internet Technology and Security	(2)			Global Water Problems	(2)			
Gender and Society	(2)	Intercultural Communication Analysis	(2)	Regional to International Issues	(2)	Urban and Regional Environmental Management	(2)			
Urban Habitation	(2)	Southeast Asian Economies	(2)	Globalization and Culture	(2)	Environmental Issues in Asian Countries	(2)			
Asian Cities and Transport	(2)	International Finance	(2)	South Asian Studies	(2)	Energy and Resources Management	(2)			
Basic Academic Writing	(2)	Housing the Poor in Asia	(2)	Southeast Asian Studies	(2)	Social Welfare and the Welfare Society	(2)			
Basic Academic Reading	(2)	Introduction to Databases	(2)	Contemporary Global Issues	(2)	Water Supply and Sanitation for Health	(2)			
Japanese Economy and Business	(2)	Disaster Management and International Cooperation	(2)	Urban and Regional Planning in Asia	(2)					
Community and NGO/Volunteer	(2)									
Sociology of Islam	(2)									
International Cooperation and Japanese Language Teaching	(2)									
Contemporary Japan Studies	(2)									
Cross-cultural Communications	(2)									
キャリア形成支援科目 (2)	キャリアデザインⅠ	(2)	キャリアデザインⅡ	(2)	キャリアデザインⅢ	(2)				
	海外安全・危機管理研修	(2)								
	海外調査実習Ⅰ	(1)	海外調査実習Ⅱ	(1)	地域調査実習Ⅰ	(1)	地域調査実習Ⅱ	(1)		
	経済社会実務Ⅰ	(2)	経済社会実務Ⅱ	(2)	経済社会実務Ⅲ	(2)	経済社会実務Ⅳ	(2)		
	地域活動実習Ⅰ	(2)	地域活動実習Ⅱ	(2)	地域活動実習Ⅲ	(2)	地域活動実習Ⅳ	(2)		
	国際活動実習Ⅰ	(2)	国際活動実習Ⅱ	(2)	国際活動実習Ⅲ	(2)	国際活動実習Ⅳ	(2)		
	情報技術実務Ⅰ	(2)	情報技術実務Ⅱ	(2)	情報技術実務Ⅲ	(2)	情報技術実務Ⅳ	(2)		
教職 (卒業要件 単位外)	哲学概説A	(2)	哲学概説B	(2)	日本史A	(2)	日本史B	(2)		
	倫理学概説A	(2)	倫理学概説B	(2)	外国史A	(2)	外国史B	(2)		
	地理学A	(2)	地理学B	(2)	地誌学A	(2)	地誌学B	(2)		
	技術と産業の社会史	(2)	歴史と郷土文化	(2)	自然地理学A	(2)	自然地理学B	(2)		
	人文地理学B	(2)								

◆◆ 2016 年度入学生用 国際地域学科国際地域専攻 教育課程表 (基盤教育 外国人留学生用) ◆◆

		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
基盤教育 (21)	哲学・思想 (2)	哲学A 倫理学基礎論A 科学思想史A 宗教学ⅡA 論理学A 東洋思想	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	哲学B 倫理学基礎論B 科学思想史B 宗教学ⅡB 論理学B ロジカルシンキング入門	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	哲学史A 応用倫理学A 宗教学ⅠA 地球倫理A 井上円了と東洋大学A クリティカルシンキング入門	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	哲学史B 応用倫理学B 宗教学ⅠB 地球倫理B 井上円了と東洋大学B クリティカルシンキング入門	(2) (2) (2) (2) (2) (2)		
	学問の基礎	美術史A 歴史の諸問題A 統計学A 政治学A 人類学A 自然の数理A エネルギーの科学A 環境の科学A 生物学A 自然科学概論A 物理学実験講義A 化学実験講義A 数理・情報実習講義A	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	美術史B 歴史の諸問題B 統計学B 政治学B 人類学B 自然の数理B エネルギーの科学B 環境の科学B 生物学B 自然科学概論B 物理学実験講義B 化学実験講義B 数理・情報実習講義B	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	音楽学A 経済学A 法学A 社会学A 心理学A 生活と物理A 物質の科学A 地球の科学A 天文学A 自然誌A 生物学実験講義A 地球科学実験講義A 天文学実習講義A 自然科学演習A	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	音楽学B 経済学B 法学B 社会学B 心理学B 生活と物理B 物質の科学B 地球の科学B 天文学B 自然誌B 生物学実験講義B 地球科学実験講義B 天文学実習講義B 自然科学演習B	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		
		国際人の形成 2単位以上	地域文化研究ⅠA 地域文化研究ⅡA 多文化共生論A 日本の昔話A 日本の詩歌A 現代日本文学A 地域史(東洋)A 国際比較論A 国際関係入門 海外研修Ⅰ 短期海外研修Ⅰ 短期海外実習Ⅰ 日本事情ⅠA 日本の文化と社会	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (2) (2)	地域文化研究ⅠB 地域文化研究ⅡB 多文化共生論B 日本の昔話B 日本の詩歌B 現代日本文学B 地域史(東洋)B 国際比較論B 地域と生活 海外研修Ⅱ 短期海外研修Ⅱ 短期海外実習Ⅱ 日本事情ⅠB	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (2)	地域文化研究ⅡA 国際教育論A 百人一首の文化史A 日本文学文化と風土A 西欧文学A 地域史(日本)A 地域史(西洋)A アジアの文学 国際キャリア概論 海外実習Ⅰ 短期海外研修Ⅲ 短期海外実習Ⅲ 日本事情ⅡA	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (2)	地域文化研究ⅡB 国際教育論B 百人一首の文化史B 日本文学文化と風土B 西欧文学B 地域史(日本)B 地域史(西洋)B アジアの古典 留学のすすめ 海外実習Ⅱ 短期海外研修Ⅳ 短期海外実習Ⅳ 日本事情ⅡB	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (1) (1) (2)	
		キャリア・市民形成	日本国憲法 企業会計 スポーツ健康科学実技ⅠA スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学講義ⅡA 情報倫理 キャリア開発ロケット論A 社会貢献活動入門 地球環境論	(2) (2) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2)	ベーシック・マーケティング 日本事情ⅢA スポーツ健康科学実技ⅠB スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学講義ⅡB コンピュータ・リテラシー キャリア開発ロケット論B 公務員論 インターンシップ入門	(2) (2) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2)	流通入門 日本事情ⅢB スポーツ健康科学実技ⅡA スポーツ健康科学講義Ⅰ スポーツ健康科学演習Ⅰ 社会人基礎力入門講義 企業のしくみ テクニカルライティング ボランティア活動入門	(2) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	基礎会計学 日本事情ⅢB スポーツ健康科学実技ⅡB スポーツ健康科学講義Ⅰ 情報化社会と人間 社会人基礎力実践講義 企業家論 アカデミックライティング	(2) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2)	
		総合・学際	総合ⅠA 総合ⅢA 総合ⅤA 総合ⅦA 総合ⅨA 全学総合ⅡA	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	総合ⅠB 総合ⅢB 総合ⅤB 総合ⅦB 総合ⅨB 全学総合ⅡB	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	総合ⅡA 総合ⅣA 総合ⅥA 総合ⅧA 全学総合ⅠA 首都東京を学ぶ	(2) (2) (2) (2) (2) (2)	総合ⅡB 総合ⅣB 総合ⅥB 総合ⅧB 全学総合ⅠB	(2) (2) (2) (2) (2)	
		留学支援	英語特別教育科目 English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking Pre-Study Abroad College Study Skills Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	(2) (2) (2) (1) (2)	Listening/Speaking English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing Pre-Study Abroad Basic Academic Writing Business English Communication	(2) (2) (2) (1) (2)					
		外国語系教育科目 (13)	日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	必修 (8)		応用日本語ⅠA 応用日本語ⅠB 応用日本語ⅡA 応用日本語ⅡB ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ インターネット・リサーチ クリティカル・シンキング 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ メディア英語読解演習Ⅰ メディア英語読解演習Ⅱ	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	選択 (5)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ハングルⅠ ハングルⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ ハングルⅢ ハングルⅣ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 中国語圏の言語と文化 ハングル圏の言語と文化 フランス語圏の言語と文化 Inter-cultural Studies	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)



2016 年度入学生用 国際地域学科国際地域専攻 教育課程表

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
基盤教育科目							
基盤教育 合計 21 単位 以上	哲学・思想 2 単位以上	PHE101	哲学 A	1～4	2		
		PHE102	哲学 B	1～4	2		
		PHE103	哲学史 A	1～4	2		
		PHE104	哲学史 B	1～4	2		
		PHE105	倫理学基礎論 A	1～4	2		
		PHE106	倫理学基礎論 B	1～4	2		
		PHE107	応用倫理学 A	1～4	2		
		PHE108	応用倫理学 B	1～4	2		
		HIT101	科学思想史 A	1～4	2		
		HIT102	科学思想史 B	1～4	2		
		RES101	宗教学 I A	1～4	2		
		RES102	宗教学 I B	1～4	2		
		RES103	宗教学 II A	1～4	2		
		RES104	宗教学 II B	1～4	2		
		INR101	地球倫理 A	1～4	2		
		INR102	地球倫理 B	1～4	2		
		PHE109	論理学 A	1～4	2		
		PHE110	論理学 B	1～4	2		
		TYS101	井上円了と東洋大学 A	1～4	2		
		TYS102	井上円了と東洋大学 B	1～4	2		
		CIB101	東洋思想	1～4	2		
		PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2		
		PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2		
		学問の基礎★	FAH101	美術史 A	1～4	2	
			FAH102	美術史 B	1～4	2	
			ASA101	音楽学 A	1～4	2	
			ASA102	音楽学 B	1～4	2	
			HSG101	歴史の諸問題 A	1～4	2	
HSG102	歴史の諸問題 B		1～4	2			
ECT101	経済学 A		1～4	2			
ECT102	経済学 B		1～4	2			
ECS101	統計学 A		1～4	2			
ECS102	統計学 B		1～4	2			
LAW101	法学 A		1～4	2			
LAW102	法学 B		1～4	2			
POL101	政治学 A		1～4	2			
POL102	政治学 B		1～4	2			
SOC201	社会学 A		1～4	2			
SOC202	社会学 B		1～4	2			
CUA101	人類学 A		1～4	2			
CUA102	人類学 B		1～4	2			
PSY101	心理学 A		1～4	2			
PSY102	心理学 B		1～4	2			
MAT101	自然の数理 A		1～4	2			
MAT102	自然の数理 B		1～4	2			
PHY101	生活と物理 A		1～4	2			
PHY102	生活と物理 B		1～4	2			
ENE101	エネルギーの科学 A		1～4	2			
ENE102	エネルギーの科学 B		1～4	2			
BSC101	物質の科学 A		1～4	2			
BSC102	物質の科学 B		1～4	2			
ENV101	環境の科学 A		1～4	2			
ENV102	環境の科学 B		1～4	2			
EAP101	地球の科学 A		1～4	2			
EAP102	地球の科学 B		1～4	2			
BAB101	生物学 A	1～4	2				
BAB102	生物学 B	1～4	2				

★印の区分の中から2単位以上修得すること

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考
基盤教育 合計 21 単位 以上	(学問の基礎★)	AST101	天文学A	1～4	2	★印の区分の中から2単位以上修得すること
		AST102	天文学B	1～4	2	
		SCE101	自然科学概論A	1～4	2	
		SCE102	自然科学概論B	1～4	2	
		CAS101	自然誌A	1～4	2	
		CAS102	自然誌B	1～4	2	
		PHY103	物理学実験講義A	1～4	2	
		PHY104	物理学実験講義B	1～4	2	
		BAB103	生物学実験講義A	1～4	2	
		BAB104	生物学実験講義B	1～4	2	
		BSC103	化学実験講義A	1～4	2	
		BSC104	化学実験講義B	1～4	2	
		EAP103	地球科学実験講義A	1～4	2	
		EAP104	地球科学実験講義B	1～4	2	
		SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2	
		SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2	
		AST103	天文学実習講義A	1～4	2	
		AST104	天文学実習講義B	1～4	2	
		SCE201	自然科学演習A	2～4	2	
		SCE202	自然科学演習B	2～4	2	
		ARS101	地域文化研究ⅠA	1～4	2	
		ARS102	地域文化研究ⅠB	1～4	2	
		ARS103	地域文化研究ⅡA	1～4	2	
		ARS104	地域文化研究ⅡB	1～4	2	
		ARS105	地域文化研究ⅢA	1～4	2	
	ARS106	地域文化研究ⅢB	1～4	2		
	INR103	国際教育論A	1～4	2		
	INR104	国際教育論B	1～4	2		
	INR105	多文化共生論A	1～4	2		
	INR106	多文化共生論B	1～4	2		
	JLT101	百人一首の文化史A	1～4	2		
	JLT102	百人一首の文化史B	1～4	2		
	JLT103	日本の昔話A	1～4	2		
	JLT104	日本の昔話B	1～4	2		
	JLT105	日本文学文化と風土A	1～4	2		
	JLT106	日本文学文化と風土B	1～4	2		
	JLT107	日本の詩歌A	1～4	2		
	JLT108	日本の詩歌B	1～4	2		
	EUL101	西欧文学A	1～4	2		
	EUL102	西欧文学B	1～4	2		
	JLT109	現代日本文学A	1～4	2		
	JLT110	現代日本文学B	1～4	2		
	JPH101	地域史(日本)A	1～4	2		
	JPH102	地域史(日本)B	1～4	2		
	HAA101	地域史(東洋)A	1～4	2		
	HAA102	地域史(東洋)B	1～4	2		
	HEA101	地域史(西洋)A	1～4	2		
	HEA102	地域史(西洋)B	1～4	2		
	GGR301	国際比較論A	1～4	2		
	GGR302	国際比較論B	1～4	2		
LIG101	アジアの文学	1～4	2			
LIG102	アジアの古典	1～4	2			
INR107	国際関係入門	1～4	2			
TOS101	地域と生活	1～4	2			
IHR101	国際キャリア概論	1～4	2			
IHR102	留学のすすめ	1～4	2			
IHR103	海外研修Ⅰ	1～4	2			
IHR104	海外研修Ⅱ	1～4	2			
IHR105	海外実習Ⅰ	1～4	2			
IHR106	海外実習Ⅱ	1～4	2			
IHR107	短期海外研修Ⅰ	1～4	1			
IHR108	短期海外研修Ⅱ	1～4	1			
IHR109	短期海外研修Ⅲ	1～4	1			
	国際人の形成★					

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考
(基盤教育) 合計 21 単位 以上	(国際人の形成★)	IHR110	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	★印の区分の中から2単位以上修得すること
		IHR111	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	
		IHR112	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
		IHR113	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
		IHR114	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	留学生用科目
		HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2	
		HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2	
		JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2	
		JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2	
		JLE101	日本の文化と社会	1～4	2	
	キャリア・市民形成★	PUL101	日本国憲法	1～4	2	★印の区分の中から2単位以上修得すること
		CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
		CME102	流通入門	1～4	2	
		ACC101	基礎会計学	1～4	2	
		ACC102	企業会計	1～4	2	留学生用科目
		SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2	
		SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2	
		HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	★印の区分の中から2単位以上修得すること
		HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
		HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
		HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
		HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
		HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
		HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
		HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
		HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2	
		THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
		THI102	情報倫理	1～4	2	
		THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
		CIV101	社会人基礎力入門講義	1～4	2	
		CIV102	社会人基礎力実践講義	1～4	2	
		CIV103	キャリアデベロップメント論A	1～4	2	
		CIV104	キャリアデベロップメント論B	1～4	2	
		MAN101	企業のしくみ	1～4	2	
		MAN102	企業家論	1～4	2	
		SWS101	社会貢献活動入門	1～4	2	
		CIV201	公務員論	1～4	2	
		ECD101	テクニカルライティング	1～4	2	
		ECD102	アカデミックライティング	1～4	2	
	EPS101	地球環境論	1～4	2		
	CIV105	インターンシップ入門	1～4	2		
	CIV106	ボランティア活動入門	1～4	2		
	総合・学際★	ITS101	総合ⅠA	1～4	2	
		ITS102	総合ⅠB	1～4	2	
		ITS103	総合ⅡA	1～4	2	
		ITS104	総合ⅡB	1～4	2	
		ITS105	総合ⅢA	1～4	2	
		ITS106	総合ⅢB	1～4	2	
		ITS107	総合ⅣA	1～4	2	
		ITS108	総合ⅣB	1～4	2	
		ITS109	総合ⅤA	1～4	2	
ITS110		総合ⅤB	1～4	2		
ITS111		総合ⅥA	1～4	2		
ITS112		総合ⅥB	1～4	2		
ITS113		総合ⅦA	1～4	2		
ITS114		総合ⅦB	1～4	2		
ITS115		総合ⅧA	1～4	2		
ITS116		総合ⅧB	1～4	2		
ITS117		総合ⅧA	1～4	2		
ITS118		総合ⅧB	1～4	2		
ITS119		全学総合ⅠA	1～4	2		
ITS120		全学総合ⅠB	1～4	2		

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基盤教育 合計 21単位 以上	(総合・学際★)	ITS121	全学総合ⅡA	1～4	2	★印の区分の中から2単位以上修得すること	
		ITS122	全学総合ⅡB	1～4	2		
		ITS123	首都東京を学ぶ	1～4	2		
	留学支援	英語特別教育科目	ENG101	English for Academic Purposes I A Listening/Speaking	1～4	2	LEAP Program
			ENG102	English for Academic Purposes I B Reading/Writing	1～4	2	
			ENG103	English for Academic Purposes II A Listening/Speaking	1～4	2	
			ENG104	English for Academic Purposes II B Reading/Writing	1～4	2	
			ENG201	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1	
			ENG202	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1	
			ENG203	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1	
			SUS101	Business English Communication	1～4	2	
	一般学生						
	外国語系教育科目 15単位以上	必修 9単位	ENG143	英会話Ⅰ	1	1	履修条件： 同一言語でⅠ→Ⅱ→Ⅲの順に履修すること
			ENG144	英会話Ⅱ	1	1	
			ENG145	L L 演習Ⅰ	1	1	
			ENG146	L L 演習Ⅱ	1	1	
			ENG147	英文読解Ⅰ	1	1	
			ENG148	英文読解Ⅱ	1	1	
			ENG244	英会話Ⅲ	2	1	
			ENG245	メディア英語Ⅰ	2	1	
			ENG246	メディア英語Ⅱ	3	1	
		選択必修 3単位以上	FLE105	中国語Ⅰ	1	1	
			FLE106	中国語Ⅱ	1	1	
			FLE107	ハンガールⅠ	1	1	
			FLE108	ハンガールⅡ	1	1	
			FLE109	フランス語Ⅰ	1	1	
			FLE110	フランス語Ⅱ	1	1	
			FLE111	ドイツ語Ⅰ	1	1	
			FLE112	ドイツ語Ⅱ	1	1	
			FLE113	スペイン語Ⅰ	1	1	
			FLE114	スペイン語Ⅱ	1	1	
			FLE115	タイ語Ⅰ	1	1	
			FLE116	タイ語Ⅱ	1	1	
FLE205			中国語Ⅲ	2	1		
FLE208			ハンガールⅢ	2	1		
FLE211			フランス語Ⅲ	2	1		
FLE213		ドイツ語Ⅲ	2	1			
FLE216		スペイン語Ⅲ	2	1			
FLE219		タイ語Ⅲ	2	1			
選択 3単位以上		ENG149	英作文基礎	1	1	履修条件： 当該言語のⅠ・Ⅱ・Ⅲの単位を修得していること	
		ENG150	Study English Abroad	1	1		
		ENG247	L L 演習Ⅲ	2～4	1		
		ENG248	英会話Ⅳ	2～4	1		
		ENG240	ビジネス英語Ⅰ	2～4	1		
		ENG241	ビジネス英語Ⅱ	2～4	1		
	ENG242	インターネット・リサーチ	2～4	1			
	ENG249	英文読解演習	2～4	1			
	ENG243	メディア英語読解演習Ⅰ	2～4	1			
	ENG324	メディア英語読解演習Ⅱ	2～4	1			
	FLE206	中国語Ⅳ	2～4	1			
	FLE209	ハンガールⅣ	2～4	1			
	FLE212	フランス語Ⅳ	2～4	1			
	FLE214	ドイツ語Ⅳ	2～4	1			
	FLE217	スペイン語Ⅳ	2～4	1			
	FLE220	タイ語Ⅳ	2～4	1			
	FLE207	中国語圏の言語と文化	2～4	1			
	FLE210	ハンガール圏の言語と文化	2～4	1			
	FLE221	フランス語圏の言語と文化	2～4	1			
FLE215	ドイツ語圏の言語と文化	2～4	1				
FLE218	スペイン語圏の言語と文化	2～4	1				
ENG323	クリティカル・シンキング	2～4	1				
ENG325	Intercultural Studies	3～4	1				

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
基盤教育 合計 21 単位 以上	外国語系 教育科目 13 単位 以上	外国人留学生					
		必修 8 単位	JPN119	日本語ⅠA	1	1	
			JPN120	日本語ⅠB	1	1	
			JPN121	日本語ⅡA	1	1	
			JPN122	日本語ⅡB	1	1	
			JPN123	日本語ⅢA	1	1	
			JPN124	日本語ⅢB	1	1	
			ENG143	英会話Ⅰ	1	1	
		ENG144	英会話Ⅱ	1	1		
		選択 5 単位以上	ENG149	英作文基礎	1	1	
			ENG150	Study English Abroad	1	1	
			JPN217	応用日本語ⅠA	2	1	
			JPN218	応用日本語ⅠB	2	1	
			JPN219	応用日本語ⅡA	2	1	
			JPN220	応用日本語ⅡB	2	1	
			ENG240	ビジネス英語Ⅰ	2	1	
			ENG241	ビジネス英語Ⅱ	2	1	
			ENG242	インターネット・リサーチ	2	1	
			ENG244	英会話Ⅲ	2	1	
			ENG248	英会話Ⅳ	2	1	
			ENG243	メディア英語読解演習Ⅰ	2	1	
			ENG324	メディア英語読解演習Ⅱ	2	1	
			ENG323	クリティカル・シンキング	2	1	
			FLE105	中国語Ⅰ	3～4	1	同じ言語をⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの 順に履修する こと 母国語である 言語は履修不 可
			FLE106	中国語Ⅱ	3～4	1	
			FLE205	中国語Ⅲ	3～4	1	
			FLE206	中国語Ⅳ	3～4	1	
			FLE107	ハンガールⅠ	3～4	1	
			FLE108	ハンガールⅡ	3～4	1	
			FLE208	ハンガールⅢ	3～4	1	
			FLE209	ハンガールⅣ	3～4	1	
			FLE109	フランス語Ⅰ	3～4	1	
			FLE110	フランス語Ⅱ	3～4	1	
			FLE211	フランス語Ⅲ	3～4	1	
			FLE212	フランス語Ⅳ	3～4	1	
			FLE111	ドイツ語Ⅰ	3～4	1	
		FLE112	ドイツ語Ⅱ	3～4	1		
		FLE213	ドイツ語Ⅲ	3～4	1		
		FLE214	ドイツ語Ⅳ	3～4	1		
		FLE113	スペイン語Ⅰ	3～4	1		
		FLE114	スペイン語Ⅱ	3～4	1		
		FLE216	スペイン語Ⅲ	3～4	1		
		FLE217	スペイン語Ⅳ	3～4	1		
FLE115	タイ語Ⅰ	3～4	1				
FLE116	タイ語Ⅱ	3～4	1				
FLE219	タイ語Ⅲ	3～4	1				
FLE220	タイ語Ⅳ	3～4	1				
FLE207	中国語圏の言語と文化	3～4	1				
FLE210	ハンガール圏の言語と文化	3～4	1				
FLE221	フランス語圏の言語と文化	3～4	1				
FLE215	ドイツ語圏の言語と文化	3～4	1				
FLE218	スペイン語圏の言語と文化	3～4	1				
ENG325	Intercultural Studies	3～4	1				
専門教育科目							
専門教育 科目 88 単位 以上	必修 28 単位	SEM127	国際地域学基礎	1	2		
		SEM128	国際地域学入門Ⅰ	1	2		
		SEM129	国際地域学入門Ⅱ	1	2		
		SEM130	国際地域情報学入門Ⅰ	1	2		
		SEM131	国際地域情報学入門Ⅱ	1	2		
		SEM228	国際地域学論理	2	2		
		SEM229	国際地域学基礎演習Ⅰ	2	2		
		SEM230	国際地域学基礎演習Ⅱ	2	2		
		SEM331	国際地域学演習Ⅰ	3	2		

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
専門教育 科目 88単位 以上	(必修) 28単位	SEM332	国際地域学演習Ⅱ	3	2			
		SEM421	国際地域学演習Ⅲ	4	2			
		THE449	国際地域学演習Ⅳ	4	2			
		THE450	卒業論文	4	4			
	選択必修 28単位	ECT130	ミクロ経済学Ⅰ	1～3	2			
		ECT131	マクロ経済学Ⅰ	1～3	2			
		ECP121	国際協力論	1～3	2			
		EPS104	環境マネジメント	1～3	2			
		CUA109	宗教と社会	1～3	2			
		INR114	国際政治学Ⅰ	1～3	2			
		CEE101	国際環境計画入門	1～3	2			
		ENE103	エネルギー・資源論	1～3	2			
		SOC123	社会調査法	1～3	2			
		INR115	国際開発援助論	1～3	2			
		PFP101	社会保障論	1～3	2			
		ECP120	地域産業論	1～3	2			
		ECP231	国際経済学	1～3	2			
		SSS201	社会システム論Ⅰ	1～3	2			
		HUG205	地域システム論	1～3	2			
		POL209	比較政治学	1～3	2			
		ABE201	地域計画	1～3	2			
		INN201	情報マネジメントⅠ	1～3	2			
		NDD201	自然災害と防災	1～3	2			
		ECT221	ミクロ経済学Ⅱ	2～3	2			
		ECT222	マクロ経済学Ⅱ	2～3	2			
		POL210	地方自治論	2～3	2			
		GGR201	都市地理学	2～3	2			
		STS205	地域データ分析	2～3	2			
		CEP201	社会基盤論	2～3	2			
		PFP208	公共経済学	2～3	2			
		選択 22単位 以上	コース共通	CUA110	文化人類学入門	1	2	
				CUA111	地域とボランティア	1	2	
	INR116			日本外交論	1	2		
	POL103			政治学	1	2		
	HUG104			人文地理学A	1	2		
	LIH125			情報社会論	1	2		
	TPA101			都市論	1	2		
	CUA112			アジアの地誌と文化	1	2		
	ARS120			ヨーロッパ地域研究	1	2		
	ARS121			アフリカの文化と社会	1	2		
	ARS122			中東の文化と社会	1	2		
	ARS123			中南米の経済と社会	1	2		
	CEP101			アジアの都市と交通	1	2		
	SOC124			NGO・NPO論	1	2		
HUG105	外国地誌			1	2			
JLE106	国際協力と日本語教育			1	2			
ARS209	現代日本学			1	2			
SSS202	社会システム哲学			1	2			
STS206	統計学			1	2			
ENE201	地域エネルギー計画			1	2			
INR205	国際政治学Ⅱ			1	2			
SWS219	社会政策論			1	2			
ARS210	地域文化A			1	2			
ARS307	地域文化B			1	2			
SEM132	国際地域学研修Ⅰ			1	2			
SEM231	国際地域学研修Ⅱ			1	2			
SEM333	国際地域学研修Ⅲ			1	2			
SEM422	国際地域学研修Ⅳ			1	2			
HYE101	水と国土			2～4	2			
ECP232	食料問題論			2～4	2			
SSS301	社会システム論Ⅱ			2～4	2			
国際コース	INR206			国際関係史	2～4	2		
	INR207			欧米地域研究	2～4	2		

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
専門教育 科目 88 単位 以上	(選択) 22 単位 以上	(国際コース)	MOF220	国際金融論	2～4	2	
			CUA205	文化人類学	2～4	2	
			ECP233	開発経済論	2～4	2	
			ECP234	農村地域開発論	2～4	2	
			SOC242	地域社会学Ⅱ	2～4	2	
			SEM232	国際フィールド調査研究	2～4	2	
			SEM233	国際特別演習	2～4	2	
			CUA303	開発と異文化理解	2～4	2	
			INR305	国際関係特論	2～4	2	
			ECP325	アジア経済論	2～4	2	
		環境コース	CEE201	環境管理適正技術論	2～4	2	
			EPS205	環境産業論	2～4	2	
			EPS206	水辺と環境	2～4	2	
			EPS207	環境社会学	2～4	2	
			DEV201	環境システム論	2～4	2	
			NDD202	災害と復興	2～4	2	
			INN202	情報マネジメントⅡ	2～4	2	
			SEM234	環境特別演習	2～4	2	
			MUD301	知識情報処理	2～4	2	
			地域コース	TPA201	コミュニティ開発論	2～4	2
		CIL229		民事法	2～4	2	
		ECP235		地域経済学	2～4	2	
		SWS220		地域福祉論	2～4	2	
		SEM235		地域フィールド調査研究	2～4	2	
		SEM236		地域特別演習	2～4	2	
		TPA301		国土計画・広域計画	2～4	2	
		TPA302		土地・住宅問題	2～4	2	
		CEP301		社会基盤計画・政策	2～4	2	
		CEP302		地域デザイン基礎	2～4	2	
		ABE301		まちづくり手法論	2～4	2	
		ABE302		都市計画	2～4	2	
		GGR305		都市地域分析	2～4	2	
		POL301		公共経営論	2～4	2	
		PFP317		福祉経済論	2～4	2	
		SOC318		地域社会学Ⅰ	2～4	2	
		CIL326		企業法	2～4	2	
		TPA401		地域デザイン演習	2～4	2	
		英語開講 科目	INR117	Participatory Development	1	2	
			MAN119	Japanese Economy and Business	1	2	
			GDE101	Gender and Society	1	2	
			ABE101	Urban Habitation	1	2	
			JLE107	International Cooperation and Japanese Language Teaching	1	2	
			SOC125	Cross-cultural Communications	1	2	
			CEP202	Asian Cities and Transport	1	2	
			ENG250	Basic Academic Writing	1	2	
			ENG251	Basic Academic Reading	1	2	
			CUA206	Community and NGO / Volunteer	1	2	
			SOC243	Qualitative Research Methodologies	1	2	
			SOC244	Sociology of Islam	1	2	
			ARS211	Contemporary Japan Studies	1	2	
INN203	Internet Technology and Security		2～4	2			
SOC245	Regional and Urban Sociology on Asian Countries		2～4	2			
SOC246	Globalization and Culture		2～4	2			
SOC247	Southeast Asian Studies		2～4	2			
SOC248	Contemporary Global Issues		2～4	2			
SOC249	Social Welfare and the Welfare Society		2～4	2			
ENG252	Regional to International Issues		2～4	2			
EPS208	Global Environmental Issues		2～4	2			
EPS209	Urban and Regional Environmental Management		2～4	2			
DEV202	Global Water Problems	2～4	2				
LIH213	Intercultural Communication Analysis	2～4	2				
ECP236	Southeast Asian Economies	2～4	2				
ENE202	Energy and Resources Management	2～4	2				

卒業要件	区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考
専門教育 科目 88単位 以上	(選択) 22単位 以上	(英語開講 科目)	ENG326	Academic Essay Writing	2～4	2	
			MOF314	International Finance	2～4	2	
			TPA303	Housing the Poor in Asia	2～4	2	
			MUD302	Introduction to Databases	2～4	2	
			ARS308	South Asian Studies	2～4	2	
			TPA304	Urban and Regional Planning in Asia	2～4	2	
			NDD301	Disaster Management and International Cooperation	2～4	2	
			EPS301	Environmental Issues in Asian Countries	2～4	2	
			CEE301	Water Supply and Sanitation for Health	2～4	2	
	キャリア形成支援科目 2単位以上		CIV122	キャリアデザインⅠ	1	2	
			CIV212	キャリアデザインⅡ	2	2	
			CIV305	キャリアデザインⅢ	3	2	
			SEM133	海外安全・危機管理研修	1～4	2	
			SEM126	海外調査実習Ⅰ	1～4	1	
			SEM227	海外調査実習Ⅱ	1～4	1	
			SEM334	地域調査実習Ⅰ	1～4	1	
			SEM423	地域調査実習Ⅱ	1～4	1	
			CIV123	経済社会実務Ⅰ	1～4	2	
			CIV213	経済社会実務Ⅱ	1～4	2	
			CIV306	経済社会実務Ⅲ	1～4	2	
			CIV403	経済社会実務Ⅳ	1～4	2	
			CIV124	地域活動実習Ⅰ	1～4	2	
			CIV214	地域活動実習Ⅱ	1～4	2	
			CIV307	地域活動実習Ⅲ	1～4	2	
			CIV404	地域活動実習Ⅳ	1～4	2	
			CIV125	国際活動実習Ⅰ	1～4	2	
			CIV215	国際活動実習Ⅱ	1～4	2	
			CIV308	国際活動実習Ⅲ	1～4	2	
			CIV405	国際活動実習Ⅳ	1～4	2	
			CIV126	情報技術実務Ⅰ	1～4	2	
			CIV216	情報技術実務Ⅱ	1～4	2	
			CIV309	情報技術実務Ⅲ	1～4	2	
			CIV406	情報技術実務Ⅳ	1～4	2	
	教職科目		PHE301	哲学概説A	1-4	2	卒業単位外
			PHE302	哲学概説B	1-4	2	
			JPH103	日本史A	1-4	2	
			JPH104	日本史B	1-4	2	
			PHE303	倫理学概説A	1-4	2	
			PHE304	倫理学概説B	1-4	2	
			HSG103	外国史A	1-4	2	
			HSG104	外国史B	1-4	2	
			GGR105	地理学A	1-4	2	
			GGR106	地理学B	1-4	2	
GGR107			地誌学A	1-4	2		
GGR108			地誌学B	1-4	2		
SHS101			技術と産業の社会史	1-4	2		
TOS244			歴史と郷土文化	1-4	2		
GGR109			自然地理学A	1-4	2		
GGR110			自然地理学B	1-4	2		
HUG106	人文地理学B	1-4	2				

開講学部・学科		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
学部内他学科科目						
	国際観光学科	TOS105	ホスピタリティマネジメント	1	2	
	国際観光学科	TOS211	環太平洋ツーリズム論	2	2	
	国際観光学科	TOS212	欧州ツーリズム論	2	2	
	国際観光学科	TOS213	北米ツーリズム論	2	2	
	国際観光学科	TOS215	コンベンション論	2	2	
	国際観光学科	TOS225	セレモニー経営論	2	2	
	国際観光学科	TOS228	顧客マネジメント	2	2	
	国際観光学科	TOS233	地域観光論	2	2	
	国際観光学科	TOS234	観光・環境経済学	2	2	
	国際観光学科	TOS236	観光行動論	2	2	
	国際観光学科	TOS240	観光調査・予測理論	2	2	
	国際観光学科	TOS324	環境法規・政策論	3	2	
	国際観光学科	TOS325	環日本海観光文化論	3	2	
	国際観光学科	TOS111	観光マーケティング	1～4	2	
	国際観光学科	TOS114	食品衛生論	1～4	2	
	国際観光学科	TOS117	歴史と観光	1～4	2	
	国際観光学科	TOS245	観光の歴史と文化	2～4	2	
	国際観光学科	EUL205	ヨーロッパの歴史と言語	2～4	2	
	国際観光学科	TOS247	観光コンサルタント論	2～4	2	
	国際観光学科	TOS248	簿記会計論	2～4	2	
	国際観光学科	TOS249	財務諸表論	2～4	2	
	国際観光学科	TOS250	経営分析論	2～4	2	
	国際観光学科	TOS252	サービス・マネジメント	2～4	2	
	国際観光学科	TOS255	観光行動モデル	2～4	2	
	国際観光学科	HIS201	日本美術史	2～4	2	
	国際観光学科	HIS202	西洋美術史	2～4	2	
	国際観光学科	TOS261	ペットツーリズム論	2～4	2	
	国際観光学科	TOS120	国際観光学研修Ⅰ	1～4	2	
	国際観光学科	TOS121	国際観光学研修Ⅱ	1～4	2	
	国際観光学科	TOS124	国際観光学研修Ⅲ	1～4	2	
	国際観光学科	TOS125	国際観光学研修Ⅳ	1～4	2	
他学部他学科開放科目						
文学部		GER301	ドイツ語講読と文化A	3～4	1	
文学部		GER302	ドイツ語講読と文化B	3～4	1	
文学部		GER303	ドイツ語コミュニケーションと文化A	3～4	1	
文学部		GER304	ドイツ語コミュニケーションと文化B	3～4	1	
文学部		FRA301	フランス語講読と文化A	3～4	1	
文学部		FRA302	フランス語講読と文化B	3～4	1	
文学部		FRA303	フランス語コミュニケーションと文化A	3～4	1	
文学部		FRA304	フランス語コミュニケーションと文化B	3～4	1	
文学部		CHI301	中国語講読と文化A	3～4	1	
文学部		CHI302	中国語講読と文化B	3～4	1	
文学部		CHI303	中国語コミュニケーションと文化A	3～4	1	
文学部		CHI304	中国語コミュニケーションと文化B	3～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	CIB108	インド思想史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB109	インド思想史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB112	仏教思想概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB113	仏教思想概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN109	ヒンディー語A	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN110	ヒンディー語B	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN205	サンスクリット語ⅡA	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN206	サンスクリット語ⅡB	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN207	パーリ語A	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN208	パーリ語B	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN209	チベット語A	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN210	チベット語B	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	RES107	宗教学概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES108	宗教学概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB117	イスラーム概論	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB118	インド現代思想	1～4	2	

開講学部・学科		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
文学部	東洋思想文化学科	CIB119	現代のインド	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB120	仏教と社会福祉	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB121	現代に生きる仏教	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES109	キリスト教概論	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB122	中国学概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB123	中国学概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB126	中国文化史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB127	中国文化史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB303	中国哲学史A	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB304	中国哲学史B	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CHL303	中国現代文学史A	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CHL304	中国現代文学史B	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES203	比較宗教A	2～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES204	比較宗教B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT113	古代日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT114	古代日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT115	中世日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT116	中世日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT117	近世日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT118	近世日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT119	近現代日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT120	近現代日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIG103	比較文学文化概説A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIG104	比較文学文化概説B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIE201	英語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIE202	英語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL201	ドイツ語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL202	ドイツ語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL203	フランス語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL204	フランス語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CHL201	中国語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CHL202	中国語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA104	日本の伝統行事A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA105	日本の伝統行事B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	FAH103	日本の美術A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	FAH104	日本の美術B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT217	万葉文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT218	万葉文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT219	王朝文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT220	王朝文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT221	室町文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT222	室町文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT223	江戸文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT224	江戸文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT225	近現代文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT226	近現代文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT227	日本の古典籍A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT228	日本の古典籍B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA201	日本民俗学A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA202	日本民俗学B	2～4	2	
文学部	史学科	HSG301	歴史学概論	3～4	2	
文学部	史学科	JPH205	日本史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	JPH206	日本史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	HAA205	東洋史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	HAA206	東洋史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	HEA205	西洋史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	HEA206	西洋史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	ARC201	考古学研究A	2～4	2	
文学部	史学科	ARC202	考古学研究B	2～4	2	
文学部	史学科	JPH107	古文書学ⅠA	1～4	2	
文学部	史学科	JPH108	古文書学ⅠB	1～4	2	
文学部	史学科	JPH109	古文書学ⅡA	1～4	2	
文学部	史学科	JPH110	古文書学ⅡB	1～4	2	

開講学部・学科		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
文学部	教育学科	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	SNE101	特別支援教育概論Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	JPH113	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学科	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU109	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学科	SOE103	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学科	HIT103	アメリカ思想史	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU111	女性問題と学習	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU114	グローバル化と学習	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU115	家庭教育論	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU201	社会教育計画論Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU202	社会教育計画論Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	SNE103	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	FLE103	言語・非言語コミュニケーションA	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	FLE104	言語・非言語コミュニケーションB	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	LIN101	言語論A	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	LIN102	言語論B	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	INR110	比較文化論A	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	INR111	比較文化論B	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	ENL131	特別講義Ⅰ	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	ENL132	特別講義Ⅱ	1～4	2	
経済学部		GER207	検定ドイツ語A	2～4	1	
経済学部		GER208	検定ドイツ語B	2～4	1	
経済学部		GER209	時事ドイツ語A	2～4	1	
経済学部		GER210	時事ドイツ語B	2～4	1	
経済学部		FRA109	検定フランス語A	1～4	1	
経済学部		FRA110	検定フランス語B	1～4	1	
経済学部		FRA207	上級フランス語A	2～4	1	
経済学部		FRA208	上級フランス語B	2～4	1	
経済学部		CHI215	検定中国語A	2～4	1	
経済学部		CHI216	検定中国語B	2～4	1	
経済学部		CHI217	コミュニケーション中国語A	2～4	1	
経済学部		CHI218	コミュニケーション中国語B	2～4	1	
経済学部	経済学科	EDE203	経済哲学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE204	経済哲学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP307	政治経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP308	政治経済学B	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP305	人口経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP306	人口経済学B	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP301	医療経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP302	医療経済学B	3～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP309	ヨーロッパ経済論A	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP310	ヨーロッパ経済論B	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP201	日本経済論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP202	日本経済論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH301	西欧経済史A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH302	西欧経済史B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP209	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP210	経済発展論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP311	国際公共経済A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP312	国際公共経済B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT401	上級国際経済学A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT402	上級国際経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP114	総合政策特講Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP115	総合政策特講Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP116	総合政策特講Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP117	総合政策特講Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE101	社会経済思想史A	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE102	社会経済思想史B	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS102	自然と環境学	1～4	2	

開講学部・学科		科目ナン バリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
経済学部	総合政策学科	EPS103	自然環境の理解	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	SPS101	健康科学	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS112	比較文化社会Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS113	比較文化社会Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS114	比較文化社会Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS115	比較文化社会Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS116	比較政策分析Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS117	比較政策分析Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS118	比較政策分析Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS119	比較政策分析Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP118	社会的企業	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP119	非営利組織	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP203	地域分析	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP216	現代ビジネスの基礎	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP217	政策デザイン	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP218	総合政策特講Ⅴ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP219	総合政策特講Ⅵ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP226	総合政策特講Ⅶ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP227	総合政策特講Ⅷ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP221	ワーク・ライフ・バランスの総合政策	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP222	現代の産業と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP204	公民連携論	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP205	行政システム	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS201	環境経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS202	環境経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS203	エネルギー経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS204	エネルギー経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP223	情報社会と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP224	情報社会と産業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP313	財政学	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP314	地方財政論	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP316	公共選択	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	MOF310	地域金融論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN113	意思決定論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN208	コンプライアンス経営論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN213	コーポレートガバナンス論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN219	国際経営基礎論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN314	国際経営論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN324	企業評価論	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC303	ビジネス・ネゴシエーションA	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC304	ビジネス・ネゴシエーションB	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC305	ビジネス・ニュース英語A	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC306	ビジネス・ニュース英語B	3～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME205	サービス・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME206	現代の広告	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME217	リレーションシップ・マーケティング	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME207	ファッション・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME208	現代のファッション・マーケティング	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF101	金融論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF102	金融システム論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF104	ファイナンス論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC211	経営監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC212	会計監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF312	証券投資論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF210	経営財務論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF212	投資決定論	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL107	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL108	法哲学B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL109	法思想史A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL110	法思想史B	1～4	2	
法学部	法律学科	POL201	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL202	政治学原論B	2～4	2	
法学部	企業法学科	CRL203	刑法Ⅰ(総論)A	2～4	2	

開講学部・学科		科目ナン バリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
法学部	企業法学科	CRL204	刑法 I (総論) B	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	INR201	Fundamental Concepts of International Politics A	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	INR202	Fundamental Concepts of International Politics B	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	INR203	Fundamental Concepts of Peace Studies A	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	INR204	Fundamental Concepts of Peace Studies B	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	ILA203	International Law A	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	ILA204	International Law B	2 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	INR303	International Relations A	3 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	INR304	International Relations B	3 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	CIV302	Business Communication I A	3 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	CIV303	Business Communication I B	3 ~ 4	2	
法学部	企業法学科	CIV401	Business Communication II A	4	2	
法学部	企業法学科	CIV402	Business Communication II B	4	2	
社会学部	社会学科	SOC208	家族社会学 A	1 ~ 4	2	
社会学部	社会学科	SOE104	教育社会学 A	1 ~ 4	2	
社会学部	社会学科	SOC311	国際社会学 A	1 ~ 4	2	
社会学部	社会学科	SOC312	国際社会学 B	1 ~ 4	2	
社会学部	社会学科	STS203	社会統計学	2 ~ 4	2	
社会学部	社会学科	GGR303	風土と人間・社会 A	2 ~ 4	2	
社会学部	社会学科	GGR304	風土と人間・社会 B	2 ~ 4	2	
社会学部	社会文化システム学科	ARS203	日本社会文化論 A	2 ~ 4	2	
社会学部	社会文化システム学科	ARS204	日本社会文化論 B	2 ~ 4	2	
社会学部	社会文化システム学科	SOC215	犯罪社会学 A	2 ~ 4	2	
社会学部	社会文化システム学科	SOC216	犯罪社会学 B	2 ~ 4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS107	社会福祉発達史 A	1 ~ 4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS108	社会福祉発達史 B	1 ~ 4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS213	社会福祉と人権	2 ~ 4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS307	社会福祉法制行政	2 ~ 4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS214	公的扶助論	2 ~ 4	2	

副専攻 English Special Program for Global Human Resources Development(ESP)

◆◆ ESP のねらい ◆◆

本プログラムは、本学部の教育理念に沿って、「現場主義」に基づいた「地域づくり」におけるグローバル人材を育成するために、

- (1) 専門的な知識の英語（外国語）での運用力
- (2) 諸地域の文化習慣の理解とお互いの文化の尊重
- (3) 地域住民や関係者との外国語によるコミュニケーション力
- (4) 現場での経験に基づいた課題の本質的な理解と実践力

を修得することを目指しています。

本プログラムに応募した学生のうち以下に示す認定要件を満たしたものに対して、プログラムの修了を卒業時に認定し、卒業証書とは別にプログラム修了証を交付します。

◆◆ 認定要件 ◆◆

本プログラムの認定を希望する学生は卒業までに以下の（１）～（４）を満たす必要があります。

- (1) 外国語科目の必修科目を除いて、英語により授業が実施された科目、あるいは英語の修得を目的とした科目を 40 単位以上履修すること。
- (2) Toyo Global (TG) ポイント制度で 30 ポイント以上を獲得すること。
- (3) 卒業までに英語能力に関して次のいずれかの条件を満たしていること。
 - ・ TOEFL-ITP：550 点以上
 - ・ TOEFL-iBT：80 点以上
 - ・ TOEIC：730 点以上
 - ・ IELTS：6.0 以上
 - ・ 上記に相当する英語能力
- (4) 卒業論文の要旨を英文で作成するとともに、卒業論文の本文あるいはインターンシップやフィールドスタディなどの報告を英文で作成すること。

◎ TG ポイント p.166

◆◆ 応募方法 ◆◆

第 3 セメスタの正規履修登録期間まで随時受け付けます。英語能力を示す書類（コピー）とともに教務課窓口に申請書を提出してください。ただし、提出時に英語能力に関して次のいずれかの条件を満たしている学生を対象とします。

- ・ TOEFL-ITP：450 点以上
- ・ TOEFL-iBT：45 点以上
- ・ TOEIC：480 点以上
- ・ IELTS：4.0 以上
- ・ 上記に相当する英語能力

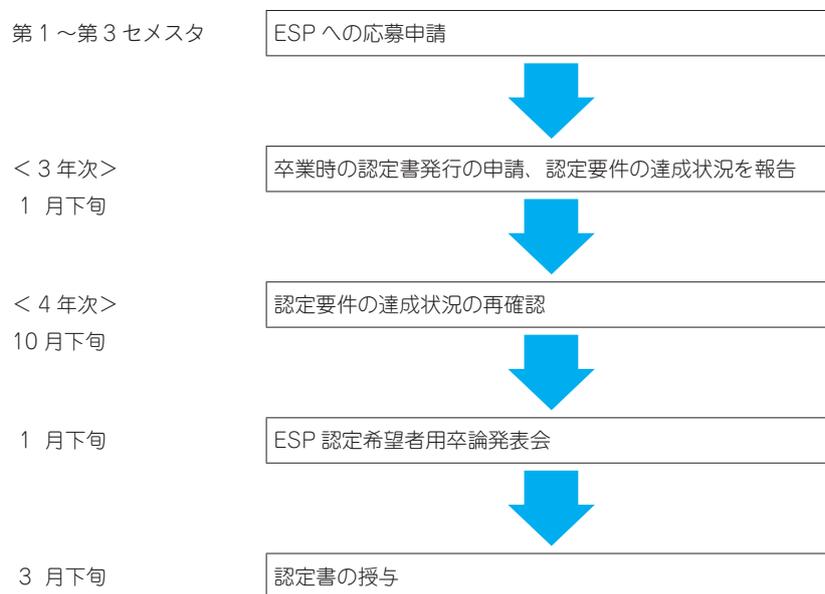
申請料、認定料等は不要です。

◆◆ アドバイザー制度 ◆◆

それぞれの応募者に対して、専任教員の中から ESP アドバイザーを選定します。科目履修や海外研修、留学など、アドバイザーと相談しながら、学習を進めること

ができます。なお、それまでの成果や今後の抱負などについて定期的に報告書をアドバイザーに提出する必要があります。

◆◆スケジュール◆◆



卒業論文

◆◆卒業論文の意義◆◆

卒業論文は、講義や演習などを通して学習した総合的な成果であり、「学士（国際地域学）」に値する学力の有資格者であることを証明するものとなります。履修科目の中で、卒業論文は最も重要なものとして位置づけられるものであり、学生は十分な準備のもとに、卒業論文の執筆に全力で取り組まなくてはなりません。就職活動の際に、大学での勉学について尋ねられる機会が多くあります。それに説得力をもって答えるためにも、卒業論文の準備は早めに取り掛かることが望ましいです。

◆◆卒業論文題目届の提出◆◆

4年生は、第8セメスタ（3月卒業予定者は10月、9月卒業予定者は4月）開始時に、指導教員の承諾を得たうえで「卒業論文題目届」を提出してください。これを提出しなかった者は、卒業論文の指導を受けることができません。指導教員の承諾を得ずに卒業論文の履修登録・変更をしても無効となります。

◆◆卒業論文の執筆要領◆◆

- ・書式
A4判、ワープロ書きを原則とします。
- ・字数
2万字以上を目安とします（図・表を含む）。英語の場合は8000語程度とします。
- ・使用言語
日本語または英語とし、指導教員と学生が相談して決定します。
- ・構成
表紙、要旨、目次、および本文からなります。ページ番号を記入してください。
※表紙の書式の詳細については、見本を学部掲示板に提示します。
- ・注釈および参考文献
論文には、所要の注釈を付すとともに、他の著作物から得た情報を利用する場合は必ず本文中に引用箇所を明示し、本文の最後に他の参考文献とともにその一覧を明示してください。

④ 学部掲示板 p.7

◆◆卒業論文の提出◆◆

- ・提出期限
12月中旬（9月卒業予定者は7月中旬）
卒業論文は本人が責任をもって提出して下さい。
提出締切時間を過ぎた場合には、自動的に卒業延期になりますので、くれぐれも注意してください。
事前に「卒業論文提出猶予願」の提出がない場合には、提出締切後の提出は一切認められません。
- ・病気・事故等による提出の延期願い
理由を証明する書類（診断書等）を添えて、卒業論文提出の締切期日前に、「卒業論文提出猶予願」を教務課窓口へ提出してください。

- ・提出するもの
 - (1) 製本（簡易製本も可）した卒業論文 1部
このほかに、学生本人の保管用として、もう1部作成することが望ましいです。
 - (2) 卒業論文要旨
（ワープロ書き、A4判2ページを両面コピーしたもの） 3部
これは「卒業論文要旨集」を作成するためのものです。「卒業論文要旨集」は大学に所蔵され、公開されます。
 - (3) 要旨データファイル
提出の詳細は掲示等で確認してください。

◆◆卒業論文の評価◆◆

提出された卒業論文のみならず、卒業論文の指導過程、プレゼンテーション、提出後の口頭試問などを経て、総合的に評価されます。指導教員による卒業論文の指導を十分受けずに提出された卒業論文は、評価の対象とはなりません。

◆◆優秀卒業論文の表彰等◆◆

国際地域学部では、学科ごとに卒業論文提出後、優秀な卒業論文の発表会を開催しています。これらの発表の中からそれぞれ最優秀論文および優秀論文を選定し、それらは卒業証書授与式において学部長から表彰状が授与されます。また、最優秀卒業論文は校友会の表彰対象論文として推薦されます。

◆◆卒業論文および要旨等の公表◆◆

最優秀卒業論文者および優秀卒業論文者は大学ホームページ上に論文全文あるいは論文要旨および氏名が掲載されます。また、全員の卒業論文テーマも同様にホームページ上に掲載されます。

教育研究上の目的（国際観光学科）

1 人材の養成に関する目的

当学科では、観光関連企業や組織のマネジメントに主眼を置き、理論と実務を融合した教育を行う。そして、豊かな教養と社会性に富んだ「新観光知識人」（自らが観光を楽しみ、観光を企画・組織化することができ、観光行動を促進し、かつ、観光関連企業や組織をマネジメントできる人材）の育成を目的にしている。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

当学科は、1年生に対して、観光学に関する基礎的な理論の学習に加え、英語や各種語学、または、ビジネスマナーやインターンシップなどにより、幅広い教養と社会性を涵養することを教育目標にしている。そして、2年次以降の学生は、観光関連の専門的な知識を学ぶことになる。その際、フィールドワークなどの手法を用いて、理論の応用に配慮した教育を行うとともに、課題発掘・解決能力を涵養する教育を実施する。

加えて、観光英検、TOEIC、総合旅行業務取扱管理者、ホテル検定、レストラン・サービス技能検定等の資格取得を目指した実践的な教育を行うことも教育目標のひとつになっている。

近年、わが国においても「観光立国」が模索され、観光は人びとの注目を集めるようになってきました。しかし、従前のわが国の高等教育機関を俯瞰すると、観光を余暇活動の一環として捉え社会学を基盤にして教育・研究する機関と、実務教育に主眼を置いた教育機関に大別されています。

これに対して、マネジメントに主眼を置き、理論と実務を融合した教育・研究を行う本学科のような教育・研究機関が少ないのが現状です。そのため、本学科は、この特徴をこれからも堅持しつつ、豊かな教養と社会性に富んだ「新観光知識人」即ち、自ら観光を楽しみ、観光を企画・組織化することができ、観光行動を促進し、かつ、観光関連企業や組織をマネジメントできる人材の養成を教育・研究の目的とします。更に、地域活性化やまちづくりにおいて観光という側面から地域社会に貢献することのできる人材育成も目的としています。

これにより、学生の授業満足度を高めると同時に、企業や地域のニーズに合致した教育を進めることで就職率を高めるなど、社会的な評価を得たいと考えています。

国際観光学科長

国際観光学科の教育方針

◆◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）◆◆

国際観光学科では、国際的視野に立った「観光振興」を通じて、組織・地域の創造的活性化に寄与する人材の輩出をミッションとしており、その効果的、効率的達成のために求める入学者像は下記の4項目です。

- (1) 観光交流の拡大のために、国際的な視野から観光をとらえる視点を持っている人
 - (2) 理論と実践両面の修学に自主的・積極的に取り組むことのできる人
 - (3) 文化、環境、語学など観光と密接に関わる分野にも興味を持ち、幅広い知見の獲得に意欲的に取り組む人
 - (4) 他者や周囲の環境に配慮しながら、全体をマネジメントできる資質を持つ人
- これらミッション達成のために、入学者の有する資質として期待するものは、次のものです。

- (1) コミュニケーション、仕事遂行などの本質的基礎である語学能力
- (2) 社会現象に関する理解と深い洞察に関連する能力
- (3) 論理的な思考に関連する能力
- (4) 上記の基礎学力を用いながら効果的、効率的な業務遂行へとつなげる行動特性（コンピテンシー）

AO型推薦などの推薦入学試験では(4)について重視する一方、一般入学試験では(1)～(3)を重視して選抜を行うものとします。最終的には、入学後における多様な人材間の相互作用、カリキュラム・ポリシーに沿った修学の進行にともない、より広範な視点、興味、高いコンピテンシーを有する人材輩出を達成することを目標としています。

◆◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）◆◆

観光学が学際的な学問分野であることを踏まえ、「ツーリズム・マネジメント」「ホスピタリティ・マネジメント」「レジャー&リゾート・マネジメント」の3種類の専攻領域をクロスオーバーさせて、多様なニーズや不断の変化に対応できるようにしています。

また、理論と実務を融合させた教育・研究を複眼的な視点から行うことができるように、旅行業・航空業・鉄道業等の運輸業を対象にした旅行産業、主にレストラン業・ホテル業を対象にしたホスピタリティ産業、観光地やリゾートの計画・整備・環境保全、観光政策やイベントの企画・調整、観光に関する教養知識等の各種科目について学習するカリキュラムを組み立て、観光学の理論的な体系を踏まえた専門的かつ多様な知識や技術を習得することができるようにしています。

◆◆ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）◆◆

余暇活動や産業の一環である「観光」をリードしていくことができる優れた人材の育成を教育・研究の目標として掲げています。卒業認定や学位授与に当たっては、観光学に関する専門的な知識や技術、幅広い国際的な知識や教養、即戦力となる実務能力や語学力の習得を求めています。

カリキュラムの特徴

国際観光学科では、1年次に、観光学に関する基礎的な理論を身につけ、基盤教育科目において視野を広げ、従来から学んできた英語に加え、ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ハングル・タイ語などの語学を新たに学んでいきます。そして、2年次には、各自の興味・関心に従い、①ツーリズム・マネジメント②ホスピタリティ・マネジメント③レジャー&リゾート・マネジメントの3コースのうちの1つに属して、専門分野の授業を履修します。また2年生で履修する「観光基礎演習Ⅱ」は3年次からの「国際観光研究」につながり、卒業研究に向けての活動が始まります。これに「ビジネスマナー」や「インターンシップ」、または「フィールドワーク」などのキャンパスの外でも展開する実践的な授業を加えながら、社会人としての常識やビジネス社会の実際を直接学び、4年生で執筆する卒業研究へと進みます。

特に重点を入れている必修の外国語である英語科目ではオールラウンドな英語力が求められています。観光産業に必要な実用英語と英語4技能を向上させることが本学科の英語教育の主要な目的です。より実際の現場に近い学習環境を設定し、現場ですぐに使える実践的英語技能を養います。観光英検、英検、TOEICなど、資格試験受験のための基礎力養成にも力を入れます。また今日、教育活動でも社会の活動でも欠かせない情報技術にも力を入れています。1年次の必修科目である「情報演習」において、情報実務の基礎となる文書作成、表計算とグラフ作成、データベースの実習を通じて、先端の情報環境になじむと同時に情報倫理に配慮する人材育成を行っています。

◆◆コースの内容と特徴◆◆

◆◆ツーリズム・マネジメントコース◆◆

ツーリズム・マネジメントコースでは、旅行産業、特に旅行業や運輸業（航空業・鉄道業）を対象として、その運営に関する知識、能力だけでなく、企業の幹部社員として活躍するために必要な実践的な理論やマネジメント手法を身につけるための授業を行います。

1年次は、「旅行業法論」、「旅行産業論」、「運輸産業論」で産業基盤の基礎知識を得て勉学のベースを作ります。

2年次には、「旅行企画論」、「旅行事業経営論」を履修し、旅行業界の実務について学習します。また、航空業、鉄道業、に興味を持つ学生向けに、「航空経営論」、「国際交通論」、「鉄道経営論」が用意されています。さらに、旅行産業にとって重要なディステーション（旅行目的地）の研究のためには、「環太平洋ツーリズム論」や「欧州ツーリズム論」、「北米ツーリズム論」、「アジアツーリズム論」が対応しています。

一方、ツーリズム・マネジメントコースは、旅行業の柱のひとつであるパッケージツアーの企画から実施まで実際に旅行会社の担当者の生の話を聞きながら体験し最終の総まとめとして、そのパッケージツアーに参加して現地での対応を学ぶ「募集型企画旅行演習」が希望者に用意されています。また、「ツーリズム情報実務演習」では、航空・旅行業界では不可欠な『AXESS』（予約情報システム）の操作も学ぶことが出来ます。

ツーリズム・マネジメントコースの学生は、2年次から「インターンシップⅠ・Ⅱ」を積極的に取る学生も多く、旅行業界の研究のため週末や長期休暇の期間を有効活用する学生も多くいます。

◆◆ホスピタリティ・マネジメントコース◆◆

ホスピタリティ・マネジメントコースでは、ホスピタリティ産業、主にホテル業とフードビジネス、そしてプライダル産業を主たる対象とし、そのオペレーションに関する実務的な知識、技能のみならず、企業や事業体のマネジメントクラスとして活躍するために必要な実践的な理論や手法を習熟することを目的とした授業を行います。

具体的には、2年次には、「フードプロセッシング」で調理の実習を学ぶとともに「F&Bプロセッシング論」で調理を理論から学びます。「顧客マネジメント」では、ホスピタリティ産業の基本である顧客とのコミュニケーションを企業のケーススタディをもって学習します。さらに2年次には、学生の興味や進路の希望に合わせ、様々な領域の科目を配しています。ホテル業やフードビジネスの経営の概要を学ぶ「ホテル経営概論」、「F&Bビジネス経営論」、財務や会計をさらに深く学びたいければ「ホスピタリティ計数管理」、またプライダル事業などをマネジメントする「セレモニー経営論」などがあります。

3年次では、ホテル経営やフードビジネス、プライダル産業に関するより高度な学習を行います。例えば、これらの運営形態を開業する際にどのような立地を選ぶべきなのか、あるいは、施設をどのように設計・管理するべきかを学習する「ホテル開発論」や「ホスピタリティ施設開発論」などの科目を習得します。さらにフードビジネスのメニュープランニングについて学ぶ「メニュー開発論」や人事管理を学ぶ「ホスピタリティ人的資源論」など専門領域に及ぶ科目を配しています。また実務面では、「ホスピタリティ実務演習」「F&Bサービス実務演習」などの実習科目を学びます。

さらに専門性の高い学習を目的に、ホスピタリティ・マネジメントコースを受け持つ各教員が演習を2年次、3年次、4年次に担当し、教員の専門分野をより深く、また社会とのつながりにおいて学び、また資格取得支援をする演習科目を配しています。

ホスピタリティ・マネジメントコースでは、夏季および春季休暇を利用して都内シティホテルやリゾート宿泊施設あるいはレジャー施設においてインターンシップを体験する「ホスピタリティ 課外実習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目としており、キャリア形成を支援しています。

◆レジャー&リゾート・マネジメントコース◆

レジャー&リゾート・マネジメントコースでは、空間的広がりをもつ圏域を対象として、レジャー・リゾート施設をはじめとする観光地の整備、開発、保全について学びます。さらに、整備、開発のための施策・プロジェクトによる環境および社会文化への影響・効果の把握に関する理論とその応用を学び、実践力の養成を目的にした授業を行います。また、より高度かつ広範にわたる知識や技術の習得を図り、論理的な思考力や実践的な問題解決能力を高めるためにエクステンション科目を設けています。

具体的には、2年次に「観光施設デザイン論」、「自然公園・保護論」、3年次には「観光行政・政策論」、「リゾート開発計画論」を必修科目として履修します。これらに加えて、「観光行動論」を2年次に、「国際観光論」、「イベント企画論」、「環日本海観光文化論」を3年次に履修して、レジャー・リゾート施設のマネジメントに必要な共通分野の素養を獲得します。また、「自然地理学A」も共通分野と密接に関連するため、履修することを推奨しています。

また、リゾート地の形成に欠かせない環境と景観に関連して、「景観・緑地論」、「環境法規・政策論」、「エコツーリズム」などの環境・景観関連の科目履修を通じて、環境と景観の保護・活用についてより深い理解を図ります。さらに、リゾート地の形成などに関連したまちづくりについて、「地域観光論」、「観光まちづくり概論」、「観光・環境経済学」に加えて「まちづくり関連法規」など法制度からも、その仕組みを理解します。

これらに加えて、PCを利用した分析スキルの向上のための「観光調査・予測理論」や、コンサルタント・行政等への「インターンシップ」を通じて、実務・実践感覚を養いながら、その集大成として「卒業論文」の執筆を行います。

これらのカリキュラムを通じて、レジャー施設、リゾート開発や環境・景観保護、まちづくりに関連して、幅広い教養・理論と具体的な実践能力の両面を習得するとともに、課題発掘・解決能力・マネジメント能力を有する人材になることを目指します。

卒業要件

卒業に必要な単位数は 124 単位で、次の表の太枠内に掲げる所定の単位を修得しなければなりません。

		科目区分		一般学生	留学生
卒業必要単位数	22 単位以上	哲学・思想		2 単位以上	
		学問の基礎		2 単位以上	
		国際人の形成			
		キャリア・市民形成			
		総合・学際			
		留学支援(英語特別教育科目)			
	14 単位以上	外国語系教育科目	必修	8 単位	10 単位
			選択必修	3 単位以上	2 単位以上
			選択	3 単位以上	2 単位以上
	82 単位以上	必修		26 単位	
		第 1 選択(必修)	ツーリズム・マネジメント	8 単位	
			ホスピタリティ・マネジメント	8 単位	
			レジャー&リゾート・マネジメント	8 単位	
		第 1 選択(選択必修)	ツーリズム・マネジメント	20 単位以上	
ホスピタリティ・マネジメント			20 単位以上		
レジャー&リゾート・マネジメント			20 単位以上		
第 2 選択(選択)		28 単位以上			
開放領域(国際地域学部内他学科・他学部他学科)					
124 単位		教職科目			
		自由科目			

年次別履修登録単位数制限

◆履修できる単位数◆

下記の通り年次別に履修できる単位数の上限が設定されています。

年次	年間	卒業単位として認められる科目		卒業単位として認められない科目
		春学期	秋学期	
1	44 単位	22 単位	22 単位	制限なし
2	44 単位	22 単位	22 単位	
3	48 単位	24 単位	24 単位	
4	48 単位	24 単位	24 単位	

<卒業に必要な単位として認められる科目>

基盤教育、専門教育科目、開放領域（国際地域学部内他学科科目・他学部他学科開放科目）

<卒業に必要な単位として認められない科目>

- ・教職課程の教職に関する科目（教職概論、教育心理学等）
- ・教職課程の教科に関する科目のうち、以下の科目
「日本史 A・B」、「外国史 A・B」、「倫理学概説 A・B」、「哲学概説 A・B」「地理学 A・B」「地誌学 A・B」「技術と産業の社会史」「政治学」「日本外交論」「情報社会論」
- ・自由科目
自分の学科教育課程表になく、なおかつ他学部他学科開放科目として履修できない科目で担当教員の許可を得て履修する科目

④ 教職課程 p.120～133

④ 自由科目 p.77

履修上の注意

◆◆ 基盤教育 ◆◆

以下の①・②の基準を満たし、外国語系教育科目を含め最低 22 単位修得しなければなりません。

- ①「哲学・思想」分野より最低 2 単位修得すること。
- ②「学問の基礎」「国際人の形成」「キャリア・市民形成」「総合・学際」の 4 分野の中より 2 単位以上修得すること。
- ③「スポーツ健康科学実技ⅠA～ⅢB」「スポーツ健康科学講義Ⅰ～ⅡB」「スポーツ健康科学演習Ⅰ」の授業は、総合スポーツセンター（板橋区清水町）で開講されます。総合スポーツセンターでの授業は、白山 6 学部すべての 1～4 年生が履修できます。
- ④「スポーツ健康科学実技」および「スポーツ健康科学演習」の各コースの受講者数は人数調整が必要になる場合があります。詳細については履修関係資料、学内掲示を参照してください。
- ⑤一度単位修得した科目は再登録できません。なお、修得できなかった科目の再履修は可能です。

< 外国語系教育科目 >

< 一般学生 >

以下の 3 つを基準を満たし、最低 14 単位修得しなければなりません。

- ①必修科目に配当されている 8 科目 8 単位を修得すること。
- ②選択必修に配当されている、中国語、ハングル、フランス語、ドイツ語、スペイン語、タイ語の中から 1 ヶ国語を選択し、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に 3 科目 3 単位を履修・単位修得すること。
- ③選択に配当されている科目の中から 3 科目 3 単位以上を修得すること。

< 外国人留学生 >

以下の 3 つの基準を満たし、最低 14 単位修得しなければなりません。

- ①必修科目に配当されている 10 科目 10 単位を修得すること。
- ②選択必修に配当されている科目の中から 2 科目 2 単位以上修得すること。
- ③選択に配当されている科目の中から 2 科目 2 単位以上修得すること。

なお、中国語、ハングル、フランス語、ドイツ語、スペイン語、タイ語を履修する場合は、同じ言語でⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの順に履修、単位修得してください。

また、母国語の履修はできません。

◆◆ 専門教育科目 ◆◆

必修科目、コース必修科目、コース選択必修科目、選択科目から構成され、それぞれに必要な単位数が定められています。

< 必修科目 >

1 年次 6 科目 12 単位、2 年次 1 科目 2 単位、3 年次 2 科目 4 単位、4 年次 3 科目 8 単位の計 26 単位を修得しなければなりません。

<第1 選択科目>

ツーリズム・マネジメント、ホスピタリティ・マネジメント、レジャー&リゾート・マネジメントの3コースごとに必修8単位、選択必修20単位ずつ設定されています。1年次秋学期にどのコースに進むかの希望調査を行い、2年次3セメスタから決定した各コースに分かれて履修します。

<第2 選択科目>

すべての学生が選択して履修することができる科目です。

第2 選択科目と第1 選択で選択しなかったコースの科目の中から、合計で最低28単位以上修得しなければなりません。

◆◆卒業要件を上回って修得した単位について◆◆

教育課程表上の基盤教育および専門教育科目において卒業要件に定められた単位数を上回って修得した単位は、卒業必要単位数124単位の中の単位として換算されます。

◆◆既修得科目の再登録について◆◆

既修得科目の再登録は、下記に掲げる科目以外は、履修登録の上限単位数内であれば担当教員の許可を得て履修を認めます。ただし、取得した単位は重複して卒業単位に組み入れられません。なお成績については、成績上位の評価を卒業単位とみなします。

再登録ができない科目は次の通りです。

(基盤教育)

・全ての科目

(専門教育科目)

・国際観光研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

・卒業論文

・コンベンション論

・観光法制度論

・地域観光論

(他学部他学科科目)

・全ての科目

(教職科目)

・全ての科目

(自由科目)

・全ての科目

◆◆開放領域について◆◆

国際地域学部内他学科科目・他学部他学科開放科目を履修することができます。履修した単位は、開放領域の単位として卒業必要単位数124単位の中の単位として換算されます。

なお履修にあたっては、開講学部・学科の履修要件、配当学年・セメスタに従ってください。

◆◆自由科目について◆◆

自分の学科教育課程表になく他学部他学科開放科目一覧にも記載されていない科目で、担当教員の許可を得て履修する科目を指します。なお、この科目は卒業単位として認められません。

履修希望者は、「履修登録のしおり・授業時間割」を確認してください。

◆◆インターンシップ◆◆

インターンシップとは、学生が企業等において、実習、研修的な就業体験を行うことをいいます。1年生の秋学期から「インターンシップⅠ・Ⅱ」を履修することができますが、両者を同一の学期内に履修することはできません。また、春学期にインターンシップの受講に関するガイダンスを行います。このガイダンスへの参加が、各学期に行う履修申請の前提になるので注意してください。

◆◆実習費について◆◆

ツーリズム・マネジメントコースを選択した場合、2年次「ツーリズム情報実務演習」に実習費（2万円程度、年度により異なる）が必要となり、各学期の始めに徴収します。

ホスピタリティ・マネジメントコースを選択した場合、2年次「フードプロセッシング」、3年次「F&Bサービス実務演習」、「ホスピタリティ実務演習」の3科目の実習が選択必修科目に配置されています。科目ごとに実習費が5,000円必要になり、各学期の始めに徴収します。（※実習費は変動する場合があります）

なお、詳細は学部掲示板でお知らせします。

◆◆ 2016 年度入学生用 国際観光学科 教育課程表 (基盤教育 一般学生用) ◆◆

		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
哲学・思想 (2)		哲学A	(2)	哲学B	(2)	哲学史A	(2)	哲学史B	(2)	
		倫理学基礎論A	(2)	倫理学基礎論B	(2)	応用倫理学A	(2)	応用倫理学B	(2)	
学問の基礎		科学思想史A	(2)	科学思想史B	(2)	宗教学ⅠA	(2)	宗教学ⅠB	(2)	
		宗教学ⅡA	(2)	宗教学ⅡB	(2)	地球倫理A	(2)	地球倫理B	(2)	
		論理学A	(2)	論理学B	(2)	井上円了と東洋大学A	(2)	井上円了と東洋大学B	(2)	
		東洋思想	(2)	ロジカルシンキング入門	(2)	クリティカルシンキング入門	(2)			
		美術史A	(2)	美術史B	(2)	音楽学A	(2)	音楽学B	(2)	
		歴史の諸問題A	(2)	歴史の諸問題B	(2)	経済学A	(2)	経済学B	(2)	
		統計学A	(2)	統計学B	(2)	法学A	(2)	法学B	(2)	
		政治学A	(2)	政治学B	(2)	社会学A	(2)	社会学B	(2)	
		人類学A	(2)	人類学B	(2)	心理学A	(2)	心理学B	(2)	
		自然の数理A	(2)	自然の数理B	(2)	生活と物理A	(2)	生活と物理B	(2)	
		エネルギーの科学A	(2)	エネルギーの科学B	(2)	物質の科学A	(2)	物質の科学B	(2)	
		環境の科学A	(2)	環境の科学B	(2)	地球の科学A	(2)	地球の科学B	(2)	
		生物学A	(2)	生物学B	(2)	天文学A	(2)	天文学B	(2)	
		自然科学概論A	(2)	自然科学概論B	(2)	自然誌A	(2)	自然誌B	(2)	
		物理学実験講義A	(2)	物理学実験講義B	(2)	生物学実験講義A	(2)	生物学実験講義B	(2)	
		化学実験講義A	(2)	化学実験講義B	(2)	地球科学実験講義A	(2)	地球科学実験講義B	(2)	
		数理・情報実習講義A	(2)	数理・情報実習講義B	(2)	天文学実習講義A	(2)	天文学実習講義B	(2)	
				自然科学演習A	(2)	自然科学演習B	(2)			
	国際人の形成 2単位以上		地域文化研究ⅠA	(2)	地域文化研究ⅠB	(2)	地域文化研究ⅡA	(2)	地域文化研究ⅡB	(2)
			地域文化研究ⅢA	(2)	地域文化研究ⅢB	(2)	国際教育論A	(2)	国際教育論B	(2)
		多文化共生論A	(2)	多文化共生論B	(2)	百人一首の文化史A	(2)	百人一首の文化史B	(2)	
		日本の昔話A	(2)	日本の昔話B	(2)	日本文学文化と風土A	(2)	日本文学文化と風土B	(2)	
		日本の詩歌A	(2)	日本の詩歌B	(2)	西欧文学A	(2)	西欧文学B	(2)	
		現代日本文学A	(2)	現代日本文学B	(2)	地域史(日本)A	(2)	地域史(日本)B	(2)	
		地域史(東洋)A	(2)	地域史(東洋)B	(2)	地域史(西洋)A	(2)	地域史(西洋)B	(2)	
		国際比較論A	(2)	国際比較論B	(2)	アジアの古典	(2)	アジアの古典	(2)	
		国際関係入門	(2)	地域と生活	(2)	国際キャリア概論	(2)	留学のすすめ	(2)	
		海外研修Ⅰ	(2)	海外研修Ⅱ	(2)	海外実習Ⅰ	(2)	海外実習Ⅱ	(2)	
		短期海外研修Ⅰ	(1)	短期海外研修Ⅱ	(1)	短期海外研修Ⅲ	(1)	短期海外研修Ⅳ	(1)	
		短期海外実習Ⅰ	(1)	短期海外実習Ⅱ	(1)	短期海外実習Ⅲ	(1)	短期海外実習Ⅳ	(1)	
基盤教育 (22)		キャリア・市民形成	日本国憲法	(2)	ベーシック・マーケティング	(2)	流通入門	(2)	基礎会計学	(2)
			企業会計	(2)						
	スポーツ健康科学実技ⅠA		(1)	スポーツ健康科学実技ⅠB	(1)	スポーツ健康科学実技ⅡA	(1)	スポーツ健康科学実技ⅡB	(1)	
	スポーツ健康科学実技ⅢA		(1)	スポーツ健康科学実技ⅢB	(1)	スポーツ健康科学講義Ⅰ	(2)			
	スポーツ健康科学講義ⅡA		(2)	スポーツ健康科学講義ⅡB	(2)	スポーツ健康科学演習Ⅰ	(2)	情報化社会と人間	(2)	
	情報倫理		(2)	コンピュータ・リテラシー	(2)	社会人基礎力入門講義	(2)	社会人基礎力実践講義	(2)	
	キャリアデベロップメント論A	(2)	キャリアデベロップメント論B	(2)	企業のしくみ	(2)	企業家論	(2)		
	社会貢献活動入門	(2)	公務員論	(2)	テクニカルライティング	(2)	アカデミックライティング	(2)		
	地球環境論	(2)	インターンシップ入門	(2)	ボランティア活動入門	(2)				
	総合・学際	総合ⅠA	(2)	総合ⅠB	(2)	総合ⅡA	(2)	総合ⅡB	(2)	
		総合ⅢA	(2)	総合ⅢB	(2)	総合ⅣA	(2)	総合ⅣB	(2)	
		総合ⅤA	(2)	総合ⅤB	(2)	総合ⅥA	(2)	総合ⅥB	(2)	
		総合ⅦA	(2)	総合ⅦB	(2)	総合ⅧA	(2)	総合ⅧB	(2)	
		総合ⅨA	(2)	総合ⅨB	(2)	全学総合ⅠA	(2)	全学総合ⅠB	(2)	
全学総合ⅡA		(2)	全学総合ⅡB	(2)	首都東京を学ぶ	(2)				
留学支援	英語特別教育科目	English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking	(2)	English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing	(2)	English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking	(2)	English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing	(2)	
		Pre-Study Abroad College Study Skills	(1)	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	(1)	Pre-Study Abroad College Study Skills	(1)	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	(1)	
		Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	(1)	Business English Communication	(2)					
外国語系教育科目 (14)	必修 (8)	English Communication A	(1)	English for Tourism IndustryⅠ	(1)					
		English Communication B	(1)	English for Tourism IndustryⅡ	(1)					
		Reading and Vocabulary A	(1)	English Tourism Projects and Presentation	(1)					
		Reading and Vocabulary B	(1)	Applied Reading	(1)					
	選択必修 (3)	中国語Ⅰ	(1)	中国語Ⅱ	(1)					
		中国語Ⅱ	(1)	ハンガールⅡ	(1)					
		ハンガールⅠ	(1)	フランス語Ⅱ	(1)					
		ハンガールⅡ	(1)	ドイツ語Ⅱ	(1)					
		フランス語Ⅰ	(1)	スペイン語Ⅱ	(1)					
		フランス語Ⅱ	(1)	タイ語Ⅲ	(1)					
	選択 (3)	ドイツ語Ⅰ	(1)							
		ドイツ語Ⅱ	(1)							
		スペイン語Ⅰ	(1)							
		スペイン語Ⅱ	(1)							
		タイ語Ⅰ	(1)							
		タイ語Ⅱ	(1)							
		Basic Writing	(1)	ビジネス英語Ⅰ	(1)	中国語Ⅳ	(1)	中国語圏の言語と文化	(1)	
		Academic WritingⅠ	(1)	ビジネス英語Ⅱ	(1)	ハンガールⅣ	(1)	ハンガール圏の言語と文化	(1)	
		Academic WritingⅡ	(1)	インターネット・リサーチ	(1)	フランス語Ⅳ	(1)	フランス語圏の言語と文化	(1)	
				クリティカル・シンキング	(1)	ドイツ語Ⅳ	(1)	ドイツ語圏の言語と文化	(1)	
				メディア英語読解演習Ⅰ	(1)	スペイン語Ⅳ	(1)	スペイン語圏の言語と文化	(1)	
				メディア英語読解演習Ⅱ	(1)	タイ語Ⅳ	(1)			
				Intercultural Studies	(1)					

◆◆ 2016年度入学生用 国際観光学科 教育課程表（専門教育科目 一般学生・外国人留学生共通） ◆◆

		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
専門教育科目 (82)	必修 (26)	観光基礎演習Ⅰ	(2)	観光基礎演習Ⅱ	(2)	国際観光研究Ⅰ	(2)	国際観光研究Ⅲ	(2)	
		観光学概論	(2)			国際観光研究Ⅱ	(2)	国際観光研究Ⅳ	(2)	
		情報演習	(2)					卒業論文	(4)	
		旅行業法論	(2)							
		ホスピタリティマネジメント	(2)							
			観光計画概論	(2)						
	第1選択(必修)	ツーリズム・マネジメントコース (8)			旅行企画論	(2)				
				国際交通論	(2)					
				航空経営論	(2)					
		ホスピタリティ・マネジメントコース (8)			旅行事業経営論	(2)				
				ホスピタリティ課外実習Ⅰ	(2)					
				ホスピタリティ課外実習Ⅱ	(2)					
				ホテル経営概論	(2)					
				F & B ビジネス経営論	(2)					
	レジャー&リゾート・マネジメントコース (8)			観光施設デザイン論	(2)	観光行政・政策論	(2)			
				自然公園・保護論	(2)	リゾート開発計画論	(2)			
第1選択(選択必修)	ツーリズム・マネジメントコース (20)			環太平洋ツーリズム論	(2)	鉄道経営論	(2)			
				欧州ツーリズム論	(2)	海上交通論	(2)			
				北米ツーリズム論	(2)	インバウンド・ツーリズム論	(2)			
				ツーリズム情報論	(2)	福祉観光論	(2)			
				コンベンション論	(2)	アジアツーリズム論	(2)			
			ツーリズム情報実務演習	(2)	観光安全・リスクマネジメント論	(2)				
			海外実務	(2)						
			国際航空運賃	(2)						
			募集型企画旅行演習	(2)						
			空港経営論	(2)						
	ホスピタリティ・マネジメントコース (20)			フードプロセッシング	(2)	ホスピタリティ実務演習	(2)			
			ホスピタリティ計数管理	(2)	F & B サービス実務演習	(2)				
			セレモニー経営論	(2)	グローバルホスピタリティ論	(2)				
			ホスピタリティ起業論	(2)	ホスピタリティ人的資源論	(2)				
			F & B プロセッシング論	(2)	ホスピタリティ関連法規	(2)				
		顧客マネジメント	(2)	ホテル開発論	(2)					
		旅館・リゾート経営論	(2)	メニュー開発論	(2)					
		生総合ホスピタリティマーケティング	(2)	ソーシャルホスピタリティ論	(2)					
		サービスマーケティング&マネジメント	(2)	ホスピタリティ施設開発論	(2)					
		F & B ビジネスマネジメント演習	(2)							
	レジャー & リゾート・マネジメントコース (20)			地域観光論	(2)	国際観光論	(2)			
					観光・環境経済学	(2)	エコツーリズム	(2)		
					環境教育論	(2)	まちづくり関連法規	(2)		
					観光行動論	(2)	文化遺産地域振興論	(2)		
					観光まちづくり概論	(2)	イベント企画論	(2)		
	エクステンション科目			観光法制度論	(2)					
					環境法規・政策論	(2)				
					環日本海観光文化論	(2)				
					観光調査・予測理論	(2)				
					観光計画特別演習Ⅰ	(2)	観光計画特別演習Ⅲ	(2)		
				観光計画特別演習Ⅱ	(2)	観光計画特別演習Ⅳ	(2)			
第2選択 (28)	人文地理学A (2) 人文地理学B (2) 旅行産業論 (2) 運輸産業論 (2) 国内運賃料金 (2) 海外観光資源 (2) 観光マーケティング (2) 観光事業経営論 (2) 宿泊事業経営論 (2) 食品衛生論 (2) 観光統計学 (2) 国際観光交流論 (2) 経済学入門 (2) ミクロ経済学Ⅰ (2) マクロ経済学Ⅰ (2) 歴史と観光 (2)	観光の歴史と文化	(2)	観光社会学	(2)					
		ヨーロッパの歴史と言語	(2)	ビジネスマナー演習Ⅰ	(2)					
		流通論	(2)	ビジネスマナー演習Ⅱ	(2)					
		観光コンサルタント論	(2)	地域産業論	(2)					
		簿記会計論	(2)	日本美術史	(2)					
		財務諸表論	(2)	西洋美術史	(2)					
		経営分析論	(2)	観光メディア実習	(2)					
		観光ファイナンス	(2)	観光映像実習	(2)					
		ミクロ経済学Ⅱ	(2)	民事法	(2)					
		マクロ経済学Ⅱ	(2)	観光通訳技法Ⅰ	(2)					
		サービス・マネジメント	(2)	観光通訳技法Ⅱ	(2)					
		ウェブマーケティング	(2)	ホスピタリティ英語	(2)					
		リテールビジネス産業論	(2)	ペットツーリズム論	(2)					
		観光行動モデル	(2)	余暇・レクリエーション論	(2)					
		日本の宗教と伝統文化	(2)							
	歴史と郷土文化	(2)	自然地理学A	(2)						
			自然地理学B	(2)						
	観光フィールドワークⅠ	(2)	観光フィールドワークⅡ	(2)						
	国際観光特別研究Ⅰ	(2)	国際観光特別研究Ⅱ	(2)						
	観光学特殊講義Ⅰ	(2)	観光学特殊講義Ⅱ	(2)						
観光学特殊講義Ⅳ	(2)									
インターンシップⅠ	(2)	インターンシップⅡ	(2)							
国際観光学研修Ⅰ	(2)	国際観光学研修Ⅱ	(2)							
国際観光学研修Ⅲ	(2)	国際観光学研修Ⅳ	(2)							
海外調査実習Ⅰ	(1)	海外調査実習Ⅱ	(1)							
観光調査実習Ⅰ	(1)	観光調査実習Ⅱ	(1)							
キャリアデザインⅠ	(2)	キャリアデザインⅡ	(2)							
キャリアデザインⅢ	(2)									
教職 (卒業要件単位外)	哲学概説A	(2)	哲学概説B	(2)						
	日本史A	(2)	日本史B	(2)						
	倫理学概説A	(2)	倫理学概説B	(2)						
	外国史A	(2)	外国史B	(2)						
地理学A	(2)	地理学B	(2)							
地誌学A	(2)	地誌学B	(2)							
技術と産業の社会史	(2)	政治学	(2)							
日本外交論	(2)	情報社会論	(2)							

◆◆ 2016年度入学生用 国際観光学科 教育課程表（基盤教育 外国人留学生用） ◆◆

		第1学年 授業科目		第2学年 授業科目		第3学年 授業科目		第4学年 授業科目	
			単位		単位		単位		単位
	哲学・思想 (2)	哲学A	(2)	哲学B	(2)	哲学史A	(2)	哲学史B	(2)
		倫理学基礎論A	(2)	倫理学基礎論B	(2)	応用倫理学A	(2)	応用倫理学B	(2)
	学問の基礎	科学思想史A	(2)	科学思想史B	(2)	宗教学I A	(2)	宗教学I B	(2)
		宗教学II A	(2)	宗教学II B	(2)	地球倫理A	(2)	地球倫理B	(2)
	国際人の形成 2単位以上	論理学A	(2)	論理学B	(2)	井上円了と東洋大学A	(2)	井上円了と東洋大学B	(2)
		東洋思想	(2)	ロジカルシンキング入門	(2)	クリティカルシンキング入門	(2)		
	キャリア・市民形成	美術史A	(2)	美術史B	(2)	音楽学A	(2)	音楽学B	(2)
		歴史の諸問題A	(2)	歴史の諸問題B	(2)	経済学A	(2)	経済学B	(2)
	総合・学際	統計学A	(2)	統計学B	(2)	法学A	(2)	法学B	(2)
		政治学A	(2)	政治学B	(2)	社会学A	(2)	社会学B	(2)
	留學支援	人類学A	(2)	人類学B	(2)	心理学A	(2)	心理学B	(2)
		自然の数理A	(2)	自然の数理B	(2)	生活と物理A	(2)	生活と物理B	(2)
	外国語系教育科目 (14)	エネルギーの科学A	(2)	エネルギーの科学B	(2)	物質の科学A	(2)	物質の科学B	(2)
		環境の科学A	(2)	環境の科学B	(2)	地球の科学A	(2)	地球の科学B	(2)
	英語特別教育科目	生物学A	(2)	生物学B	(2)	天文学A	(2)	天文学B	(2)
		自然科学概論A	(2)	自然科学概論B	(2)	自然誌A	(2)	自然誌B	(2)
	必修 (10)	物理学実験講義A	(2)	物理学実験講義B	(2)	生物学実験講義A	(2)	生物学実験講義B	(2)
		化学実験講義A	(2)	化学実験講義B	(2)	地球科学実験講義A	(2)	地球科学実験講義B	(2)
	選択 (2)	数理・情報実習講義A	(2)	数理・情報実習講義B	(2)	天文学実習講義A	(2)	天文学実習講義B	(2)
	総合・学際	地域文化研究I A	(2)	地域文化研究I B	(2)	地域文化研究II A	(2)	地域文化研究II B	(2)
		地域文化研究II A	(2)	地域文化研究II B	(2)	国際教育論A	(2)	国際教育論B	(2)
	総合・学際	多文化共生論A	(2)	多文化共生論B	(2)	百人一首の文化史A	(2)	百人一首の文化史B	(2)
		日本の昔話A	(2)	日本の昔話B	(2)	日本文学文化と風土A	(2)	日本文学文化と風土B	(2)
	総合・学際	日本の詩歌A	(2)	日本の詩歌B	(2)	西欧文学A	(2)	西欧文学B	(2)
		現代日本文学A	(2)	現代日本文学B	(2)	地域史(日本)A	(2)	地域史(日本)B	(2)
	総合・学際	地域史(東洋)A	(2)	地域史(東洋)B	(2)	地域史(西洋)A	(2)	地域史(西洋)B	(2)
		国際比較論A	(2)	国際比較論B	(2)	アジアの文学	(2)	アジアの古典	(2)
	総合・学際	国際関係入門	(2)	地域と生活	(2)	国際キャリア概論	(2)	留学のすすめ	(2)
		海外研修I	(2)	海外研修II	(2)	海外実習I	(2)	海外実習II	(2)
	総合・学際	短期海外研修I	(1)	短期海外研修II	(1)	短期海外研修III	(1)	短期海外研修IV	(1)
		短期海外実習I	(1)	短期海外実習II	(1)	短期海外実習III	(1)	短期海外実習IV	(1)
	総合・学際	日本事情I A	(2)	日本事情I B	(2)	日本事情II A	(2)	日本事情II B	(2)
		日本の文化と社会	(2)						
	総合・学際	日本国憲法	(2)	ベーシック・マーケティング	(2)	流通入門	(2)	基礎会計学	(2)
		企業会計	(2)	日本事情II A	(2)	日本事情II B	(2)		
	総合・学際	スポーツ健康科学実技I A	(1)	スポーツ健康科学実技I B	(1)	スポーツ健康科学実技II A	(1)	スポーツ健康科学実技II B	(1)
		スポーツ健康科学実技II A	(1)	スポーツ健康科学実技II B	(1)	スポーツ健康科学講義I	(2)	情報化社会と人間	(2)
	総合・学際	スポーツ健康科学講義I A	(2)	スポーツ健康科学講義I B	(2)	スポーツ健康科学演習I	(2)	社会人基礎力実践講義	(2)
		情報倫理	(2)	コンピュータ・リテラシー	(2)	社会人基礎力入門講義	(2)	企業家論	(2)
	総合・学際	キャリアデベロップメント論A	(2)	キャリアデベロップメント論B	(2)	企業のしくみ	(2)	企業家論	(2)
		社会貢献活動入門	(2)	公務員論	(2)	テクニカルライティング	(2)	アカデミックライティング	(2)
	総合・学際	地球環境論	(2)	インターンシップ入門	(2)	ボランティア活動入門	(2)		
		総合I A	(2)	総合I B	(2)	総合II A	(2)	総合II B	(2)
	総合・学際	総合II A	(2)	総合II B	(2)	総合III A	(2)	総合III B	(2)
		総合III A	(2)	総合III B	(2)	総合IV A	(2)	総合IV B	(2)
	総合・学際	総合IV A	(2)	総合IV B	(2)	総合V A	(2)	総合V B	(2)
		総合V A	(2)	総合V B	(2)	総合VI A	(2)	総合VI B	(2)
	総合・学際	総合VI A	(2)	総合VI B	(2)	総合VII A	(2)	総合VII B	(2)
		総合VII A	(2)	総合VII B	(2)	総合VIII A	(2)	総合VIII B	(2)
	総合・学際	総合VIII A	(2)	総合VIII B	(2)	全学総合I A	(2)	全学総合I B	(2)
		総合IX A	(2)	総合IX B	(2)	全学総合II A	(2)	全学総合II B	(2)
	総合・学際	全学総合II A	(2)	全学総合II B	(2)	首都東京を学ぶ	(2)		
	英語特別教育科目	English for Academic Purposes I A	(1)	Listening/Speaking	(2)	English for Academic Purposes I B	(1)	Reading/Writing	(2)
		English for Academic Purposes II A	(1)	Listening/Speaking	(2)	English for Academic Purposes II B	(1)	Reading/Writing	(2)
	必修 (10)	Pre-Study Abroad College Study Skills	(1)		(1)	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	(1)		(1)
		Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	(1)		(1)	Business English Communication	(2)		(2)
	選択 (2)	日本語I A	(1)	応用日本語I A	(1)	中国語I	(1)	ドイツ語I	(1)
		日本語I B	(1)	応用日本語I B	(1)	中国語II	(1)	ドイツ語II	(1)
	選択 (2)	日本語II A	(1)	応用日本語II A	(1)	ハンガールI	(1)	スペイン語I	(1)
		日本語II B	(1)	応用日本語II B	(1)	ハンガールII	(1)	スペイン語II	(1)
	選択 (2)	日本語III A	(1)		(1)	フランス語I	(1)	タイ語I	(1)
		日本語III B	(1)		(1)	フランス語II	(1)	タイ語II	(1)
	選択 (2)	English Communication A	(1)		(1)	フランス語III	(1)	ドイツ語III	(1)
		English Communication B	(1)		(1)	フランス語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
	選択 (2)	Reading and Vocabulary A	(1)		(1)	ハンガールIII	(1)	スペイン語III	(1)
		Reading and Vocabulary B	(1)		(1)	ハンガールIV	(1)	スペイン語IV	(1)
	選択 (2)	Basic Writing	(1)	English for Tourism Industry I	(1)	フランス語V	(1)	タイ語V	(1)
		Academic Writing I	(1)	English for Tourism Industry II	(1)	フランス語VI	(1)	タイ語VI	(1)
	選択 (2)	Academic Writing II	(1)	English Tourism Projects and Presentation	(1)	フランス語VII	(1)	ドイツ語VII	(1)
				Applied Reading	(1)	フランス語VIII	(1)	ドイツ語VIII	(1)
	選択 (2)			ビジネス英語I	(1)	中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
				ビジネス英語II	(1)	中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
	選択 (2)			インターネット・リサーチ	(1)	ハンガールIII	(1)	スペイン語III	(1)
				クリティカル・シンキング	(1)	ハンガールIV	(1)	スペイン語IV	(1)
	選択 (2)			メディア英語読解演習I	(1)	フランス語III	(1)	タイ語III	(1)
				メディア英語読解演習II	(1)	フランス語IV	(1)	タイ語IV	(1)
	選択 (2)			Intercultural Studies	(1)	フランス語V	(1)	タイ語V	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)
						中国語III	(1)	ドイツ語III	(1)
	選択 (2)					中国語IV	(1)	ドイツ語IV	(1)



2016 年度入学生用 国際観光学科 教育課程表

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
基盤教育科目								
基盤教育 合計 22 単位 以上	哲学・思想 2 単位以上	PHE101	哲学 A	1～4	2			
		PHE102	哲学 B	1～4	2			
		PHE103	哲学史 A	1～4	2			
		PHE104	哲学史 B	1～4	2			
		PHE105	倫理学基礎論 A	1～4	2			
		PHE106	倫理学基礎論 B	1～4	2			
		PHE107	応用倫理学 A	1～4	2			
		PHE108	応用倫理学 B	1～4	2			
		HIT101	科学思想史 A	1～4	2			
		HIT102	科学思想史 B	1～4	2			
		RES101	宗教学 I A	1～4	2			
		RES102	宗教学 I B	1～4	2			
		RES103	宗教学 II A	1～4	2			
		RES104	宗教学 II B	1～4	2			
		INR101	地球倫理 A	1～4	2			
		INR102	地球倫理 B	1～4	2			
		PHE109	論理学 A	1～4	2			
		PHE110	論理学 B	1～4	2			
		TYS101	井上円了と東洋大学 A	1～4	2			
		TYS102	井上円了と東洋大学 B	1～4	2			
		CIB101	東洋思想	1～4	2			
		PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2			
		PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2			
		基盤教育 合計 22 単位 以上	学問の基礎★	FAH101	美術史 A	1～4	2	★印の区分の中 から 2 単位 以上修得する こと
				FAH102	美術史 B	1～4	2	
				ASA101	音楽学 A	1～4	2	
				ASA102	音楽学 B	1～4	2	
				HSG101	歴史の諸問題 A	1～4	2	
HSG102	歴史の諸問題 B			1～4	2			
ECT101	経済学 A			1～4	2			
ECT102	経済学 B			1～4	2			
ECS101	統計学 A			1～4	2			
ECS102	統計学 B			1～4	2			
LAW101	法学 A			1～4	2			
LAW102	法学 B			1～4	2			
POL101	政治学 A			1～4	2			
POL102	政治学 B			1～4	2			
SOC201	社会学 A			1～4	2			
SOC202	社会学 B			1～4	2			
CUA101	人類学 A			1～4	2			
CUA102	人類学 B			1～4	2			
PSY101	心理学 A			1～4	2			
PSY102	心理学 B			1～4	2			
MAT101	自然の数理 A			1～4	2			
MAT102	自然の数理 B			1～4	2			
PHY101	生活と物理 A			1～4	2			
PHY102	生活と物理 B			1～4	2			
ENE101	エネルギーの科学 A			1～4	2			
ENE102	エネルギーの科学 B			1～4	2			
BSC101	物質の科学 A			1～4	2			
BSC102	物質の科学 B			1～4	2			
ENV101	環境の科学 A			1～4	2			
ENV102	環境の科学 B			1～4	2			
EAP101	地球の科学 A	1～4	2					
EAP102	地球の科学 B	1～4	2					
BAB101	生物学 A	1～4	2					
BAB102	生物学 B	1～4	2					

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
	(学問の基礎★)	AST101	天文学A	1～4	2	★印の区分の中から2単位以上修得すること		
		AST102	天文学B	1～4	2			
		SCE101	自然科学概論A	1～4	2			
		SCE102	自然科学概論B	1～4	2			
		CAS101	自然誌A	1～4	2			
		CAS102	自然誌B	1～4	2			
		PHY103	物理学実験講義A	1～4	2			
		PHY104	物理学実験講義B	1～4	2			
		BAB103	生物学実験講義A	1～4	2			
		BAB104	生物学実験講義B	1～4	2			
		BSC103	化学実験講義A	1～4	2			
		BSC104	化学実験講義B	1～4	2			
		EAP103	地球科学実験講義A	1～4	2			
		EAP104	地球科学実験講義B	1～4	2			
		SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2			
		SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2			
		AST103	天文学実習講義A	1～4	2			
		AST104	天文学実習講義B	1～4	2			
		SCE201	自然科学演習A	2～4	2			
		SCE202	自然科学演習B	2～4	2			
		基盤教育 合計 22単位 以上	国際人の形成★	ARS101	地域文化研究ⅠA		1～4	2
				ARS102	地域文化研究ⅠB		1～4	2
ARS103	地域文化研究ⅡA			1～4	2			
ARS104	地域文化研究ⅡB			1～4	2			
ARS105	地域文化研究ⅢA			1～4	2			
ARS106	地域文化研究ⅢB			1～4	2			
INR103	国際教育論A			1～4	2			
INR104	国際教育論B			1～4	2			
INR105	多文化共生論A			1～4	2			
INR106	多文化共生論B			1～4	2			
JLT101	百人一首の文化史A			1～4	2			
JLT102	百人一首の文化史B			1～4	2			
JLT103	日本の昔話A			1～4	2			
JLT104	日本の昔話B			1～4	2			
JLT105	日本文学文化と風土A			1～4	2			
JLT106	日本文学文化と風土B			1～4	2			
JLT107	日本の詩歌A			1～4	2			
JLT108	日本の詩歌B			1～4	2			
EUL101	西欧文学A			1～4	2			
EUL102	西欧文学B			1～4	2			
JLT109	現代日本文学A			1～4	2			
JLT110	現代日本文学B			1～4	2			
JPH101	地域史(日本)A			1～4	2			
JPH102	地域史(日本)B			1～4	2			
HAA101	地域史(東洋)A			1～4	2			
HAA102	地域史(東洋)B			1～4	2			
HEA101	地域史(西洋)A			1～4	2			
HEA102	地域史(西洋)B			1～4	2			
GGR301	国際比較論A			1～4	2			
GGR302	国際比較論B			1～4	2			
LIG101	アジアの文学			1～4	2			
LIG102	アジアの古典			1～4	2			
INR107	国際関係入門			1～4	2			
TOS101	地域と生活			1～4	2			
IHR101	国際キャリア概論	1～4	2					
IHR102	留学のすすめ	1～4	2					
IHR103	海外研修Ⅰ	1～4	2					
IHR104	海外研修Ⅱ	1～4	2					
IHR105	海外実習Ⅰ	1～4	2					
IHR106	海外実習Ⅱ	1～4	2					
IHR107	短期海外研修Ⅰ	1～4	1					
IHR108	短期海外研修Ⅱ	1～4	1					
IHR109	短期海外研修Ⅲ	1～4	1					

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
(基盤教育) 合計 22 単位 以上	(国際人の形成★)	IHR110	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	★印の区分の中から2単位以上修得すること	
		IHR111	短期海外実習Ⅰ	1～4	1		
		IHR112	短期海外実習Ⅱ	1～4	1		
		IHR113	短期海外実習Ⅲ	1～4	1		
		IHR114	短期海外実習Ⅳ	1～4	1		
		HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2	留学生用科目	
		HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2		
		JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2		
		JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2		
		JLE101	日本の文化と社会	1～4	2		
	キャリア・市民形成★	★印の区分の中から2単位以上修得すること	PUL101	日本国憲法	1～4	2	
			CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
			CME102	流通入門	1～4	2	
			ACC101	基礎会計学	1～4	2	
			ACC102	企業会計	1～4	2	
			SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2	
			SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2	
			留学生用科目	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1
				HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1
				HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1
		HSS104		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
		HSS105		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		HSS106		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
		HSS107		スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
		HSS108		スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
		HSS109		スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
		HSS110		スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2	
		★印の区分の中から2単位以上修得すること	THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
			THI102	情報倫理	1～4	2	
			THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
			CIV101	社会人基礎力入門講義	1～4	2	
			CIV102	社会人基礎力実践講義	1～4	2	
			CIV103	キャリアデベロップメント論A	1～4	2	
			CIV104	キャリアデベロップメント論B	1～4	2	
			MAN101	企業のしくみ	1～4	2	
			MAN102	企業家論	1～4	2	
			SWS101	社会貢献活動入門	1～4	2	
		★印の区分の中から2単位以上修得すること	CIV201	公務員論	1～4	2	
			ECD101	テクニカルライティング	1～4	2	
			ECD102	アカデミックライティング	1～4	2	
	EPS101		地球環境論	1～4	2		
	CIV105		インターンシップ入門	1～4	2		
	CIV106		ボランティア活動入門	1～4	2		
	総合・学際★		ITS101	総合ⅠA	1～4	2	
			ITS102	総合ⅠB	1～4	2	
			ITS103	総合ⅡA	1～4	2	
			ITS104	総合ⅡB	1～4	2	
ITS105		総合ⅢA	1～4	2			
ITS106		総合ⅢB	1～4	2			
ITS107		総合ⅣA	1～4	2			
ITS108		総合ⅣB	1～4	2			
ITS109		総合ⅤA	1～4	2			
ITS110		総合ⅤB	1～4	2			
ITS111		総合ⅥA	1～4	2			
ITS112		総合ⅥB	1～4	2			
ITS113		総合ⅦA	1～4	2			
ITS114		総合ⅦB	1～4	2			
ITS115		総合ⅧA	1～4	2			
ITS116		総合ⅧB	1～4	2			
ITS117		総合ⅧA	1～4	2			
ITS118		総合ⅧB	1～4	2			
ITS119		全学総合ⅠA	1～4	2			
ITS120		全学総合ⅠB	1～4	2			

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基盤教育 合計 22 単位 以上	(総合・学際★)	ITS121	全学総合Ⅱ A	1～4	2	★印の区分の中から2単位以上修得すること	
		ITS122	全学総合Ⅱ B	1～4	2		
		ITS123	首都東京を学ぶ	1～4	2		
	留学支援	英語特別教育科目	ENG101	English for Academic Purposes I A Listening/Speaking	1～4	2	LEAP Program
			ENG102	English for Academic Purposes I B Reading/Writing	1～4	2	
			ENG103	English for Academic Purposes II A Listening/Speaking	1～4	2	
			ENG104	English for Academic Purposes II B Reading/Writing	1～4	2	
			ENG201	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1	
			ENG202	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1	
			ENG203	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1	
			SUS101	Business English Communication	1～4	2	
	一般学生						
	外国語系教育科目 14 単位 以上	必修 8 単位	FLE117	English Communication A	1	1	履修条件： 1つの言語のⅠ・Ⅱ・Ⅲを順に履修すること
			FLE118	English Communication B	1	1	
			FLE119	Reading and Vocabulary A	1	1	
			FLE120	Reading and Vocabulary B	1	1	
			FLE222	English for Tourism Industry I	2	1	
			FLE223	English for Tourism Industry II	2	1	
			FLE224	English Tourism Projects and Presentation	2	1	
			FLE225	Applied Reading	2	1	
		選択必修 3 単位以上	FLE105	中国語Ⅰ	1	1	
			FLE106	中国語Ⅱ	1	1	
			FLE107	ハンガールⅠ	1	1	
			FLE108	ハンガールⅡ	1	1	
			FLE109	フランス語Ⅰ	1	1	
			FLE110	フランス語Ⅱ	1	1	
			FLE111	ドイツ語Ⅰ	1	1	
			FLE112	ドイツ語Ⅱ	1	1	
			FLE113	スペイン語Ⅰ	1	1	
			FLE114	スペイン語Ⅱ	1	1	
FLE115			タイ語Ⅰ	1	1		
FLE116			タイ語Ⅱ	1	1		
選択 3 単位以上		FLE205	中国語Ⅲ	2	1		
		FLE208	ハンガールⅢ	2	1		
		FLE211	フランス語Ⅲ	2	1		
		FLE213	ドイツ語Ⅲ	2	1		
		FLE216	スペイン語Ⅲ	2	1		
		FLE219	タイ語Ⅲ	2	1		
		FLE123	Basic Writing	1	1		
		FLE121	Academic Writing I	1	1		
		FLE122	Academic Writing II	1	1		
		ENG240	ビジネス英語Ⅰ	2～4	1		
ENG241	ビジネス英語Ⅱ	2～4	1				
ENG242	インターネット・リサーチ	2～4	1				
ENG323	クリティカル・シンキング	2～4	1				
ENG243	メディア英語読解演習Ⅰ	2～4	1				
ENG324	メディア英語読解演習Ⅱ	2～4	1				
ENG325	Intercultural Studies	2～4	1				
FLE206	中国語Ⅳ	2～4	1				
FLE209	ハンガールⅣ	2～4	1				
FLE212	フランス語Ⅳ	2～4	1				
FLE214	ドイツ語Ⅳ	2～4	1				
FLE217	スペイン語Ⅳ	2～4	1				
FLE220	タイ語Ⅳ	2～4	1				
FLE207	中国語圏の言語と文化	2～4	1				
FLE210	ハンガール圏の言語と文化	2～4	1				
FLE221	フランス語圏の言語と文化	2～4	1				
FLE215	ドイツ語圏の言語と文化	2～4	1				
FLE218	スペイン語圏の言語と文化	2～4	1				
履修条件： 当該言語のⅠ・Ⅱの単位を修得していること							

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
基盤教育 合計 22 単位 以上	外国語系 教育科目 14 単位 以上	外国人留学生					
		必修 10 単位	JPN119	日本語ⅠA	1	1	
			JPN120	日本語ⅠB	1	1	
			JPN121	日本語ⅡA	1	1	
			JPN122	日本語ⅡB	1	1	
			JPN123	日本語ⅢA	1	1	
			JPN124	日本語ⅢB	1	1	
			ENG143	英会話Ⅰ	1	1	
		ENG144	英会話Ⅱ	1	1		
		選択必修 2 単位以上	JPN217	応用日本語ⅠA	2～4	1	
			JPN218	応用日本語ⅠB	2～4	1	
			JPN219	応用日本語ⅡA	2～4	1	
			JPN220	応用日本語ⅡB	2～4	1	
		選択 2 単位以上	FLE123	Basic Writing	1	1	
			FLE121	Academic WritingⅠ	1	1	
			FLE122	Academic WritingⅡ	1	1	
			FLE222	English for Tourism IndustryⅠ	2	1	
			FLE223	English for Tourism IndustryⅡ	2	1	
			FLE224	English Tourism Projects and Presentation	2	1	
			FLE225	Applied Reading	2	1	
			ENG240	ビジネス英語Ⅰ	2～4	1	
			ENG241	ビジネス英語Ⅱ	2～4	1	
			ENG242	インターネット・リサーチ	2～4	1	
			ENG323	クリティカル・シンキング	2～4	1	
			ENG243	メディア英語読解演習Ⅰ	2～4	1	
			ENG324	メディア英語読解演習Ⅱ	2～4	1	
			ENG325	Intercultural Studies	2～4	1	
			FLE105	中国語Ⅰ	3～4	1	同じ言語をⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの順に履修すること 母国語である言語は履修不可
			FLE106	中国語Ⅱ	3～4	1	
			FLE205	中国語Ⅲ	3～4	1	
			FLE206	中国語Ⅳ	3～4	1	
			FLE107	ハンガールⅠ	3～4	1	
			FLE108	ハンガールⅡ	3～4	1	
			FLE208	ハンガールⅢ	3～4	1	
			FLE209	ハンガールⅣ	3～4	1	
			FLE109	フランス語Ⅰ	3～4	1	
			FLE110	フランス語Ⅱ	3～4	1	
			FLE211	フランス語Ⅲ	3～4	1	
			FLE212	フランス語Ⅳ	3～4	1	
			FLE111	ドイツ語Ⅰ	3～4	1	
			FLE112	ドイツ語Ⅱ	3～4	1	
			FLE213	ドイツ語Ⅲ	3～4	1	
			FLE214	ドイツ語Ⅳ	3～4	1	
FLE113	スペイン語Ⅰ	3～4	1				
FLE114	スペイン語Ⅱ	3～4	1				
FLE216	スペイン語Ⅲ	3～4	1				
FLE217	スペイン語Ⅳ	3～4	1				
FLE115	タイ語Ⅰ	3～4	1				
FLE116	タイ語Ⅱ	3～4	1				
FLE219	タイ語Ⅲ	3～4	1				
FLE220	タイ語Ⅳ	3～4	1				
FLE207	中国語圏の言語と文化	3～4	1				
FLE210	ハンガール圏の言語と文化	3～4	1				
FLE221	フランス語圏の言語と文化	3～4	1				
FLE215	ドイツ語圏の言語と文化	3～4	1				
FLE218	スペイン語圏の言語と文化	3～4	1				
専門教育科目							
専門教育 科目 82 単位 以上	必修 26 単位	SEM134	観光基礎演習Ⅰ	1	2		
		TOS102	観光学概論	1	2		
		TOS103	情報演習	1	2		
		TOS104	旅行業法論	1	2		
		TOS105	ホスピタリティマネジメント	1	2		
		TOS106	観光計画概論	1	2		

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
専門教育 科目 82単位 以上	(必修) (26単位)	SEM237	観光基礎演習Ⅱ	2	2			
		SEM335	国際観光研究Ⅰ	3	2			
		SEM336	国際観光研究Ⅱ	3	2			
		SEM424	国際観光研究Ⅲ	4	2			
		SEM425	国際観光研究Ⅳ	4	2			
		THE451	卒業論文	4	4			
	第1選択 (必修) 2年次に配 属された コースの科 目を8単位 修得するこ と	ツーリス ム・マネジ メント	TOS201	旅行企画論	2	2		
			TOS202	国際交通論	2	2		
			TOS203	航空経営論	2～3	2		
			TOS204	旅行事業経営論	2～3	2		
		ホスピタリ ティ・マネ ジメント	TOS205	ホスピタリティ課外実習Ⅰ	2	2		
			TOS206	ホスピタリティ課外実習Ⅱ	2	2		
			TOS207	ホテル経営概論	2	2		
			TOS208	F & B ビジネス経営論	2	2		
		レジャー& リゾート・ マネジメント	TOS209	観光施設デザイン論	2	2		
			TOS210	自然公園・保護論	2	2		
			TOS301	観光行政・政策論	3	2		
			TOS302	リゾート開発計画論	3	2		
		第1選択 (選択必修) 2年次に配 属された コースの科 目を20単 位以上修得 すること	ツーリス ム・マネジ メント	TOS211	環太平洋ツーリズム論	2	2	
				TOS212	欧州ツーリズム論	2	2	
	TOS213			北米ツーリズム論	2	2		
	TOS214			ツーリズム情報論	2	2		
	TOS215			コンベンション論	2	2		
	TOS216			ツーリズム情報実務演習	2	2		
	TOS217			海外実務	2	2		
	TOS218			国際航空運賃	2	2		
	TOS219			募集型企画旅行演習	2	2		
	TOS220			空港経営論	2	2		
	TOS221			ツーリズム演習Ⅰ	2	2		
	TOS222			ツーリズム演習Ⅱ	2	2		
	TOS303			鉄道経営論	3	2		
	TOS304			海上交通論	3	2		
	TOS305			インバウンド・ツーリズム論	3	2		
	TOS306			福祉観光論	3	2		
	TOS307			アジアツーリズム論	3	2		
	TOS308			観光安全・リスクマネジメント論	3	2		
	ホスピタリ ティ・マネ ジメント		TOS223	フードプロセッシング	2	2		
			TOS224	ホスピタリティ計数管理	2	2		
			TOS225	セレモニー経営論	2	2		
			TOS226	ホスピタリティ起業論	2	2		
TOS227			F & B プロセッシング論	2	2			
TOS228			顧客マネジメント	2	2			
TOS229			旅館・リゾート経営論	2	2			
TOS230			生活総合ホスピタリティマーケティング演習	2	2			
TOS231			サービスマーケティング&マネジメント演習	2	2			
TOS232			F & B ビジネスマネジメント演習	2	2			
レジャー& リゾート・ マネジメント	TOS309	ホスピタリティ実務演習	3	2				
	TOS310	F & B サービス実務演習	3	2				
	TOS311	グローバルホスピタリティ論	3	2				
	TOS312	ホスピタリティ人的資源論	3	2				
	TOS313	ホスピタリティ関連法規	3	2				
	TOS314	ホテル開発論	3	2				
	TOS315	メニュー開発論	3	2				
	TOS316	ソーシャルホスピタリティ論	3	2				
	TOS317	ホスピタリティ施設開発論	3	2				
	TOS233	地域観光論	2	2				
	TOS234	観光・環境経済学	2	2				
	TOS235	環境教育論	2	2				
TOS236	観光行動論	2	2					
TOS237	観光まちづくり概論	2	2					
TOS238	景観・緑地論	2	2					
TOS239	地域財政と観光	2	2					
TOS240	観光調査・予測理論	2	2					

卒業要件	区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
(専門教育 科目 82 単位 以上)	(第1選択 (選択必修)) 2年次に配 属された コースの科 目を20単 位以上修得 すること	(レジャー& リゾート・ マネジメント)	TOS241	観光計画特別演習Ⅰ	2	2			
			TOS242	観光計画特別演習Ⅱ	2	2			
			TOS318	国際観光論	3	2			
			TOS319	エコツーリズム	3	2			
			TOS320	まちづくり関連法規	3	2			
			TOS321	文化遺産地域振興論	3	2			
			TOS322	イベント企画論	3	2			
			TOS323	観光法制度論	3	2			
			TOS324	環境法規・政策論	3	2			
			TOS325	環日本海観光文化論	3	2			
			TOS326	観光計画特別演習Ⅲ	3	2			
			TOS327	観光計画特別演習Ⅳ	3	2			
			第2選択 28 単位以上		HUG104	人文地理学A	1～4	2	
					HUG106	人文地理学B	1～4	2	
		TOS107		旅行産業論	1～4	2			
		TOS108		運輸産業論	1～4	2			
		TOS109		国内運賃料金	1～4	2			
		TOS110		海外観光資源	1～4	2			
		TOS111		観光マーケティング	1～4	2			
		TOS112		観光事業経営論	1～4	2			
		TOS113		宿泊事業経営論	1～4	2			
		TOS114		食品衛生論	1～4	2			
		TOS115		観光統計学	1～4	2			
		TOS116		国際観光交流論	1～4	2			
		ECO103		経済学入門	1～4	2			
		ECT130		ミクロ経済学Ⅰ	1～4	2			
		ECT131		マクロ経済学Ⅰ	1～4	2			
		TOS117		歴史と観光	1～4	2			
		TOS243		日本の宗教と伝統文化	1～4	2			
		TOS244		歴史と郷土文化	1～4	2			
		GGR109		自然地理学A	1～4	2			
		GGR110		自然地理学B	1～4	2			
		TOS245		観光の歴史と文化	2～4	2			
		EUL205		ヨーロッパの歴史と言語	2～4	2			
		TOS246		流通論	2～4	2			
		TOS247		観光コンサルタント論	2～4	2			
		TOS248		簿記会計論	2～4	2			
		TOS249		財務諸表論	2～4	2			
		TOS250		経営分析論	2～4	2			
		TOS251		観光ファイナンス	2～4	2			
		ECT221		ミクロ経済学Ⅱ	2～4	2			
		ECT222		マクロ経済学Ⅱ	2～4	2			
		TOS252		サービス・マネジメント	2～4	2			
		TOS253		ウェブマーケティング	2～4	2			
		TOS254		リテールビジネス産業論	2～4	2			
		TOS255		観光行動モデル	2～4	2			
		TOS256		観光社会学	2～4	2			
		TOS257		ビジネスマナー演習Ⅰ	2～4	2			
		TOS258		ビジネスマナー演習Ⅱ	2～4	2			
		ECP120		地域産業論	2～4	2			
		HIS201	日本美術史	2～4	2				
		HIS202	西洋美術史	2～4	2				
	TOS259	観光メディア実習	2～4	2					
	TOS260	観光映像実習	2～4	2					
	CIL229	民事法	2～4	2					
	FLE226	観光通訳技法Ⅰ	2～4	2					
	FLE227	観光通訳技法Ⅱ	2～4	2					
	FLE228	ホスピタリティ英語	2～4	2					
	TOS261	ペットツーリズム論	2～4	2					
	TOS262	余暇・レクリエーション論	2～4	2					
	TOS118	観光フィールドワークⅠ	1～2	2					
	TOS119	観光フィールドワークⅡ	1～2	2					
	TOS263	観光学特殊講義Ⅰ	1～4	2					

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
専門教育 科目 82単位 以上	(第2選択) 28単位以上	TOS264	観光学特殊講義Ⅱ	1～4	2			
		TOS265	観光学特殊講義Ⅲ	1～4	2			
		TOS266	観光学特殊講義Ⅳ	1～4	2			
		CIV127	インターンシップⅠ	1～4	2			
		CIV128	インターンシップⅡ	1～4	2			
		TOS120	国際観光学研修Ⅰ	1～4	2			
		TOS121	国際観光学研修Ⅱ	1～4	2			
		TOS124	国際観光学研修Ⅲ	1～4	2			
		TOS125	国際観光学研修Ⅳ	1～4	2			
		SEM126	海外調査実習Ⅰ	1～4	1			
		SEM227	海外調査実習Ⅱ	1～4	1			
		TOS122	観光調査実習Ⅰ	1～4	1			
		TOS123	観光調査実習Ⅱ	1～4	1			
		TOS328	国際観光特別研究Ⅰ	3	2			
		TOS401	国際観光特別研究Ⅱ	4	2			
		CIV122	キャリアデザインⅠ	1	2			
		CIV212	キャリアデザインⅡ	2	2			
		CIV305	キャリアデザインⅢ	3	2			
			教職科目	PHE301	哲学概説A	1-4	2	卒業単位外
				PHE302	哲学概説B	1-4	2	
		JPH103		日本史A	1-4	2		
		JPH104		日本史B	1-4	2		
		PHE303		倫理学概説A	1-4	2		
		PHE304		倫理学概説B	1-4	2		
		HSG103		外国史A	1-4	2		
		HSG104		外国史B	1-4	2		
		GGR105		地理学A	1-4	2		
		GGR106		地理学B	1-4	2		
		GGR107	地誌学A	1-4	2			
		GGR108	地誌学B	1-4	2			
	SHS101	技術と産業の社会史	1-4	2				
	POL103	政治学	1-4	2				
	INR116	日本外交論	1-4	2				
	LIH125	情報社会論	1-4	2				

開講学部・学科	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
学部内他学科科目					
国際地域学科	CUA109	宗教と社会	1	2	
国際地域学科	GGR201	都市地理学	2～3	2	
国際地域学科	CUA110	文化人類学入門	1	2	
国際地域学科	CUA111	地域とボランティア	1	2	
国際地域学科	INR116	日本外交論	1	2	
国際地域学科	POL103	政治学	1	2	
国際地域学科	ARS209	現代日本学	1	2	
国際地域学科	SSS202	社会システム哲学	1	2	
国際地域学科	ENE201	地域エネルギー計画	1	2	
国際地域学科	INR205	国際政治学Ⅱ	1	2	
国際地域学科	CUA112	アジアの地誌と文化	1	2	
国際地域学科	ARS120	ヨーロッパ地域研究	1	2	
国際地域学科	ARS121	アフリカの文化と社会	1	2	
国際地域学科	ARS122	中東の文化と社会	1	2	
国際地域学科	ARS123	中南米の経済と社会	1	2	
国際地域学科	CEP101	アジアの都市と交通	1	2	
国際地域学科	SOC124	NGO・NPO論	1	2	
国際地域学科	HUG105	外国地誌	1	2	
国際地域学科	SWS219	社会政策論	1	2	
国際地域学科	ARS210	地域文化A	1	2	
国際地域学科	SEM132	国際地域学研修Ⅰ	1	2	
国際地域学科	SEM231	国際地域学研修Ⅱ	1	2	
国際地域学科	SEM333	国際地域学研修Ⅲ	1	2	
国際地域学科	SEM422	国際地域学研修Ⅳ	1	2	
国際地域学科	SSS301	社会システム論Ⅱ	2～4	2	
国際地域学科	HYE101	水と国土	2～4	2	
国際地域学科	ECP232	食料問題論	2～4	2	
国際地域学科	INR206	国際関係史	2～4	2	
国際地域学科	MOF220	国際金融論	2～4	2	
国際地域学科	INR207	欧米地域研究	2～4	2	
国際地域学科	CUA205	文化人類学	2～4	2	
国際地域学科	ECP233	開発経済論	2～4	2	
国際地域学科	ECP325	アジア経済論	2～4	2	
国際地域学科	ECP234	農村地域開発論	2～4	2	
国際地域学科	INR305	国際関係特論	2～4	2	
国際地域学科	CEE201	環境管理適正技術論	2～4	2	
国際地域学科	EPS205	環境産業論	2～4	2	
国際地域学科	EPS206	水辺と環境	2～4	2	
国際地域学科	DEV201	環境システム論	2～4	2	
国際地域学科	NDD202	災害と復興	2～4	2	
国際地域学科	EPS207	環境社会論	2～4	2	
国際地域学科	MUD301	知識情報処理	2～4	2	
国際地域学科	INN202	情報マネジメントⅡ	2～4	2	
国際地域学科	TPA201	コミュニティ開発論	2～4	2	
国際地域学科	TPA301	国土計画・広域計画	2～4	2	
国際地域学科	ECP235	地域経済学	2～4	2	
国際地域学科	CEP301	社会基盤計画・政策	2～4	2	
国際地域学科	ABE301	まちづくり手法論	2～4	2	
国際地域学科	GGR305	都市地域分析	2～4	2	
国際地域学科	ABE302	都市計画	2～4	2	
国際地域学科	TPA302	土地・住宅問題	2～4	2	
国際地域学科	PFP317	福祉経済論	2～4	2	
国際地域学科	SWS220	地域福祉論	2～4	2	
国際地域学科	CIL229	民事法	2～4	2	
国際地域学科	CIL326	企業法	2～4	2	
国際地域学科	INR117	Participatory Development	1	2	
国際地域学科	SOC243	Qualitative Research Methodologies	1	2	
国際地域学科	GDE101	Gender and Society	1	2	
国際地域学科	ABE101	Urban Habitation	1	2	
国際地域学科	CEP202	Asian Cities and Transport	1	2	
国際地域学科	ENG250	Basic Academic Writing	1	2	
国際地域学科	ENG251	Basic Academic Reading	1	2	

開講学部・学科	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
国際地域学科	MAN119	Japanese Economy and Business	1	2	
国際地域学科	CUA206	Community and NGO / Volunteer	1	2	
国際地域学科	SOC244	Sociology of Islam	1	2	
国際地域学科	ARS211	Contemporary Japan Studies	1	2	
国際地域学科	SOC125	Cross-cultural Communications	1	2	
国際地域学科	ENG326	Academic Essay Writing	2～4	2	
国際地域学科	INN203	Internet Technology and Security	2～4	2	
国際地域学科	LIH213	Intercultural Communication Analysis	2～4	2	
国際地域学科	ECP236	Southeast Asian Economies	2～4	2	
国際地域学科	MOF314	International Finance	2～4	2	
国際地域学科	TPA303	Housing the Poor in Asia	2～4	2	
国際地域学科	MUD302	Introduction to Databases	2～4	2	
国際地域学科	SOC245	Regional and Urban Sociology on Asian Countries	2～4	2	
国際地域学科	ENG252	Regional to International Issues	2～4	2	
国際地域学科	SOC246	Globalization and Culture	2～4	2	
国際地域学科	ARS308	South Asian Studies	2～4	2	
国際地域学科	SOC247	Southeast Asian Studies	2～4	2	
国際地域学科	SOC248	Contemporary Global Issues	2～4	2	
国際地域学科	TPA304	Urban and Regional Planning in Asia	2～4	2	
国際地域学科	NDD301	Disaster Management and International Cooperation	2～4	2	
国際地域学科	EPS208	Global Environmental Issues	2～4	2	
国際地域学科	DEV202	Global Water Problems	2～4	2	
国際地域学科	EPS209	Urban and Regional Environmental Management	2～4	2	
国際地域学科	EPS301	Environmental Issues in Asian Countries	2～4	2	
国際地域学科	ENE202	Energy and Resources Management	2～4	2	
国際地域学科	SOC249	Social Welfare and the Welfare Society	2～4	2	
国際地域学科	CEE301	Water Supply and Sanitation for Health	2～4	2	
国際地域学科	CIV123	経済社会実務Ⅰ	1～4	2	
国際地域学科	CIV213	経済社会実務Ⅱ	1～4	2	
国際地域学科	CIV306	経済社会実務Ⅲ	1～4	2	
国際地域学科	CIV403	経済社会実務Ⅳ	1～4	2	
国際地域学科	CIV124	地域活動実習Ⅰ	1～4	2	
国際地域学科	CIV214	地域活動実習Ⅱ	1～4	2	
国際地域学科	CIV307	地域活動実習Ⅲ	1～4	2	
国際地域学科	CIV404	地域活動実習Ⅳ	1～4	2	
国際地域学科	CIV125	国際活動実習Ⅰ	1～4	2	
国際地域学科	CIV215	国際活動実習Ⅱ	1～4	2	
国際地域学科	CIV308	国際活動実習Ⅲ	1～4	2	
国際地域学科	CIV405	国際活動実習Ⅳ	1～4	2	
国際地域学科	CIV126	情報技術実務Ⅰ	1～4	2	
国際地域学科	CIV216	情報技術実務Ⅱ	1～4	2	
国際地域学科	CIV309	情報技術実務Ⅲ	1～4	2	
国際地域学科	CIV406	情報技術実務Ⅳ	1～4	2	
他学部他学科開放科目					
文学部		GER301	ドイツ語講読と文化A	3～4	1
文学部		GER302	ドイツ語講読と文化B	3～4	1
文学部		GER303	ドイツ語コミュニケーションと文化A	3～4	1
文学部		GER304	ドイツ語コミュニケーションと文化B	3～4	1
文学部		FRA301	フランス語講読と文化A	3～4	1
文学部		FRA302	フランス語講読と文化B	3～4	1
文学部		FRA303	フランス語コミュニケーションと文化A	3～4	1
文学部		FRA304	フランス語コミュニケーションと文化B	3～4	1
文学部		CHI301	中国語講読と文化A	3～4	1
文学部		CHI302	中国語講読と文化B	3～4	1
文学部		CHI303	中国語コミュニケーションと文化A	3～4	1
文学部		CHI304	中国語コミュニケーションと文化B	3～4	1
文学部	東洋思想文化学科	CIB108	インド思想史A	1～4	2
文学部	東洋思想文化学科	CIB109	インド思想史B	1～4	2
文学部	東洋思想文化学科	CIB112	仏教思想概論A	1～4	2
文学部	東洋思想文化学科	CIB113	仏教思想概論B	1～4	2
文学部	東洋思想文化学科	LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1
文学部	東洋思想文化学科	LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1
文学部	東洋思想文化学科	LIN109	ヒンディー語A	1～4	1

開講学部・学科		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
文学部	東洋思想文化学科	LIN110	ヒンディー語B	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN205	サンスクリット語ⅡA	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN206	サンスクリット語ⅡB	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN207	パーリ語A	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN208	パーリ語B	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN209	チベット語A	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN210	チベット語B	2～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	RES107	宗教学概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES108	宗教学概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB117	イスラーム概論	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB118	インド現代思想	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB119	現代のインド	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB120	仏教と社会福祉	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB121	現代に生きる仏教	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES109	キリスト教概論	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB122	中国学概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB123	中国学概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB126	中国文化史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB127	中国文化史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB303	中国哲学史A	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB304	中国哲学史B	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CHL303	中国現代文学史A	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CHL304	中国現代文学史B	3～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES203	比較宗教A	2～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES204	比較宗教B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT113	古代日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT114	古代日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT115	中世日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT116	中世日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT117	近世日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT118	近世日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT119	近現代日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT120	近現代日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIG103	比較文学文化概説A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIG104	比較文学文化概説B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIE201	英語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIE202	英語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL201	ドイツ語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL202	ドイツ語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL203	フランス語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL204	フランス語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CHL201	中国語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CHL202	中国語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA104	日本の伝統行事A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA105	日本の伝統行事B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	FAH103	日本の美術A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	FAH104	日本の美術B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT217	万葉文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT218	万葉文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT219	王朝文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT220	王朝文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT221	室町文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT222	室町文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT223	江戸文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT224	江戸文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT225	近現代文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT226	近現代文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT227	日本の古典籍A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT228	日本の古典籍B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA201	日本民俗学A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA202	日本民俗学B	2～4	2	
文学部	史学科	HSG301	歴史学概論	3～4	2	
文学部	史学科	JPH205	日本史学特講A	2～4	2	

開講学部・学科		科目ナン バリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
文学部	史学科	JPH206	日本史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	HAA205	東洋史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	HAA206	東洋史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	HEA205	西洋史学特講A	2～4	2	
文学部	史学科	HEA206	西洋史学特講B	2～4	2	
文学部	史学科	ARC201	考古学研究A	2～4	2	
文学部	史学科	ARC202	考古学研究B	2～4	2	
文学部	史学科	JPH107	古文書学ⅠA	1～4	2	
文学部	史学科	JPH108	古文書学ⅠB	1～4	2	
文学部	史学科	JPH109	古文書学ⅡA	1～4	2	
文学部	史学科	JPH110	古文書学ⅡB	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	SNE101	特別支援教育概論Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	JPH113	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学科	HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU109	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学科	SOE103	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学科	HIT103	アメリカ思想史	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU111	女性問題と学習	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU112	社会教育課題研究Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU113	社会教育課題研究Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU114	グローバル化と学習	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU115	家庭教育論	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU201	社会教育計画論Ⅰ	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU202	社会教育計画論Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	SNE103	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	FLE103	言語・非言語コミュニケーションA	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	FLE104	言語・非言語コミュニケーションB	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	LIN101	言語論A	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	LIN102	言語論B	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	INR110	比較文化論A	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	INR111	比較文化論B	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	ENL131	特別講義Ⅰ	1～4	2	
文学部	英語コミュニケーション学科	ENL132	特別講義Ⅱ	1～4	2	
経済学部		GER207	検定ドイツ語A	2～4	1	
経済学部		GER208	検定ドイツ語B	2～4	1	
経済学部		GER209	時事ドイツ語A	2～4	1	
経済学部		GER210	時事ドイツ語B	2～4	1	
経済学部		FRA109	検定フランス語A	1～4	1	
経済学部		FRA110	検定フランス語B	1～4	1	
経済学部		FRA207	上級フランス語A	2～4	1	
経済学部		FRA208	上級フランス語B	2～4	1	
経済学部		CHI215	検定中国語A	2～4	1	
経済学部		CHI216	検定中国語B	2～4	1	
経済学部		CHI217	コミュニケーション中国語A	2～4	1	
経済学部		CHI218	コミュニケーション中国語B	2～4	1	
経済学部	経済学科	EDE203	経済哲学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE204	経済哲学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP307	政治経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP308	政治経済学B	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP305	人口経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	ECP306	人口経済学B	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP301	医療経済学A	3～4	2	
経済学部	経済学科	PFP302	医療経済学B	3～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP309	ヨーロッパ経済論A	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP310	ヨーロッパ経済論B	1～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP201	日本経済論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP202	日本経済論B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH301	西欧経済史A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECH302	西欧経済史B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP209	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECP210	経済発展論B	2～4	2	

開講学部・学科		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
経済学部	国際経済学科	PFP311	国際公共経済A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	PFP312	国際公共経済B	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT401	上級国際経済学A	2～4	2	
経済学部	国際経済学科	ECT402	上級国際経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP114	総合政策特講Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP115	総合政策特講Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP116	総合政策特講Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP117	総合政策特講Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE101	社会経済思想史A	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EDE102	社会経済思想史B	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS102	自然と環境学	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS103	自然環境の理解	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	SPS101	健康科学	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS112	比較文化社会Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS113	比較文化社会Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS114	比較文化社会Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS115	比較文化社会Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS116	比較政策分析Ⅰ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS117	比較政策分析Ⅱ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS118	比較政策分析Ⅲ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ARS119	比較政策分析Ⅳ	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP118	社会的企業	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP119	非営利組織	1～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP203	地域分析	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP216	現代ビジネスの基礎	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP217	政策デザイン	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP218	総合政策特講Ⅴ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP219	総合政策特講Ⅵ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP226	総合政策特講Ⅶ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP227	総合政策特講Ⅷ	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP221	ワーク・ライフ・バランスの総合政策	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP222	現代の産業と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP204	公民連携論	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP205	行政システム	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS201	環境経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS202	環境経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS203	エネルギー経済学A	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	EPS204	エネルギー経済学B	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP223	情報社会と企業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	ECP224	情報社会と産業	2～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP313	財政学	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP314	地方財政論	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	PFP316	公共選択	3～4	2	
経済学部	総合政策学科	MOF310	地域金融論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN113	意思決定論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN208	コンプライアンス経営論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN213	コーポレートガバナンス論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN219	国際経営基礎論	2～4	2	
経営学部	経営学科	MAN314	国際経営論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN324	企業評価論	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC303	ビジネス・ネゴシエーションA	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC304	ビジネス・ネゴシエーションB	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC305	ビジネス・ニュース英語A	3～4	2	
経営学部	経営学科	GBC306	ビジネス・ニュース英語B	3～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME205	サービス・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME206	現代の広告	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME217	リレーションシップ・マーケティング	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME207	ファッション・マーケティング論	2～4	2	
経営学部	マーケティング学科	CME208	現代のファッション・マーケティング	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF101	金融論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF102	金融システム論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF104	ファイナンス論	1～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC211	経営監査論	2～4	2	

開講学部・学科		科目ナン バリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
経営学部	会計ファイナンス学科	ACC212	会計監査論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF312	証券投資論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF210	経営財務論	2～4	2	
経営学部	会計ファイナンス学科	MOF212	投資決定論	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL107	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL108	法哲学B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL109	法思想史A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL110	法思想史B	1～4	2	
法学部	法律学科	POL201	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL202	政治学原論B	2～4	2	
法学部	企業法学科	CRL203	刑法Ⅰ(総論)A	2～4	2	
法学部	企業法学科	CRL204	刑法Ⅰ(総論)B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR201	Fundamental Concepts of International Politics A	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR202	Fundamental Concepts of International Politics B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR203	Fundamental Concepts of Peace Studies A	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR204	Fundamental Concepts of Peace Studies B	2～4	2	
法学部	企業法学科	ILA203	International Law A	2～4	2	
法学部	企業法学科	ILA204	International Law B	2～4	2	
法学部	企業法学科	INR303	International Relations A	3～4	2	
法学部	企業法学科	INR304	International Relations B	3～4	2	
法学部	企業法学科	CIV302	Business Communication I A	3～4	2	
法学部	企業法学科	CIV303	Business Communication I B	3～4	2	
法学部	企業法学科	CIV401	Business Communication II A	4	2	
法学部	企業法学科	CIV402	Business Communication II B	4	2	
社会学部	社会学科	SOC208	家族社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOE104	教育社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC311	国際社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC312	国際社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	STS203	社会統計学	2～4	2	
社会学部	社会学科	GGR303	風土と人間・社会A	2～4	2	
社会学部	社会学科	GGR304	風土と人間・社会B	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	ARS203	日本社会文化論A	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	ARS204	日本社会文化論B	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	SOC215	犯罪社会学A	2～4	2	
社会学部	社会文化システム学科	SOC216	犯罪社会学B	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS107	社会福祉発達史A	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS108	社会福祉発達史B	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS213	社会福祉と人権	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS307	社会福祉法制行政	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS214	公的扶助論	2～4	2	

卒業論文

◆◆卒業論文の意義◆◆

卒業論文は、講義・演習等を通じて得られた知識・技術を活用して、学術的、多角的、包括的視点から取り組みながら、特定のテーマに関して論じるものです（和文、英文いずれでも可）。

大学生活の総合的な成果であり、「学士（国際観光学）」に値する学力の有資格者であることを証明するものです。学生は、十分な準備のもと、指導教員と連携をとりながら、全力で卒業論文のための情報収集、実態解明などを行いながら、執筆を行わなければなりません。

◆◆卒業論文の評価◆◆

提出された論文に加え、執筆への取り組み姿勢、プレゼンテーションとその質疑応答、提出後の口頭試問等により総合的に評価されます。

◆◆卒業論文題目届の提出◆◆

卒業論文履修者は、6月（秋卒業予定者は4月）に「卒業論文題目届」を指導教員に提出する必要があります。これを提出しないと卒業論文を履修することができません。

卒業論文題目届には、指導教員の承認印が必要です。また、修正がある場合、12月（秋卒業予定者は6月下旬）に「卒業論文題目変更届」を提出してください。

なお「卒業論文題目届」と題名が異なると、卒業論文を受理できませんので、十分注意してください。

◆◆卒業論文の提出期日および提出先◆◆

卒業論文履修者は、12月（秋卒業予定者は7月）の定められた期日、場所に卒業論文、卒業論文要旨を本人が提出しなければなりません。締切後の提出は、自動的に卒業延期となるため注意してください。なお、詳細については、後日、学部掲示板でお知らせします。

④ 学部掲示板 p.7

◆◆優秀卒業論文の表彰等について◆◆

国際地域学部では、学科ごとに卒業論文を提出後、優秀な卒業論文の発表会を開催しています。これらの発表の中からそれぞれ最優秀論文および優秀論文を選定し、それらは卒業証書授与式において表彰状が授与されます。また、最優秀卒業論文は校友会の表彰対象論文として推薦されます。

◆◆卒業論文および要旨等の公表について◆◆

最優秀卒業論文および優秀卒業論文は学部ホームページ上に全文あるいは要旨が掲載されます。また、全員の卒業論文題目も同様にホームページ上に掲載されます。

教育研究上の目的（国際地域学科地域総合専攻）

1 人材の養成に関する目的

国際地域学科地域総合専攻は、国の内外での「地域づくり」と「観光振興」を学び、実践する専攻です。そして、外国語能力を備え、異文化コミュニケーション能力を十分に身につけた「国際的視野を持つ職業人」、および豊かな教養と社会性に富んだ「新観光知識人」（自ら観光を楽しみ、観光を企画・組織化することができ、観光行動を促進し、かつ、観光関連企業や組織をマネジメントできる人材）の養成を目的としています。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

国際的な環境に即応できる実践的な語学力を身につけると同時に、異文化に柔軟に対応できる力を養う必要があります。そのために、外国語科目の充実などによる外国語能力の強化を目指します。さらに、多様な経歴を持つ教員による講義やゼミ、インターンシップなどの実践的な学習機会の充実により、現場で生きる実践力の向上を目指します。

国際地域学科地域総合専攻は、「現場主義」にたって、国の内外で「地域づくり」を学び、実践する専攻です。国際機関での勤務経験を有する教員や、海外を研究のフィールドにしている教員が多くおり、国際協力、都市・農村開発、そして環境などについて学ぶことができます。地域づくりの重要な要素である観光振興に関わることも知見を広めることができます。外国語教育を強化し、英語力が身につくように工夫しています。

また、アジアや欧米の大学との協定にもとづくフィールドスタディ（国際地域学研修等）の充実と交換留学の機会増大を図っています。

国内に目を向けると、地方自治体や企業と連携してインターンシップ科目を開設して現場で地域づくりを学びます。また、就職のためのキャリア開発支援に力を入れており、一般企業、自治体、さらに卒業後にキャリアを積んで国際的な機関に就職できるよう教育を行っています。

こうした教育研究環境のもとで、国際地域学科地域総合専攻では、外国語能力を備え、異文化コミュニケーション能力を十分に身につけた「国際的視野を持つ職業人」を養成することを目的としています。

国際地域学科地域総合専攻長

国際地域学科地域総合専攻の教育方針

◆◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）◆◆

環境・貧困・雇用・人権問題に現れているように、自然・社会・経済・政治など様々な分野での地球化と地域化が同時進行する中で、これまでとは全く異なる都市づくり、地域づくり、環境づくりなどに、地域（コミュニティ）から解決策へとアプローチすることは大きな可能性を有しています。地球規模の視点で問題をとらえローカルな場で具体的に行動する、いわゆる、Think globally, Act locally という哲学のもとに、地域社会におけるさまざまな現象を幅広い視点でとらえ、「現場主義」にたち、さまざまな人々とのコミュニケーションの中から解決策を探っていく人間力が求められます。

このようなことから、国際地域学科地域総合専攻（イブニングコース）では、観光振興も含めた地域の諸問題に対して広い視野から客観的に把握・分析する能力を修得し、現場において具体的な行動として実践していく意欲のある学生が教員と一緒にあって相互に学び成長していくことを期待しています。

受験生に期待されるのは、①地域社会で起こっているさまざまな問題へ関心を持っていること、②自身もつ知識や経験を積極的に活用して社会に貢献しようとする意欲、③他者と積極的にコミュニケーションを図りながらさまざまな人々とともに働くことへの意欲です。

◆◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）◆◆

観光振興を含めた「地域づくり」を行うための知識と実行力を有した人材の育成という教育目標を実現するために、以下の方針でカリキュラム（教育課程）を組み立てています。

- (1) 地域づくりに関わる人文社会科学、環境科学の広範な学問領域から幅広い知識を習得できるようにするとともに、「国際」、「地域」、「環境」の3つ分野を軸として専門性を高めます。
- (2) 地域づくりの重要な要素である観光振興に関わる専門科目群を提供しています。
- (3) 外国語教育を強化し、英語による専門性を重視したコミュニケーション能力の向上を目指します。
- (4) 「現場主義」を掲げ、フィールドスタディやインターンシップ科目などにより現場・実務体験の充実を図っています。

◆◆ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）◆◆

観光振興を含めた地域の特性を活かした「地域づくり」を行うための知識と、現場においてそれを実施する実行力を有した人材の育成を教育目標として掲げています。卒業するまでに、異文化コミュニケーション能力を十分に身につけ、地球規模の視点で問題をとらえ、ローカルな場で行動できる能力を培うことを求めています。

科目群（系）概要

本専攻では、国際地域学の多様な専門分野をより深く学ぶことを目的としていて、教育課程表「専門教育科目」内の「選択科目」において、3つの科目群（以下「系」）に分類しています。

◆◆国際系◆◆

国際系では、経済学、政治学、社会学、文化人類学、社会システム論などの様々な視点から複雑多様な国際社会・地球の諸問題を取り扱っていきます。進路としては、民間・公共の国際部門を中心に国内外での活躍が目標です。学生の皆さんは、夏や春の長期休暇に国外で行われる海外研修や国際実務のインターンシップを体験しながら、国際地域学科の特徴である「現場主義」を国際的に実践できる学生になっていきます。また、日本についての知識も深めることで、国際的に日本発の情報を発信できるようになっていきます。

◆◆環境系◆◆

環境系では、人文・社会・自然に関する豊かな教養の上に、現代社会論、環境マネジメント、情報マネジメントなど、現代社会や地域社会、産業と生活などと環境との関係について幅広い観点から学び、情報技術についても学習を深めていく科目群です。海外研修やインターンシップなどにも積極的に参加することができます。

環境問題は、今後の日本と世界にとって重要な課題であり、その解決に向けて人類全体が努力を傾けていかなければならない分野ですから、企業の関心も高く、就職活動においてもアピールできる有望な分野であると言えます。

◆◆地域系◆◆

地域系では、都市計画等を通じて地域を計画論的に分析し理解することや、地域経済、地方行政や社会基盤整備などの知識やノウハウを習得し、国の内外を問わず地域づくりに取り組める人材の養成を目的とします。進路としては、公務員やマスコミのほか、民間企業においても、地域づくりの視点から行動し、地域に貢献できることを目指します。海外研修によって地域づくりの現場を体験したり、国内における地域づくりの研修やインターンシップ活動を経験しながら、地域づくりに関係した「現場主義」を実践できる学生になっていきます。

卒業要件

卒業に必要な単位数は 124 単位で、次の表の太枠内に掲げる所定の単位を修得しなければなりません。

		科目区分	必要単位数	
卒業必要単位数	基盤教育	哲学・思想	2 単位	
		学問の基礎	4 単位以上	
		国際人の形成		
		キャリア・市民形成		
		総合・学際		
		留学支援科目(英語特別教育科目)		
	14 単位以上	外国語系教育科目 8 単位以上	必修	4 単位
			選択必修	2 単位以上
			選択	2 単位以上
	124 単位	専門教育科目 70 単位以上	必修	4 単位
選択必修			18 単位以上	
選択			32 単位以上	
キャリア形成支援				
		開放領域(他学部他学科)		
		自由科目		

④ 卒業要件 p.104

※上記単位数を修得し、かつ、4 年次最初のセメスタおよび最終セメスタで 1 科目以上履修し、かつ 4 年次で専門科目を 2 科目以上修得しなければなりません。

年次別履修登録単位数制限

◆履修できる単位数◆

下記の通り年次別に履修できる単位数の上限が設定されています。

年次	年間	卒業単位として認められる科目		卒業単位として認められない科目
		春学期	秋学期	
1	44 単位	22 単位	22 単位	制限なし
2	44 単位	22 単位	22 単位	
3	48 単位	24 単位	24 単位	
4	48 単位	24 単位	24 単位	

<卒業に必要な単位として認められる科目>

基盤教育、専門教育科目、開放領域（他学部他学科開放科目）

<卒業に必要な単位として認められない科目>

・自由科目

自分の学科教育課程表になく、なおかつ他学部他学科開放科目として履修できない科目で担当教員の許可を得て履修する科目

履修上の注意

◆◆ 基盤教育 ◆◆

以下の①・②の基準を満たし、外国語系教育科目を含め最低 14 単位修得しなければなりません。

- ①「哲学・思想」に担当されている科目から 2 単位修得すること。
- ②「学問の基礎」「国際人の形成」「キャリア・市民形成」「総合・学際」の 4 分野の中より 4 単位以上修得すること。
- ③「スポーツ健康科学実技 A・B」、および「スポーツ健康科学講義 I・II A・II B」は白山キャンパスで開講します。
「スポーツ健康科学実技 A・B」の履修は、健康診断を受診済みであることが前提となります。
- ④一度修得した科目は再登録できません。なお、修得できなかった科目の再履修は可能です。

< 外国語系教育科目 >

- ①必修科目として、「総合英語演習 I・II」の 2 科目 4 単位を修得すること。
- ②選択必修科目として、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルから 1ヶ国語を選択し、2 科目 2 単位以上修得すること。
- ③選択科目として担当されている科目から、1 科目 2 単位以上修得すること。
「ドイツ語総合演習」、「フランス語総合演習」、「中国語総合演習」、「ハングル総合演習」の履修は、選択必修科目として担当されている「ドイツ語入門 A・B」、「フランス語入門 A・B」、「中国語入門 A・B」、「ハングル入門 A・B」を修得していることが条件です。

◆◆ 専門教育科目 ◆◆

必修科目、選択必修科目、選択科目、キャリア形成支援科目から最低 70 単位修得しなければなりません。

< 必修 >

1 年次配当の 2 科目 4 単位をすべて修得しなければなりません。

< 選択必修 >

最低 9 科目 18 単位以上修得しなければなりません。

< 選択科目 >

最低 32 単位以上修得しなければなりません。

< 専攻間相互聴講科目 >

3 時限～5 時限に開講します。詳しくは「履修登録のしおり・授業時間割」等を参照してください。

◆◆卒業要件を上回って修得した単位について◆◆

教育課程表上の基盤教育および専門教育科目において、卒業要件に定められた単位数を上回って修得した単位は、卒業必要単位数 124 単位の中の単位として換算されます。

◆◆既修得科目の再登録について◆◆

既修得科目の再登録は、下記に掲げる科目以外の科目については、制限単位数内であれば履修を認めます。ただし、修得した単位は重複して卒業単位に組み入れられません。なお成績については、成績上位の評価を卒業単位とします。

再登録できない科目は以下のとおりです。

(基盤教育)

・全ての科目

(専門教育科目)

・国際地域学基礎

・国際地域学入門Ⅰ・Ⅱ

・国際地域学基礎演習Ⅰ・Ⅱ

・国際地域学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

・卒業論文

・世界の農業・資源経済A・B

・アメリカ経済論A・B

・エネルギー経済論A・B

・キャリア形成支援科目のすべて

(他学部他学科開放科目)

・全ての科目

(自由科目)

・全ての科目

◆◆開放領域について◆◆

制限単位数内であれば、他学部他学科開放科目を履修することができます。履修した単位数は、開放領域の単位数として卒業に必要な単位数 124 単位の中の単位として換算されます。

なお、履修に当たっては、開講学部学科に従ってください。

◆◆自由科目について◆◆

自分の学科教育課程表になく、他学部他学科開放科目一覧にも記載されていない科目で、担当教員の許可を得て履修する科目を指します。なお、この科目は卒業単位として認められません。

履修希望者は、「履修登録のしおり・授業時間割表」を確認してください。

◆◆卒業要件◆◆

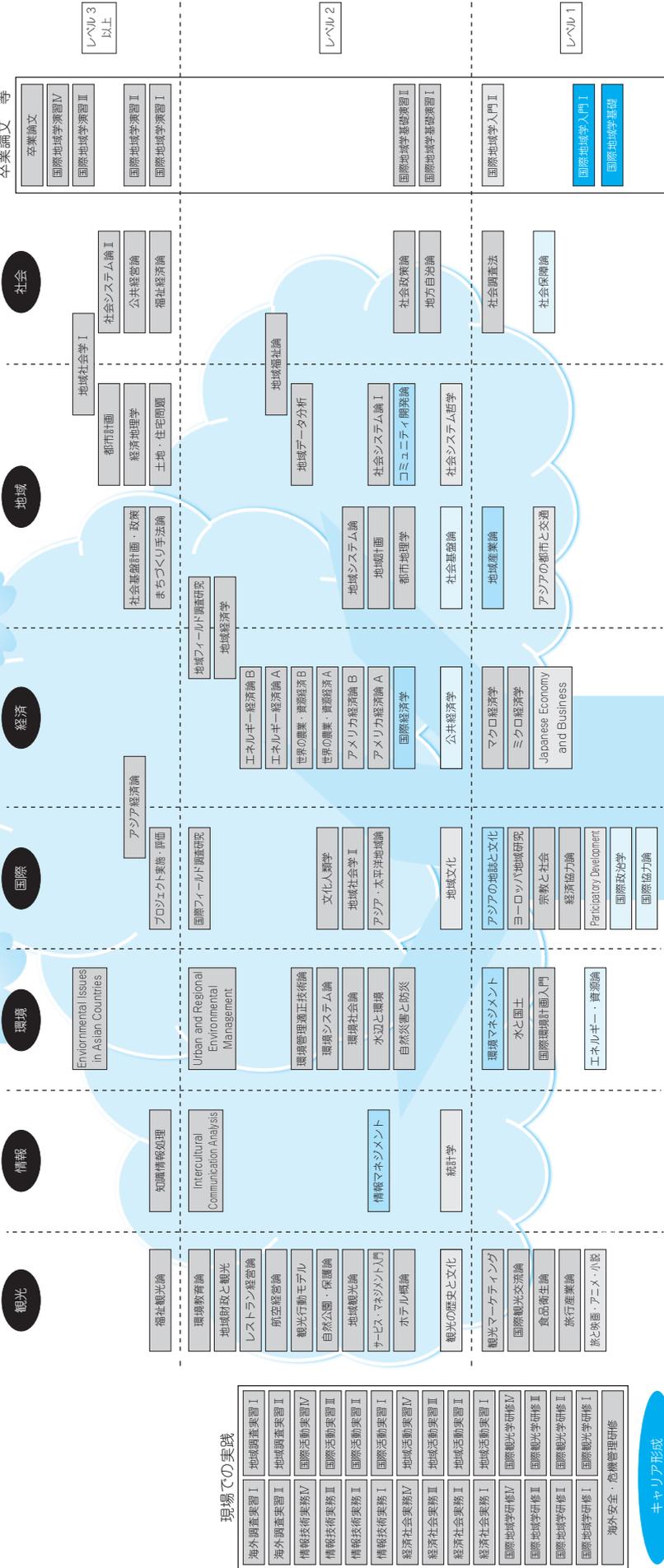
卒業に必要な単位数は、124 単位で、P.101 に掲げる所定の単位を修得しなければなりません。

なお、4 年次最初のSemesterおよび最終Semesterで1 科目以上履修し、かつ4 年次で専門科目を2 科目以上修得してください。

※上記条件を満たさない場合は、卒業単位数が充足していても、卒業することはできません。このため最終Semesterにも十分な科目数を履修登録し、卒業要件に不足がないように注意してください。

国際地域学科 (地域総合専攻) 専門教育科目 カリキュラムマップ

ゼミナール
卒業論文等



凡例

必修科目	選択必修科目 (2年生から履修可)
選択必修科目 (1年生から履修可)	その他の専門科目 (1年生から履修可)
その他の専門科目 (2年生から履修可)	その他の専門科目 (2年生から履修可)

◆ 2016 年度入学生用 国際地域学科 地域総合専攻 教育課程表 ◆

		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
国際地域学科 地域総合専攻	哲学・思想 (2)	哲学A	(2)	哲学B	(2)	哲学史A	(2)	哲学史B	(2)
		倫理学A	(2)	倫理学B	(2)	宗教学ⅠA	(2)	宗教学ⅠB	(2)
		宗教学ⅡA	(2)	宗教学ⅡB	(2)	東洋思想	(2)		
		井上円了と東洋大学A	(2)	井上円了と東洋大学B	(2)	ロジカルシンキング入門	(2)	クリティカルシンキング入門	(2)
	学問の基礎	芸術学A	(2)	芸術学B	(2)	歴史の諸問題A	(2)	歴史の諸問題B	(2)
		経済学A	(2)	経済学B	(2)	法学	(2)		
		政治学A	(2)	政治学B	(2)	社会学A	(2)	社会学B	(2)
		人類学A	(2)	人類学B	(2)	地理学A	(2)	地理学B	(2)
		心理学A	(2)	心理学B	(2)				
		自然の数理A	(2)	自然の数理B	(2)				
		生活と物理A	(2)	生活と物理B	(2)	エネルギーの科学A	(2)	エネルギーの科学B	(2)
		物質の科学A	(2)	物質の科学B	(2)	環境の科学A	(2)	環境の科学B	(2)
		地球の科学A	(2)	地球の科学B	(2)	生物学A	(2)	生物学B	(2)
		天文学A	(2)	天文学B	(2)	自然科学概論A	(2)	自然科学概論B	(2)
自然誌A	(2)	自然誌B	(2)	生物学実験講義A	(2)	生物学実験講義B	(2)		
化学実験講義A	(2)	化学実験講義B	(2)	数理・情報実習講義A	(2)	数理・情報実習講義B	(2)		
国際人の形成 4単位以上	地域文化研究A	(2)	地域文化研究B	(2)	百人一首の文化史A	(2)	百人一首の文化史B	(2)	
	日本の昔話A	(2)	日本の昔話B	(2)	日本文学文化と風土A	(2)	日本文学文化と風土B	(2)	
	日本の詩歌A	(2)	日本の詩歌B	(2)	西欧文学A	(2)	西欧文学B	(2)	
	現代日本文学A	(2)	現代日本文学B	(2)	地域史A	(2)	地域史B	(2)	
	アジアの文学	(2)	アジアの古典	(2)	国際関係入門	(2)			
	国際キャリア概論	(2)	留学のすすめ	(2)					
	海外研修Ⅰ	(2)	海外研修Ⅱ	(2)	海外実習Ⅰ	(2)	海外実習Ⅱ	(2)	
	短期海外研修Ⅰ	(1)	短期海外研修Ⅱ	(1)	短期海外研修Ⅲ	(1)	短期海外研修Ⅳ	(1)	
短期海外実習Ⅰ	(1)	短期海外実習Ⅱ	(1)	短期海外実習Ⅲ	(1)	短期海外実習Ⅳ	(1)		
キャリア・市民形成	日本国憲法	(2)	スポーツ健康科学実技A	(1)	スポーツ健康科学実技B	(1)	スポーツ健康科学講義Ⅰ	(2)	
	スポーツ健康科学講義ⅡA	(2)	スポーツ健康科学講義ⅡB	(2)	情報化社会と人間	(2)			
	コンピュータ・リテラシーA	(1)	コンピュータ・リテラシーB	(1)	社会人基礎力入門講義	(2)	社会人基礎力実践講義	(2)	
	キャリアデベロップメント論	(2)	社会貢献活動入門	(2)	公務員論	(2)	情報ネットワーク論	(2)	
テクニカルライティング	(2)	アカデミックライティング	(2)	インターンシップ入門	(2)	ボランティア活動入門	(2)		
総合・学際	総合ⅠA	(2)	総合ⅠB	(2)	総合ⅡA	(2)	総合ⅡB	(2)	
	総合ⅢA	(2)	総合ⅢB	(2)	総合ⅣA	(2)	総合ⅣB	(2)	
	総合ⅤA	(2)	総合ⅤB	(2)	総合ⅥA	(2)	総合ⅥB	(2)	
	総合ⅦA	(2)	総合ⅦB	(2)					
	全学総合ⅠA	(2)	全学総合ⅠB	(2)	全学総合ⅡA	(2)	全学総合ⅡB	(2)	
	首都東京を学ぶ	(2)							
留学支援	英語特別教育科目	English for Academic Purposes I A Listening/Speaking (2)		English for Academic Purposes I B Reading/Writing (2)					
		English for Academic Purposes II A Listening/Speaking (2)		English for Academic Purposes II B Reading/Writing (2)					
		Pre-Study Abroad College Study Skills		(1) Pre-Study Abroad Basic Academic Writing				(1)	
		Pre-Study Abroad Academic Essay Writing		(1) Business English Communication				(2)	
外国語系教育科目 (8)	必修 (4)	総合英語演習Ⅰ	(2)						
		総合英語演習Ⅱ	(2)						
	選択必修 (2)	中国語入門A	(1)	ハングル入門A	(1)	フランス語入門A	(1)	ドイツ語入門A	(1)
		中国語入門B	(1)	ハングル入門B	(1)	フランス語入門B	(1)	ドイツ語入門B	(1)
選択 (2)	観光英語演習Ⅰ	(2)	ビジネス英語演習	(2)	英語とマスメディア	(2)	リスニング総合演習	(2)	
	観光英語演習Ⅱ	(2)	英語研修	(2)					
	中国語総合演習	(2)	ハングル総合演習	(2)	フランス語総合演習	(2)	ドイツ語総合演習	(2)	

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
		授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	
専 門 教 育 科 目 (70)	必修 (4)	国際地域学入門Ⅰ (2) 国際地域学基礎 (2)				
	選択必修 (18)	国際政治学 (2) 公共経済学 (2) エネルギー・資源論 (2) 国際協力論 (2) 社会保障論 (2) 社会基盤論 (2)	国際経済学 (2) アジアの地誌と文化 (2) コミュニティ開発論 (2) 地域産業論 (2) 情報マネジメント (2) 環境マネジメント (2)			
	選 択 (32)	国際地域学入門Ⅱ (2) 統計学 (2) 地域文化 (2)	国際地域学基礎演習Ⅰ (2) 国際地域学基礎演習Ⅱ (2)	国際地域学演習Ⅰ (2) 国際地域学演習Ⅱ (2)	国際地域学演習Ⅲ (2) 国際地域学演習Ⅳ (2) 卒業論文 (4)	
		旅と映画・アニメ・小説 (2) 観光の歴史と文化 (2) 国際地域学研修Ⅰ (2) 国際地域学研修Ⅱ (2) 国際地域学研修Ⅲ (2) 国際地域学研修Ⅳ (2)	社会調査法 (2) ミクロ経済学 (2) マクロ経済学 (2) 旅行産業論 (2) ホテル概論 (2) サービス・マネジメント入門 (2)	【国際系】 宗教と社会 (2) 文化人類学 (2) ヨーロッパ地域研究 (2) 経済協力論 (2) 国際フィールド調査研究 (2)		
		国際観光学研修Ⅰ (2) 国際観光学研修Ⅱ (2) 国際観光学研修Ⅲ (2) 国際観光学研修Ⅳ (2)	地域観光論 (2) 自然公園・保護論 (2) 国際観光交流論 (2) 観光行動モデル (2)	【環境系】 水辺と環境 (2) 国際環境計画入門 (2)	自然災害と防災 (2) 環境管理適正技術論 (2)	
		航空経営論 (2) 福祉観光論 (2) 観光マーケティング (2) レストラン経営論 (2) 食品衛生論 (2) 地域財政と観光 (2) 環境教育論 (2)	【地域系】 都市地理学 (2) 経済地理学 (2) 地域福祉論 (2) 社会政策論 (2) 公共経営論 (2) 地方自治論 (2)	まちづくり手法論 (2) 地域計画 (2) 地域社会学Ⅰ (2) 地域システム論 (2) 都市計画 (2) 地域フィールド調査研究 (2)		
		社会システム哲学 (2) アジアの都市と交通 (2) Japanese Economy and Business (2) Participatory Development (2)	地域データ分析 (2) 社会システム論Ⅰ (2) 社会システム論Ⅱ (2) 水と国土 (2) アジア経済論 (2) 環境システム論 (2)	環境社会論 (2) 知識情報処理 (2) 地域経済学 (2) 社会基盤計画・政策 (2) 土地・住宅問題 (2) 福祉経済論 (2)	Environmental Issues in Asian Countries (2) Intercultural Communication Analysis (2) Urban and Regional Environmental Management (2) 海外安全・危機管理研修 (2)	
			アメリカ経済論A (2) アメリカ経済論B (2)	世界の農業・資源経済A (2) 世界の農業・資源経済B (2)	エネルギー経済論A (2) エネルギー経済論B (2)	
		キ ャ リ ア 形 成 支 援 科 目	キャリアデザインⅠ (2)	キャリアデザインⅡ (2)	キャリアデザインⅢ (2)	
			海外調査実習Ⅰ (1)	海外調査実習Ⅱ (1)	地域調査実習Ⅰ (1)	地域調査実習Ⅱ (1)
経済社会実務Ⅰ (2)			経済社会実務Ⅱ (2)	経済社会実務Ⅲ (2)	経済社会実務Ⅳ (2)	
地域活動実習Ⅰ (2)			地域活動実習Ⅱ (2)	地域活動実習Ⅲ (2)	地域活動実習Ⅳ (2)	
国際活動実習Ⅰ (2)			国際活動実習Ⅱ (2)	国際活動実習Ⅲ (2)	国際活動実習Ⅳ (2)	
情報技術実務Ⅰ (2)			情報技術実務Ⅱ (2)	情報技術実務Ⅲ (2)	情報技術実務Ⅳ (2)	

2016 年度入学生用 国際地域学科地域総合専攻 教育課程表

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考		
基盤教育科目								
哲学・思想 2 単位以上		PHE125	哲学 A	1～4	2			
		PHE126	哲学 B	1～4	2			
		PHE127	哲学史 A	1～4	2			
		PHE128	哲学史 B	1～4	2			
		PHE129	倫理学 A	1～4	2			
		PHE130	倫理学 B	1～4	2			
		RES111	宗教学 I A	1～4	2			
		RES112	宗教学 I B	1～4	2			
		RES113	宗教学 II A	1～4	2			
		RES114	宗教学 II B	1～4	2			
		CIB134	東洋思想	1～4	2			
		TYS105	井上円了と東洋大学 A	1～4	2			
		TYS106	井上円了と東洋大学 B	1～4	2			
		PHE131	ロジカルシンキング入門	1～4	2			
		PHE132	クリティカルシンキング入門	1～4	2			
		基盤教育 合計 14 単位 以上	学問の基礎★	ASA108	芸術学 A	1～4	2	
				ASA109	芸術学 B	1～4	2	
HSG110	歴史の諸問題 A			1～4	2			
HSG111	歴史の諸問題 B			1～4	2			
ECT132	経済学 A			1～4	2			
ECT133	経済学 B			1～4	2			
LAW109	法学			1～4	2			
POL104	政治学 A			1～4	2			
POL105	政治学 B			1～4	2			
SOC250	社会学 A			1～4	2			
SOC251	社会学 B			1～4	2			
CUA113	人類学 A			1～4	2			
CUA114	人類学 B			1～4	2			
GGR111	地理学 A			1～4	2			
GGR112	地理学 B			1～4	2			
PSY106	心理学 A			1～4	2			
PSY107	心理学 B			1～4	2			
MAT103	自然の数理 A			1～4	2			
MAT104	自然の数理 B			1～4	2			
PHY105	生活と物理 A			1～4	2			
PHY106	生活と物理 B			1～4	2			
ENE104	エネルギーの科学 A			1～4	2			
ENE105	エネルギーの科学 B			1～4	2			
BSC105	物質の科学 A			1～4	2			
BSC106	物質の科学 B			1～4	2			
ENV103	環境の科学 A			1～4	2			
ENV104	環境の科学 B			1～4	2			
EAP105	地球の科学 A			1～4	2			
EAP106	地球の科学 B			1～4	2			
BAB105	生物学 A			1～4	2			
BAB106	生物学 B			1～4	2			
AST105	天文学 A			1～4	2			
AST106	天文学 B			1～4	2			
SCE107	自然科学概論 A			1～4	2			
SCE108	自然科学概論 B			1～4	2			
CAS105	自然誌 A			1～4	2			
CAS106	自然誌 B			1～4	2			
BAB107	生物学実験講義 A			1～4	2			
BAB108	生物学実験講義 B			1～4	2			
BSC107	化学実験講義 A			1～4	2			
BSC108	化学実験講義 B			1～4	2			
SOF103	数理・情報実習講義 A			1～4	2			

★印の区分の中
から 4 単位以上
修得すること

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考
(基盤教育) 合計 14 単位 以上	(学問の基礎★)	SOF104	数理・情報実習講義 B	1～4	2	★印の区分の中から4単位以上修得すること
	国際人の形成★	ARS124	地域文化研究 A	1～4	2	
		ARS125	地域文化研究 B	1～4	2	
		JLT125	百人一首の文化史 A	1～4	2	
		JLT126	百人一首の文化史 B	1～4	2	
		JLT127	日本の昔話 A	1～4	2	
		JLT128	日本の昔話 B	1～4	2	
		JLT129	日本文学文化と風土 A	1～4	2	
		JLT130	日本文学文化と風土 B	1～4	2	
		JLT131	日本の詩歌 A	1～4	2	
		JLT132	日本の詩歌 B	1～4	2	
		EUL103	西欧文学 A	1～4	2	
		EUL104	西欧文学 B	1～4	2	
		JLT133	現代日本文学 A	1～4	2	
		JLT134	現代日本文学 B	1～4	2	
		HSG112	地域史 A	1～4	2	
		HSG113	地域史 B	1～4	2	
		LIG105	アジアの文学	1～4	2	
		LIG106	アジアの古典	1～4	2	
		INR118	国際関係入門	1～4	2	
		IHR115	国際キャリア概論	1～4	2	
		IHR116	留学のすすめ	1～4	2	
		IHR117	海外研修 I	1～4	2	
		IHR118	海外研修 II	1～4	2	
		IHR119	海外実習 I	1～4	2	
		IHR120	海外実習 II	1～4	2	
		IHR121	短期海外研修 I	1～4	1	
		IHR122	短期海外研修 II	1～4	1	
		IHR123	短期海外研修 III	1～4	1	
		IHR124	短期海外研修 IV	1～4	1	
		IHR125	短期海外実習 I	1～4	1	
		IHR126	短期海外実習 II	1～4	1	
		IHR127	短期海外実習 III	1～4	1	
		IHR128	短期海外実習 IV	1～4	1	
	キャリア・市民形成★	PUL107	日本国憲法	1～4	2	
		HSS111	スポーツ健康科学実技 A	1～4	1	
		HSS112	スポーツ健康科学実技 B	1～4	1	
		HSS113	スポーツ健康科学講義 I	1～4	2	
		HSS114	スポーツ健康科学講義 II A	1～4	2	
		HSS115	スポーツ健康科学講義 II B	1～4	2	
		THI106	情報化社会と人間	1～4	2	
		CIV139	コンピュータ・リテラシー A	1～4	1	
		CIV140	コンピュータ・リテラシー B	1～4	1	
		CIV150	社会人基礎力入門講義	1～4	2	
		CIV151	社会人基礎力実践講義	1～4	2	
ECD107		キャリアデベロップメント論	1～4	2		
SWS117		社会貢献活動入門	1～4	2		
CIV217		公務員論	1～4	2		
INN101		情報ネットワーク論	1～4	2		
ECD103		テクニカルライティング	1～4	2		
ECD104		アカデミックライティング	1～4	2		
CIV131	インターンシップ入門	1～4	2			
CIV132	ボランティア活動入門	1～4	2			
総合・学際★	ITS124	総合 I A	1～4	2		
	ITS125	総合 I B	1～4	2		
	ITS126	総合 II A	1～4	2		
	ITS127	総合 II B	1～4	2		
	ITS128	総合 III A	1～4	2		
	ITS129	総合 III B	1～4	2		
	ITS130	総合 IV A	1～4	2		
	ITS131	総合 IV B	1～4	2		
	ITS132	総合 V A	1～4	2		
	ITS133	総合 V B	1～4	2		

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
基盤教育 合計 14 単位 以上	(総合・学際★)	ITS134	総合ⅥA	1～4	2	★印の区分の中から4単位以上修得すること	
		ITS135	総合ⅥB	1～4	2		
		ITS136	総合ⅦA	1～4	2		
		ITS137	総合ⅦB	1～4	2		
		ITS138	全学総合ⅠA	1～4	2		
		ITS139	全学総合ⅠB	1～4	2		
		ITS140	全学総合ⅡA	1～4	2		
		ITS141	全学総合ⅡB	1～4	2		
		ITS142	首都東京を学ぶ	1～4	2		
	留学支援	英語特別 教育科目	ENG101	English for Academic Purposes I A Listening/Speaking	1～4	2	LEAP Program
			ENG102	English for Academic Purposes I B Reading/Writing	1～4	2	
			ENG103	English for Academic Purposes II A Listening/Speaking	1～4	2	
			ENG104	English for Academic Purposes II B Reading/Writing	1～4	2	
			ENG201	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1	
			ENG202	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1	
			ENG203	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1	
	外国語系 教育科目 8 単位以上	必修 4 単位	ENG159	総合英語演習Ⅰ	1	2	1つの言語を A・Bの順に 履修すること
			ENG160	総合英語演習Ⅱ	1	2	
		選択必修 2 単位以上	FLE124	中国語入門A	1～4	1	
			FLE125	中国語入門B	1～4	1	
			FLE127	ハンガール入門A	1～4	1	
			FLE128	ハンガール入門B	1～4	1	
			FLE130	フランス語入門A	1～4	1	
			FLE131	フランス語入門B	1～4	1	
		選択 2 単位以上	FLE133	ドイツ語入門A	1～4	1	
			FLE134	ドイツ語入門B	1～4	1	
ENG161			観光英語演習Ⅰ	1～4	2	同じ言語のA・ Bを修得済み であること	
ENG162			観光英語演習Ⅱ	1～4	2		
ENG163			英語研修	1～4	2		
FLE126			中国語総合演習	1～4	2		
FLE129	ハンガール総合演習	1～4	2				
FLE132	フランス語総合演習	1～4	2				
専門教育科目 70 単位 以上	必修 4 単位	SEM146	国際地域学入門Ⅰ	1	2		
		SEM147	国際地域学基礎	1	2		
	基礎科目	選択必修 18 単位	INR119	国際政治学	1		2
			ENE106	エネルギー・資源論	1		2
			ECP131	国際協力論	1		2
			PFP102	社会保障論	1		2
			PFP213	公共経済学	1		2
CEP203			社会基盤論	1	2		
EPS105			環境マネジメント	2	2		
CUA120			アジアの地誌と文化	2	2		
ECP132			地域産業論	2	2		
ECP239			国際経済学	2	2		
選択 32 単位以上		TPA202	コミュニティ開発論	2	2		
		INN204	情報マネジメント	2	2		
		SEM148	国際地域学入門Ⅱ	1	2	ゼミナール科目	
		SEM251	国際地域学基礎演習Ⅰ	2	2	ゼミナール科目	
		SEM252	国際地域学基礎演習Ⅱ	2	2	ゼミナール科目	
		SEM351	国際地域学演習Ⅰ	3	2	ゼミナール科目	
		SEM352	国際地域学演習Ⅱ	3	2	ゼミナール科目	
		SEM436	国際地域学演習Ⅲ	4	2	ゼミナール科目	
		THE465	国際地域学演習Ⅳ	4	2	ゼミナール科目	
		THE466	卒業論文	4	4		
TOS126	旅と映画・アニメ・小説	1	2				
STS209	統計学	1	2				
ARS212	地域文化	1	2				

卒業要件	区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考
専門教育 科目 70 単位 以上	(選択) (32 単位以上)	TOS267	観光の歴史と文化	1	2	
		SEM149	国際地域学研修Ⅰ	1	2	
		SEM253	国際地域学研修Ⅱ	1	2	
		SEM353	国際地域学研修Ⅲ	1	2	
		SEM437	国際地域学研修Ⅳ	1	2	
		TOS131	国際観光学研修Ⅰ	1	2	
		TOS132	国際観光学研修Ⅱ	1	2	
		TOS133	国際観光学研修Ⅲ	1	2	
		TOS134	国際観光学研修Ⅳ	1	2	
		SOC148	社会調査法	2～4	2	
		ECT143	ミクロ経済学	2～4	2	
		ECT144	マクロ経済学	2～4	2	
		TOS127	旅行産業論	2～4	2	
		TOS128	国際観光交流論	2～4	2	
		TOS129	観光マーケティング	2～4	2	
		TOS130	食品衛生論	2～4	2	
		TOS268	ホテル概論	2～4	2	
		TOS269	サービス・マネジメント入門	2～4	2	
		TOS270	地域観光論	2～4	2	
		TOS271	自然公園・保護論	2～4	2	
		TOS272	観光行動モデル	2～4	2	
		TOS273	航空経営論	2～4	2	
		TOS274	レストラン経営論	2～4	2	
		TOS275	地域財政と観光	2～4	2	
		TOS276	環境教育論	2～4	2	
		TOS329	福祉観光論	2～4	2	
		CUA121	宗教と社会	2～4	2	
		ARS128	ヨーロッパ地域研究	2～4	2	
		INR120	経済協力論	2～4	2	
		CUA209	文化人類学	2～4	2	
		SOC263	アジア・太平洋地域論	2～4	2	
		SOC264	地域社会学Ⅱ	2～4	2	
		SEM254	国際フィールド調査研究	2～4	2	
	INR306	プロジェクト実施・評価	2～4	2		
	CEE102	国際環境計画入門	2～4	2		
	CEE202	環境管理適正技術論	2～4	2		
	EPS212	水辺と環境	2～4	2		
	NDD203	自然災害と防災	2～4	2		
	GGR202	都市地理学	2～4	2		
	SWS230	地域福祉論	2～4	2		
	SWS231	社会政策論	2～4	2		
	SEM255	地域フィールド調査研究	2～4	2		
	ABE202	地域計画	2～4	2		
	HUG210	地域システム論	2～4	2		
	POL215	地方自治論	2～4	2		
	POL302	公共経営論	2～4	2		
	ABE303	まちづくり手法論	2～4	2		
	ABE304	都市計画	2～4	2		
	SOC331	地域社会学Ⅰ	2～4	2		
	GGR308	経済地理学	2～4	2		
	EPS210	エネルギー経済論A	2～4	2		
	EPS211	エネルギー経済論B	2～4	2		
	ECP328	アメリカ経済論A	2～4	2		
ECP329	アメリカ経済論B	2～4	2			
ECP405	世界の農業・資源経済A	2～4	2			
ECP406	世界の農業・資源経済B	2～4	2			
CEP102	アジアの都市と交通	1	2			
MAN133	Japanese Economy and Business	1	2			
INR121	Participatory Development	1	2			
SSS203	社会システム哲学	1	2			
HYE102	水と国土	2～4	2			
SEM150	海外安全・危機管理研修	2～4	2			
STS210	地域データ分析	2～4	2			
	国際系科目					
	環境系科目					
	地域系科目					
	専攻間相互 聴講科目					

卒業要件	区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意 ／備考	
専門教育 科目 70単位 以上	(選択 32単位 以上)	(専攻間相互 聴講科目)	SSS204	社会システム論Ⅰ	2～4	2		
			DEV203	環境システム論	2～4	2		
			ECP240	地域経済学	2～4	2		
			LIH218	Intercultural Communication Analysis	2～4	2		
			EPS213	環境社会論	2～4	2		
			EPS214	Urban and Regional Environmental Management	2～4	2		
			SSS302	社会システム論Ⅱ	2～4	2		
			ECP346	アジア経済論	2～4	2		
			MUD303	知識情報処理	2～4	2		
			CEP303	社会基盤計画・政策	2～4	2		
			TPA305	土地・住宅問題	2～4	2		
			PFP325	福祉経済論	2～4	2		
			EPS302	Environmental Issues in Asian Countries	2～4	2		
						CIV145	キャリアデザインⅠ	1
				CIV218	キャリアデザインⅡ	2	2	
				CIV310	キャリアデザインⅢ	3	2	
				SEM151	海外調査実習Ⅰ	1～4	1	
				SEM256	海外調査実習Ⅱ	1～4	1	
				SEM354	地域調査実習Ⅰ	1～4	1	
				SEM438	地域調査実習Ⅱ	1～4	1	
				CIV146	経済社会実務Ⅰ	1～4	2	
				CIV219	経済社会実務Ⅱ	1～4	2	
				CIV311	経済社会実務Ⅲ	1～4	2	
				CIV407	経済社会実務Ⅳ	1～4	2	
				CIV147	地域活動実習Ⅰ	1～4	2	
				CIV220	地域活動実習Ⅱ	1～4	2	
				CIV312	地域活動実習Ⅲ	1～4	2	
				CIV408	地域活動実習Ⅳ	1～4	2	
				CIV148	国際活動実習Ⅰ	1～4	2	
				CIV221	国際活動実習Ⅱ	1～4	2	
				CIV313	国際活動実習Ⅲ	1～4	2	
				CIV409	国際活動実習Ⅳ	1～4	2	
				CIV149	情報技術実務Ⅰ	1～4	2	
			CIV222	情報技術実務Ⅱ	1～4	2		
			CIV314	情報技術実務Ⅲ	1～4	2		
			CIV410	情報技術実務Ⅳ	1～4	2		

開講学部・学科		科目ナン バリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
他学部他学科開放科目						
文学部	東洋思想文化学科	CIB141	インド思想史A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB142	インド思想史B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB145	仏教思想概論A	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB146	仏教思想概論B	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	LIN113	サンスクリット語 I A	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	LIN114	サンスクリット語 I B	1～4	1	
文学部	東洋思想文化学科	CIB155	インド現代思想	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB156	現代のインド	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB157	仏教と社会福祉	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	CIB158	現代に生きる仏教	1～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES217	宗教社会学A	2～4	2	
文学部	東洋思想文化学科	RES218	宗教社会学B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT137	古代日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT138	古代日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT139	中世日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT140	中世日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT141	近世日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT142	近世日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT143	近現代日本文学史A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT144	近現代日本文学史B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIG107	比較文学文化概説A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIG108	比較文学文化概説B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIE223	英語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	LIE224	英語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL206	ドイツ語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL207	ドイツ語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL208	フランス語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	EUL209	フランス語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CHL205	中国語圏文学文化と日本A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CHL206	中国語圏文学文化と日本B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA116	日本の伝統行事A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA117	日本の伝統行事B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	FAH105	日本の美術A	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	FAH106	日本の美術B	1～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT247	万葉文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT248	万葉文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT249	王朝文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT250	王朝文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT251	室町文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT252	室町文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT253	江戸文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT254	江戸文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT255	近現代文化論A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT256	近現代文化論B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT257	日本の古典籍A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	JLT258	日本の古典籍B	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA207	日本民俗学A	2～4	2	
文学部	日本文学文化学科	CUA208	日本民俗学B	2～4	2	
文学部	教育学科	EDU128	生涯学習概論 I	1～4	2	
文学部	教育学科	SNE112	特別支援教育概論 I	1～4	2	
文学部	教育学科	JPH114	社会文化史(日本)	1～4	2	
文学部	教育学科	HEA106	社会文化史(西洋)	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU131	比較政策論	1～4	2	
文学部	教育学科	SOE108	比較社会論	1～4	2	
文学部	教育学科	HIT104	アメリカ思想史	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU132	生涯学習概論 II	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU133	女性問題と学習	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU134	社会教育課題研究 I	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU135	社会教育課題研究 II	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU136	グローバル化と学習	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU137	家庭教育論	1～4	2	
文学部	教育学科	EDU203	社会教育計画論 I	1～4	2	

開講学部・学科		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
文学部	教育学科	EDU204	社会教育計画論Ⅱ	1～4	2	
文学部	教育学科	SNE114	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2	
経済学部	経済学科	EDE205	経済哲学A	2～4	2	
経済学部	経済学科	EDE206	経済哲学B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP237	労働経済論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP238	労働経済論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP330	日本経済論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP331	日本経済論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP334	経済発展論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP335	経済発展論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	MOF315	国際金融論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	MOF316	国際金融論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP407	多国籍企業論A	2～4	2	
経済学部	経済学科	ECP408	多国籍企業論B	2～4	2	
経済学部	経済学科	PFP324	地方財政論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MOF223	経営財務論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MOF224	投資決定論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN125	経営組織論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN126	組織行動論	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN232	経営史A	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN233	経営史B	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN235	中小企業経営論A	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN236	中小企業経営論B	1～4	2	
経営学部	経営学科	MAN128	経営分析論	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL113	法制史(日本)A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL114	法制史(日本)B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL115	法制史(西洋)A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL116	法制史(西洋)B	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL119	法哲学A	1～4	2	
法学部	法律学科	FUL120	法哲学B	1～4	2	
法学部	法律学科	POL211	政治学原論A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL212	政治学原論B	2～4	2	
法学部	法律学科	ILA205	国際法A	2～4	2	
法学部	法律学科	ILA206	国際法B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL203	英米法A	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL204	英米法B	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL205	フランス法	2～4	2	
法学部	法律学科	FUL206	ドイツ法	2～4	2	
法学部	法律学科	POL213	行政学A	2～4	2	
法学部	法律学科	POL214	行政学B	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL207	労使関係法・労働市場法A	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL208	労使関係法・労働市場法B	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL205	雇用関係法A	2～4	2	
法学部	法律学科	SOL206	雇用関係法B	2～4	2	
法学部	法律学科	CRL209	刑事政策A	2～4	2	
法学部	法律学科	CRL210	刑事政策B	2～4	2	
社会学部	社会学科	SOC252	社会学史A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC253	社会学史B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC255	家族社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC256	家族社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	STS207	社会統計学	2～4	2	
社会学部	社会学科	SOC254	質的調査法	2～4	2	
社会学部	社会学科	SOC261	犯罪社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC262	犯罪社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	HIT303	社会文化思想史A	1～4	2	
社会学部	社会学科	HIT304	社会文化思想史B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC259	宗教社会学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC260	宗教社会学B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC134	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC135	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH141	情報学基礎論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	LIH142	情報学基礎論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOC136	コミュニケーション論	1～4	2	

開講学部・学科		科目ナン バリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
社会学部	社会学科	SOC137	情報倫理概論	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOP105	集合行動論A	1～4	2	
社会学部	社会学科	SOP106	集合行動論B	1～4	2	
社会学部	社会学科	CLI207	臨床心理学A	1～4	2	
社会学部	社会学科	CLI208	臨床心理学B	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS118	社会福祉学概論A	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS119	社会福祉学概論B	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS122	高齢者福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS123	障害者福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS221	公的扶助論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS124	児童福祉論	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS127	福祉行財政と福祉計画	1～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS223	バリアフリー論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS323	ジェンダーと福祉	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS324	子ども支援論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS226	保健医療サービス論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS326	ケアマネジメント論	2～4	2	
社会学部	社会福祉学科	SWS229	権利擁護システム論	2～4	2	

卒業論文（選択科目）

◆◆卒業論文の意義◆◆

卒業論文は、講義や演習等を通して学習した総合的な成果であり、「学士（国際地域学）」に値する学力の有資格者であることを証明するものとなります。履修科目の中で、卒業論文は最も重要なものとして位置づけられるものであり、学生は十分な準備のもとに、卒業論文の執筆に全力で取り組まなければなりません。就職活動の際に、大学での勉学について尋ねられる機会が多くあります。それに説得力をもって答えるためにも、卒業論文の準備は早めに取り掛かることが望ましいです。

◆◆卒業論文の履修条件◆◆

- ・ 4年次8セメスタ以上で履修すること。
- ・ 卒業論文を履修するまでに「国際地域学演習Ⅲ」を単位修得していること。
- ・ 「国際地域学演習Ⅳ」履修または単位修得済みであること。

◆◆卒業論文題目届の提出◆◆

4年生は、第8セメスタ（3月卒業予定者は10月、9月卒業予定者は4月）開始時に、指導教員の承諾を得たうえで「卒業論文題目届」を提出してください。これを提出しなかったものは、卒業論文の指導を受けることができません。指導教員の承認を得ずに卒業論文の履修登録・変更をしても、無効となります。

◆◆卒業論文の執筆要領◆◆

- ・ 書 式 A4判、ワープロ書きを原則とします。
- ・ 字 数 2万字以上を目安とします。（図・表を含む）。英語の場合は、8,000語程度とします。
- ・ 使用言語 日本語または英語とし、指導教員と学生が相談して決定します。
- ・ 構 成 表紙、要旨、目次、および本文からなります。ページ番号を記入してください。

※表紙の書式の詳細については、見本を学部掲示板に掲示します。

- ・ 注釈および参考文献

論文には、所要の注釈を付すと同時に、他の著作物から得た情報を利用する場合は必ず本文中に引用箇所を明示し、本文の最後に他の参考文献とともにその一覧を明示してください。

※詳細な執筆要領等については、学内掲示ならびに各指導教員の指示に従ってください。

④ 学部掲示板 p.7

◆◆卒業論文の提出◆◆

- ・ 提出期限
12月中旬（9月卒業予定者は7月中旬）
卒業論文は、本人が責任を持って提出して下さい。
提出締切時間を過ぎた場合には、卒業論文の提出はできませんので、くれぐれも注意してください。
事前に「卒業論文提出猶予願」の提出がない場合には、提出締切後の提出は一切認められません。
- ・ 病気・事故等による提出の延期願い
理由を証明する書類（診断書類）を添えて、卒業論文提出の締切期日前に、「卒業論文提出猶予願」を教務課窓口へ提出してください。
- ・ 提出するもの
 - (1) 製本（簡易製本も可）した卒業論文 1部
このほかに、学生本人の保管用として、もう1部作成することが望ましいです。
 - (2) 卒業論文要旨
（ワープロ書き、A4判2ページを両面コピーしたもの）3部
これは「卒業論文要旨集」を作成するためのものです。「卒業論文要旨集」は大学に所蔵され、公開されます。
 - (3) 要旨データファイル
提出の詳細は掲示等で確認してください。

◆◆卒業論文の評価◆◆

提出された卒業論文のみならず、卒業論文の指導過程、プレゼンテーション、提出後の口頭試問などを経て、総合的に評価されます。指導教員による卒業論文の指導を十分受けずに提出された卒業論文は、評価の対象になりません。

◆◆優秀卒業論文の表彰等◆◆

国際地域学部では、学科ごとに卒業論文提出後、優秀な卒業論文の発表会を開催しています。これらの発表の中からそれぞれ最優秀論文および優秀論文を選定し、それらは卒業証書授与式において学部長から表彰状が授与されます。また、最優秀卒業論文は校友会の表彰対象論文として推薦されます。

◆◆卒業論文および要旨等の公表◆◆

最優秀卒業論文者および優秀卒業論文者は大学ホームページ上に論文全文あるいは論文要旨および氏名が掲載されます。また、全員の卒業論文テーマも同様にホームページ上に掲載されます。

諸資格について

教職課程を学ぶにあたって

東洋大学教職課程運営委員長

本学の学祖井上円了は哲学館の創設にあたり「諸学の基礎は哲学にあり」の理念の下、「先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間」「社会の課題に自主的・主体的に取り組み、よき人間関係を築いていける人間」の育成をめざした。そして特に「教育家と宗教家」の養成に力を入れた。このように本学は創設以来、教員養成を重視し、この分野の伝統と実績を有する大学であり、多くの卒業生が教員として全国の学校で活躍している。

これから教職課程を履修し、教員免許状を取得して教員になろうと志す学生にはまずこのことをしっかりと自覚してほしい。

言うまでもなく、教員になるためには教員免許状の取得が必要である。免許状の取得に関する諸事項は教育職員免許法に定められており、本学もこれに基づいて教職課程教育を実施している。

教職課程に属する科目の多くは、各学科の卒業に必要な科目とは別に履修し単位を修得しなければならない。従って、教職課程を履修する学生は、他の学生よりも多くの科目を履修しなければならず、学修に費やす時間もそれだけ多くなる。1年次からの計画的な履修と学修が求められる。その詳細については、教職課程ガイダンスに参加して説明を聞くとともに、この「履修要覧」を熟読してほしい。

教員になるためには、担当する教科に関する知識を豊富に持つことが必要になることは言うまでもない。しかしそれだけでは教員として十分とは言えない。教員は成長・発達の上にある児童・生徒を指導し、ともに学ぶ存在である。教員の言動は、時として、子どもの将来を大きく左右することもある。その意味で教員というのは恐ろしい職業である。しかし同時に教員は子どもの成長を直接目にし、それを助け、ともに喜び合えるやりがいのある職業でもある。

ある教育学者が次のようなことを問うている。「あなた（教員）は何の権利があって他人の子どもを教育するなどという大それたことができるのか」。

この問いに答えることは簡単ではない。しかし「他人の子ども」を教育するという「大それた事」を職業とすることを、子どもから、保護者から、そして社会から、許されるだけの準備を大学生活のなかでしておくことが、教員をめざす学生の最低限の義務である。

教員をめざす学生には、大学の授業で学ぶことはもちろん、サークル活動、ボランティア活動、趣味、アルバイトなど、さまざまな経験をしながら、自分自身を成長させることを期待したい。豊かな人間性を持った信頼に足る教員をめざしてほしい。

◆ ◆ 〈1〉 教育職員免許状について ◆ ◆

大学卒業後、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員になるためには教育職員免許状を取得しなければなりません。

各学科で取得できる教育職員免許状は次の表のとおりです。

学科専攻	免許状の種類 (教科)	中学校教諭 1 種免許状 (教科)	高等学校教諭 1 種免許状 (教科)
	国際地域学科国際地域専攻		社 会
国 際 観 光 学 科		社 会	地 理 歴 史 ・ 公 民

◆ ◆ 〈2〉 教育職員免許状の取得条件について ◆ ◆

教育職員免許状を取得するためには、下の表にあるように基礎資格として「学士の学位を有すること」（卒業に必要な単位を修得すること）が要求されます。したがって、教育職員免許状取得のための単位は修得できたものの卒業ができなかったということにならないよう、4年間の履修計画を立ててください。本学では「教育職員免許法」に基づいて、教育職員免許状取得に必要な単位が修得できるよう科目を開設しています。

○近年、教員採用試験等で中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得（見込）していることが採用試験受験の条件、または有利になる傾向があります。したがって、できる限り**中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得することが望ましい**と考えられます。

○教育職員免許状を取得するのに必要な科目は、4年間で履修かつ修得できるように配置されているため、4年間の履修計画を入念に立て、1年次より必要な科目を履修かつ修得してください。

※ **2年次ないし3年次から4年次終了（卒業）までに教育職員免許状を取得することは難しいので注意してください。**

基礎資格と免許法における最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	免許法における最低修得単位数				
		免許法施行規則 第66条の6に 定める科目	教職に関 する科目	教科に関 する科目	教科又は教職 に関する科目	その他
中学校 1 種 教 諭 免 許 状	学士の学位を 有すること	8	31	20	8	介護等体験 (詳細は P.126)
高等学校 1 種 教 諭 免 許 状		8	23	20	16	

Check

上記の免許法における最低修得単位数と、本学における最低修得単位数は異なります。本学の学生は、本学における最低修得単位数を履修かつ修得しなければなりません。

P.123 ~ P.125 の表 1・表 2 の本学における「免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」「教科に関する科目」一覧表で確認してください。

◆ ◆ 〈3〉 教職課程登録料について ◆ ◆

本学では、通学課程の学部学生及び大学院生が教職課程の履修を希望する場合、教職課程登録料が必要となります。所定の期日までに指定された方法で納入してください。

なお、登録料の区分、徴収対象、徴収額および有効期間は以下の通りとなります。

	区分	徴収対象	徴収額	有効期間
教職課程登録料	在籍生登録料	東洋大学教職課程の履修を希望する通学課程の学部生及び大学院生	30,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 学部生は、納入時から卒業年度の3月31日（秋学期卒業生を含む。ただし、春学期卒業生は9月30日）まで。 大学院生は、納入時から修了年度の3月31日（秋学期修了生を含む。ただし、春学期修了生は9月30日）まで。
	卒業生等登録料	東洋大学の卒業生及び大学院修了生（ただし、退学者及び除籍者を含む。）で、教職支援室の利用等（教職に関するセミナー等への参加を含む。）を希望する者	5,000 円 (ただし、秋学期からの場合は当該年度のみ 2,500 円とする。)	納入年度の3月31日まで。

※再入学した学生のうち、在籍時に教職課程登録料を納入している場合は、再度の納入は必要ありません。

◆ ◆ <4> 教職科目の履修登録について ◆ ◆

教育職員免許状の取得のためには、卒業単位の充足のほかに、以下に定められた科目をそれぞれ履修し、単位を修得する必要があります。

- (1) 免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（〈表 1〉参照）
- (2) 教職に関する科目（〈表 2〉参照）
- (3) 教科又は教職に関する科目（〈表 2〉参照）
- (4) 教科に関する科目（〈表 2〉参照）

<表 1> 「免許法施行規則第66条の6に定める科目」

下記の表にしたがい、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のそれぞれの分野で 2 単位以上を修得しなければなりません。

学科 専攻	免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目区分	必 要 単 位 数	本学での開講科目 ()内は当該科目の単位数
国際地域学科 国際地域専攻	日本国憲法	2	日本国憲法 (2)
	体育	2	スポーツ健康科学実技 I A (1)
			スポーツ健康科学実技 I B (1)
			スポーツ健康科学実技 II A (1)
			スポーツ健康科学実技 II B (1)
スポーツ健康科学実技 III A (1)			
スポーツ健康科学実技 III B (1)			
スポーツ健康科学講義 I (2)			
スポーツ健康科学講義 II A (2)			
スポーツ健康科学講義 II B (2)			
外国語コミュニケーション	2	英会話 I (1)	
		英会話 II (1)	
		LL 演習 I (1)	
		LL 演習 II (1)	
情報機器の操作	2	情報社会論 (2)	
		国際地域情報学入門 I (2)	
国際 観 光 学 科	日本国憲法	2	日本国憲法 (2)
	体育	2	スポーツ健康科学実技 I A (1)
			スポーツ健康科学実技 I B (1)
			スポーツ健康科学実技 II A (1)
			スポーツ健康科学実技 II B (1)
			スポーツ健康科学実技 III A (1)
			スポーツ健康科学実技 III B (1)
			スポーツ健康科学講義 I (2)
			スポーツ健康科学講義 II A (2)
			スポーツ健康科学講義 II B (2)
外国語コミュニケーション	2	English Communication A (1)	
		English Communication B (1)	
		Reading and Vocabulary A (1)	
		Reading and Vocabulary B (1)	
情報機器の操作	2	情報社会論 (2)	
		情報演習 (2)	

〈表2〉 本学における「教職に関する科目」「教科に関する科目」一覧表

国際地域学科国際地域専攻・国際観光学科 2016 年度入学生用 (1.○：必修科目、2.「最低修得単位数：本学において免許状を取得するための最低単位数」、3.△：選択必修)

中学校教諭 1 種 (社会)				高等学校教諭 1 種 (地理歴史)				高等学校教諭 1 種 (公民)			
教職に関する科目				教職に関する科目				教職に関する科目			
免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学での開講科目 ()内は当該科目の単位数	当年配学	免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学での開講科目 ()内は当該科目の単位数	当年配学	免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学での開講科目 ()内は当該科目の単位数	当年配学
教職の意義等に関する科目	2 単位	○教職概論(2)	1	教職の意義等に関する科目	2 単位	○教職概論(2)	1	教職の意義等に関する科目	2 単位	○教職概論(2)	1
教育の基礎理論に関する科目	6 単位	○教育心理学(2) ○教育学概論(2) ○教育の制度と経営(2)	2 1 1	教育の基礎理論に関する科目	6 単位	○教育心理学(2) ○教育学概論(2) ○教育の制度と経営(2)	2 1 1	教育の基礎理論に関する科目	6 単位	○教育心理学(2) ○教育学概論(2) ○教育の制度と経営(2)	2 1 1
教育課程及び指導法に関する科目	16 単位	○教育課程論(2) ○社会・地歴指導法 I (2) ○社会・地歴指導法 II (2) ○社会・公民指導法 I (2) ○社会・公民指導法 II (2) ○道徳教育論(2) ○特別活動の理論と方法(2) ○教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2)	1 3 3 3 3 2 2 2	教育課程及び指導法に関する科目	10 単位	○教育課程論(2) ○社会・地歴指導法 I (2) ○社会・地歴指導法 II (2)	1 3 3	教育課程及び指導法に関する科目	10 単位	○教育課程論(2) ○社会・公民指導法 I (2) ○社会・公民指導法 II (2)	1 3 3
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4 単位	○生徒指導論(進路指導論を含む)(2) ○教育相談(2)	2 2	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4 単位	○生徒指導論(進路指導論を含む)(2) ○教育相談(2)	2 2	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4 単位	○生徒指導論(進路指導論を含む)(2) ○教育相談(2)	2 2
教育実習	5 単位	○教育実習 I (事前・事後指導を含む)(6)	4	教育実習	3 単位	△教育実習 I (事前・事後指導を含む)(5) △教育実習 II (事前・事後指導を含む)(3) ※いずれか 1 科目を修得すること。 ただし教育実習 I を修得しても、高等学校免許申請の際には 3 単位として申請すること。	4 4	教育実習	3 単位	△教育実習 I (事前・事後指導を含む)(6) △教育実習 II (事前・事後指導を含む)(3) ※いずれか 1 科目を修得すること。 ただし教育実習 I を修得しても、高等学校免許申請の際には 3 単位として申請すること。	4 4
教職実践演習	2 単位	○教職実践演習(中・高)(2)	4	教職実践演習	2 単位	○教職実践演習(中・高)(2)	4	教職実践演習	2 単位	○教職実践演習(中・高)(2)	4
「教職に関する科目」単位小計	35 単位			「教職に関する科目」単位小計	27 単位	…①		「教職に関する科目」単位小計	27 単位	…①	
教科又は教職に関する科目				教科又は教職に関する科目				教科又は教職に関する科目			
免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学で開講している科目	当年配学	免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学で開講している科目	当年配学	免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学で開講している科目	当年配学
教育課程及び指導法に関する科目		道徳教育論(2)	2	教育課程及び指導法に関する科目		道徳教育論(2)	2	教育課程及び指導法に関する科目		道徳教育論(2)	2
「教科又は教職に関する科目」単位小計		…②		「教科又は教職に関する科目」単位小計		…②		「教科又は教職に関する科目」単位小計		…②	

◆ ◆ 〈5〉 介護等体験について ◆ ◆

中学校の免許取得希望者は、教職に必要な科目の修得、卒業要件の充足の他に、3年次に特別支援学校で2日間と社会福祉施設で5日間の計7日間、高齢者や障害者に対する介護、介助、交流等の体験を行い、受入先に体験を行った証明をいただく必要があります。

この体験を行うには、大学を通して申し込みをしなければなりません。

概要は以下の通りです。

(1) 参加条件

以下の条件を1つでも満たさない場合は、介護等体験に参加できません。

- ① 介護等体験に積極的に参加する意欲があること。
- ② 全2回の説明会（2年次12月・3年次4月を予定）に出席し、必要な書類を提出すること。
- ③ 実施年度の4月に大学の定期健康診断を受診し、異常なしと診断され、心身ともに健康であること。
- ④ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑤ 母体保護のため、妊娠中もしくは出産から1年以内でないこと。
- ⑥ 介護等体験料を所定の期日までに納入していること。
- ⑦ 指定された体験日程で介護等体験に参加できること。
- ⑧ その他、必要な手続きのすべてを完了していること。

(2) 体験日程・体験先

受入先の都合を考慮したうえ、東京都教育委員会および東京都社会福祉協議会が、希望者各人の日程と受入先を調整・決定します。個人的な事情や要望（サークル、アルバイト、海外留学、就職活動、仕事等）による**日程・受入先の指定や変更（また、このことに関する個人交渉）・辞退は一切できない**ので、参加を希望する者はこの点を了承し、自分の都合を調整したうえで体験に臨んでください。

① 日程

授業期間だけではなく、**夏季・冬季休暇期間・土・日・祝日を含む日程**で行います。

② 体験先

いずれも東京都に所在する学校・施設で行います。体験希望者が多いため、現住所に近い場所で行えるとは限りません。

<特別支援学校>

視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、小中学校等に準ずる教育を行うとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。在籍する児童生徒等に対する教育を行うほか、障害により教育上特別な支援を必要とする小中学校等の児童生徒等の教育に関し、必要な助言又は援助を行います。

<社会福祉施設>

- ・ 高齢者にかかわる施設
- ・ 児童福祉・障害児にかかわる施設
- ・ 障害者（身体、知的、精神障害者）にかかわる施設
- ・ 生活保護にかかわる施設

(3) 内容

- ・ 学校、施設の利用者の介護・介助（入浴・排泄等含む）
- ・ 学校、施設の利用者との交流（話し相手）、学習活動の指導・援助
- ・ 学校、施設が実施する行事（学園祭・バザー・遠足・サークル活動等）の補助
- ・ 学校、施設の掃除、洗濯等の作業

特別支援学校事例…授業参観、作業学習補助、学校行事補助等（プール実習・マラソン大会等）

社会福祉施設事例…車椅子補助、点字の勉強、送迎バスへの添乗、サークル活動の補助等

◆ ◆ 〈6〉 教育実習について ◆ ◆

教育実習は、大学で学んだ教育理論や技術をもとに、教育実習校（中学校、高等学校）での実習を通じて、教育の意味や学校教育の全領域について学習するものです。「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」（3週間以上実習対象者）、「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」（2週間実習対象者）は、4年次に履修します。4月から事前指導が行われ、ほとんどの学生が、6月頃から実際に学校現場に赴き、中学校教諭の免許状取得の場合には3週間、高等学校教諭の免許状取得の場合には2週間の教育実習を行います。教育実習終了後、教育実習事後指導として、学生の実習体験発表、実習感想文の提出、アンケート調査などによって、教育実習の成果を振り返り、教員として必要な資質能力が培えたかどうかを確認します。教育実習は勤務という形態で行われるので、実習期間中に就職活動をするような時間的・精神的余裕は全くありません。教職という仕事の重要性を認識し、実習期間中は就職活動などは中止し、実習に専念してください。

（1）「教育実習Ⅰ・Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修条件

教育実習にあたっては、3年次終了までに以下の条件を満たしていなければなりません。

- ① 3年次終了の時点で、卒業に必要な単位数を **100 単位以上** 修得していること。
- ② 3年次終了の時点で、以下の2つの条件をともに満たしていること。
 - (i) 「教職概論」、「教育心理学」、「教育学概論」、「教育の制度と経営」、「教育課程論」、「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」、「特別活動の理論と方法」、「道徳教育論」、「生徒指導論（進路指導論を含む）」、「教育相談」、10科目のうち、6科目以上の単位を修得済みであること。
 - (ii) 実習予定教科の「教科の指導法Ⅰ」、「教科の指導法Ⅱ」を修得済みであること。

※ただし、地歴と公民については、実習校の都合で、自分が修得した「教科の指導法」と実習教科が対応しない場合があります。その場合には、教務課窓口にご相談ください。
- ③ 4年次において、卒業に必要な科目（単位）および教育職員免許状を取得するために必要な科目（単位）を修得し終える見込みのある者。

（2）参加条件

以下の条件を満たさなければ、教育実習に参加することはできません。

- ① 教壇に立って授業を行うために必要な学力を有すること。
- ② 教育実習指導教員の指導のもとに、教育実習生としてふさわしい行動のとれる人物であること。
- ③ 大学を含む関係諸機関との手続きを不備なく行っていること。
- ④ 実施年度の4月に大学の健康診断を受診し、異常なしと診断され、心身ともに健康であること。
- ⑤ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑥ 妊娠中もしくは出産して1年以内でないこと（母体保護のため）。
- ⑦ 教育実習料（含む保険料）を納入していること。
- ⑧ 「東京都公立学校教育実習取扱要綱」の第5条及び第12条に定められている実習資格条件を満たしていること。

(教育実習生の実習資格)

第5条 この要綱に基づき公立学校において教育実習ができる者は、次の各号に掲げる要件を備えた者に限る。

- (1) 教育実習の実施について、あらかじめ東京都教育委員会に実施の届出を行った大学等に在籍する者であること。
- (2) 大学等の最高学年に在学し、若しくはこれと同等以上で教育職員免許状取得見込みで、教職に就く意思のある者であること。

2 前項各号の規定にかかわらず、次の各号の一に該当する者は除く。

- (1) 伝染の恐れのある疾病若しくは教育実習を行ううえで妨げとなる精神障害等のある者
- (2) 公立学校の正常な教育活動を妨げる恐れのある者

(教育実習生の実習資格)

第12条 教育実習生は、大学等及び教育実習校の指導に誠実に従わなくてはならない。

(東京都公立学校教育実習取扱要綱抜粋)

(3) 教育実習校について

<中学校・高等学校>

教育実習を希望する学生は、3年次に「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を履修、単位修得するとともに、4月上旬の教育実習事務手続説明会に必ず出席し、予定校確保（以下、内諾）の方法等について確認のうえ、各自が責任をもって実習校を開拓してください。

その後、東京都公立学校での教育実習希望者は、9月上旬までに教務課へ「教育実習希望調書」を提出してください。なお、正式受入決定は12月上旬となります。

また、地方校（都内私立高校を含む）での教育実習希望者は、「教育実習受入内諾書」の記載をお願いした予定校から大学あてに回答が到着しているか、6月以降、教務課にて確認を行ってください。

また4年次に「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」または「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修登録をし、4月上旬の教育実習直前説明会に必ず出席してください。

(※履修登録は教務課で行ないます。)

◆ 〈7〉 教職実践演習について ◆

4年次の秋学期に必修科目として「教職実践演習」を履修して単位修得することが必要とされています。この科目は、教職に関する4年間の「学びの軌跡の集大成」と言えるものであり、学生が身に付けたものが教員として最小限必要な資質・能力の基礎として有機的に統合されたかを確認することを目的としています。しかし、この確認は4年次秋学期になってはじめて行うのではなく、1年次から継続的くり返し、自らの教職への意思や適性を問いつづけるなかで達成されるものです。

したがって、教員をめざす学生は1年次から積極的・意欲的に教職課程の学びを継続し、学修の成果と課題を記録しておくことが求められます。本学では「教職パスポート」を用意してその一助としています。「教職パスポート」を活用して、4年間の学修の流れを継続的・系統的に、目に見えるかたちで記録していくことが求められます。なお「教職パスポート」を管理し活用していることが「教職実践演習」の履修条件のひとつとなるので、学生は大切に保管し活用してください。なお、2年次終了時点で「教職パスポート」の中間点検を行い、必要に応じて指導・助言を行います。教職への適性が疑われる場合には進路の変更を促すこともありえます。

しっかりとした自覚をもって学修に取り組んでください。

◆◆ 〈8〉 教育職員免許状一括申請について ◆◆

教育職員免許状に必要な単位を修得または修得見込の学生は、教員免許状の取得が見込まれる年度に教育職員免許状の申請手続きをする必要があります。教育職員免許状の発行は東京都教育委員会が行いますが、卒業時に教育職員免許状を受領するための申請手続きは、通常、大学を通して行います（以下、一括申請）。

これらの手続きを怠った場合は、卒業時に教育職員免許状が授与されなくなるので注意してください。

◎個人申請について

大学で教育職員免許状の一括申請手続きを行わなかった場合でも、教育職員免許状に必要な単位を修得していれば、卒業後に個人で教育職員免許状を申請すること（個人申請）が可能です。

個人で申請する際の申請先等は以下の通りです。

〈申請先〉住民票をおいている都道府県の教育委員会（通常は都道府県庁の教育職員免許状を発行する部署）

〈申請に必要な書類・受付時期・免許状発行日〉申請先によって異なるので各自で問い合わせてください。

◆ ◆ 〈9〉 教育職員免許状取得までの流れ ◆ ◆

月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 1年 ◀◀			
11月	教職実践演習ガイダンスの掲示		中・高
	教職課程説明会の掲示		中・高
12月	教職実践演習ガイダンス	参加必須	中・高
	教職課程説明会	参加必須	中・高
3月	教職課程登録料納入（122 ページ参照）	納入必須	中・高



▶▶ 2年 ◀◀			
11月	介護等体験第1回説明会の掲示		中
	教職パスポート中間点検説明会の掲示		中・高
12月	介護等体験第1回説明会 [体験概要、申込前の注意事項、今後の手続の説明、参加仮登録]	参加必須	中
	教職パスポート中間点検説明会	参加必須	中・高
1月下旬	次年度教育実習事務手続説明会の掲示		中・高
	教職パスポートの中間点検提出	締切厳守	中・高
	介護等体験第2回説明会の掲示		中



▶▶ 3年 ◀◀			
4月初旬	教育実習事務手続説明会 [次年度教育実習予定校確保（内諾）について]	参加必須	中・高
	介護等体験第2回説明会 [体験上の注意、申込方法の説明、申込と体験に必要な書類の配付]	参加必須	中
	介護等体験申込受付 [申込書類の提出及び体験費用の納入]	締切厳守	中
4月中旬	取得希望免許状及び内諾予定校の登録、教育実習登録票（コピー）の提出	締切厳守	中・高
	教育実習の履修条件を満たすための科目登録		中・高
4月以降	教育実習校への内諾依頼（各自で次年度実習の依頼に行くこと）		中・高
7月上旬	介護等体験要項・受入連絡票配布 [体験日時および必要事項の確認]		中
7月以降	介護等体験準備及び体験（要項、受入連絡票を熟読の上、体験に臨むこと）	参加必須	中
	介護等体験証明書受取（体験終了後）		中
	介護等体験日誌の提出（体験終了後2週間以内）	締切厳守	中
	教育実習受入内諾書の確認（地方校）		中・高
9月上旬	教育実習希望調書の提出（東京都公立学校）	締切厳守	中・高
12月	教育実習校の発表（東京都公立学校）（東京都公立学校での実習希望者は掲示にて確認）		中・高
1月下旬	次年度教育実習直前説明会の掲示		中・高



月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 4年 ◀◀			
4月初旬	教育実習直前説明会 [実習直前の心構え、実習上の注意事項、実習校持参書類の配布]	参加必須	中・高
	教育実習参加条件充足者発表		中・高
4月中旬	教育実習料振込	締切厳守	中・高
5月上旬	教育実習承諾書確認 [打合せ日、実習期間、教科等最終確認]		中・高
5月中旬	訪問指導校を掲示にて発表		中・高
5月以降	教育実習<注1>	参加必須	中・高
6月上旬	教育職員免許状一括申請説明会の掲示		中・高
7月上旬	教育職員免許状一括申請説明会 [申請免許状の申込]	参加必須	中・高
実習終了後 1ヵ月以内	教育実習日誌の提出	締切厳守	中・高
12月上旬	免許状記載内容の最終確認、東京都教育委員会に提出する書類の 署名・捺印、申請料の納入	締切厳守	中・高
3月中旬	教育職員免許状取得決定者発表		中・高
卒業式当日	教育職員免許状授与（交付）<注2>印鑑を持参すること	参加必須	中・高

〈注1〉教育実習の実習時期は各実習校によって異なるので、承諾書等で必ず各自確認してください。

〈注2〉科目等履修生に教育職員免許状を授与（交付）する日程は、別途教職課程掲示板に掲示します。

※説明会を欠席したり、手続きを怠ると、教育実習・介護等体験に参加できなくなるので、教職課程掲示板およびP.130からの〈9〉教育職員免許状取得までの流れをよく確認してください。

また、教育実習の内諾後のキャンセル・介護等体験の申し込み後のキャンセルや、一度納入した教職課程登録料、介護等体験実習料、教育実習料の返金は一切できないので注意してください。

※上表のスケジュールはあくまでも予定なので、時期が前後することがあります。必ず教職課程掲示板を確認してください。

また、このスケジュールはモデルケースとなりますが、実習時期や教育職員免許状取得時期が遅れる場合は、事前に教務課に相談してください。

◆ ◆ 〈10〉 教職課程を履修する学生への連絡・伝達について ◆ ◆

教職に関する事項（各種説明会・手続き・発表・呼び出し等）は、すべて教職課程掲示板でお知らせします。登校時には必ず 1102 番教室（1 号館 1 階）横もしくは 6B12 番教室（6 号館地下 1 階）前の掲示を確認してください。（ToyoNet-G のお知らせでも確認することができますが、全ての掲示を Web 上で確認できるわけではありません。）

◆ ◆ 〈11〉 教員採用に関する支援について ◆ ◆

（1）教職支援室（3 号館 1 階）

- ・採用試験対策講座
- ・個別相談・模擬面接・模擬授業・場面指導・模擬試験関連情報提供
- ・専門スタッフによる教育職員への就職指導

※各講座の開催・申込時期等については教職支援室前の掲示板を確認してください。

（2）教職関係資料室（6 号館 4 階）

- ・教職関係資料（教員採用受験雑誌・教科書・参考書・学習指導案等）の閲覧および貸し出し

※開室時間は資料室前の掲示板もしくは教職課程掲示板で確認してください。

◆ ◆ 〈12〉 教員採用試験について ◆ ◆

教育職員免許状を取得した者が教員になるためには、まずは教員採用試験に合格する必要があります。出願期間・受験条件・試験日程・試験方法は教育委員会・学校によって異なります。教員採用試験の実施要綱の取り寄せと応募は各自で行ってください。

（1）公立学校の教員採用

公立学校の教員になるためには、まずは各都道府県・指定都市教育委員会が実施する採用試験に合格し、採用候補者の名簿に登録される必要があります。名簿の中からその年度の欠員状況、教員組織の状況などを考慮して選定され、採用が決定します。

（2）私立学校の教員採用

各都県の私学協会等が実施する「私立学校教員適性検査」を基に採用を行う場合と、公募制による採用があります。

「私立学校教員適性検査」は採用試験ではなく、適性検査を受けた受検者の氏名と評価等が記載された名簿を基にして、教員の採用を行っていくものです。ただし、検査を実施する都県にある私立学校全てが「私立学校教員適性検査」の結果を基に教員採用を行っているとは限りません。

◆ ◆ 〈13〉 教員免許更新制について ◆ ◆

教員免許状取得後 10 年ごとに更新講習を受け修了認定されることにより、有効期間が更新される教員免許更新制が平成 21 年に施行されましたが、文部科学省では、教員の資質向上のための教員免許制度の抜本的な見直し（教員養成課程の充実や専門免許状制度の導入の検討を含む）に着手し、その過程において現行制度の効果等を検証することとなりました。新たな教員免許制度の内容及び移行方針を具体化する中で、現在の教員免許更新制の在り方について結論を得ることが示されています。日頃から教育関連のニュースによく目を通しておくとともに、教職課程の履修に際しては、自分自身の教職に対する意思を再確認してください。

◆ ◆ 〈14〉 長期間大学へ通学することができない場合について ◆ ◆

在学中に休学および留学等で長期間大学へ通学することができない場合は、教育実習、介護等体験等の実施時期や教育職員免許状の取得時期が通常の学生より 1～2 年遅くなることがあるので、必ず事前に教務課まで相談に来てください。

◆◆ 〈15〉 編入生・転入生の教育職員免許状取得について ◆◆

教育職員免許状取得を希望する場合は、以下のことに留意のうえ、事前に教務課まで相談に来てください。

- (1) 単位認定・時間割編成によっては卒業時までには教育職員免許状が取得できない場合があります。
- (2) 編・転入前の大学等で取得した教職に関する科目等についてすべての科目を認定できるとは限りません。
- (3) 卒業単位に算入されない教職に関する科目を個別で認定する場合は、卒業に必要な科目の認定単位数が減少する場合がありますので注意してください。
- (4) 個別指導を受ける際は、編・転入前の大学等で該当教科の「学力に関する証明書」を入手し、教務課で指導を受けてください。

◆◆ 〈16〉 科目等履修生制度について ◆◆

将来、教員を目指す学生で、学部卒業までに教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得できなかった場合や、すでに教育職員免許状を取得していて、卒業後、新たに別教科の教育職員免許状を取得したい場合は、科目等履修生として必要な単位を修得し教育職員免許状を取得することができます。本学科目等履修生には、通学制と通信制があり、募集要件・履修できる科目等が異なります。希望者は、必ず当該年度の各募集要項を確認のうえ出願してください。なお、本学で取得可能な教育職員免許状に必要な科目がすべて科目等履修生に開講しているとは限らないので注意してください。通学制の概要は、以下のとおりです。通信制を希望する場合には、スケジュール等が異なるので通信教育課に問い合わせてください。

科目等履修生（通学制）に関するスケジュール（詳細は当該年度の募集要項で確認してください）

2月上旬～中旬	科目等履修生募集要項配布・ダウンロード開始
	▼
2月上旬～	履修科目の相談（教務課）
	▼
3月上旬～中旬	出願（教務課）
	▼
3月下旬	試験・合格発表
	▼
4月上旬	就学手続

※募集要項はインターネットでも閲覧・出力可。（「東洋大学 科目等履修生」でキーワード検索してください。）

出願にあたっての履修科目については、事前に教務課に相談してください。

※介護等体験のみの履修はできません。

社会福祉主事

社会福祉主事は、福祉事務所の相談業務を担当する職員の資格ですが、下記の「社会福祉主事の資格に関する指定科目」のうちから「3科目以上を修得」した者に任用資格が認められています。しかし、地方公務員として採用されなければ、この資格を活かすことはできません。なお、この資格を基礎とし、実務経験を持てば、児童福祉司等に任用されます。また、民間福祉施設の職員採用条件として、社会福祉主事任用資格が求められることが多いです。

(1) 資格

大学において、社会福祉に関する科目を修めて卒業した者（社会福祉法第19条第1号）。

(2) 修得すべき科目

次ページ以降の社会福祉主事の資格に関する指定科目のうちから3科目以上を修得すること。

社会福祉主事の資格に関する指定科目における本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで、当該指定科目を修得したとみなされます。但し、]がついている科目はセットで履修、修得することで1科目としてみなされません。

社会福祉主事に関する科目〈第1部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目		
社会福祉概論	社会福祉学概論A 社会福祉学概論B	行政法	行政法ⅠA 行政法ⅠB 行政法ⅡA 行政法ⅡB		
社会福祉事業史	社会福祉発達史A 社会福祉発達史B				
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職A ソーシャルワークの基盤と専門職B ソーシャルワークの理論と方法A ソーシャルワークの理論と方法B ソーシャルワークの理論と方法C ソーシャルワークの理論と方法D	経済学	経済学入門 経済学A 経済学B 経済学入門A 経済学入門B 国際公共経済A 国際公共経済B 経済学(マクロ) 経済学(ミクロ) 応用マクロ経済学 応用ミクロ経済学 経済原論A 経済原論B ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門		
社会福祉調査論	社会調査入門A		社会政策	社会政策論 社会政策A 社会政策B	
社会福祉行政論	社会福祉法制行政			経済政策	経済政策A 経済政策B
社会保障論	社会保障論 社会保障論A 社会保障論B		心理学	心理学概論 心理学概論A 心理学概論B 心理学A 心理学B	
公的扶助論	公的扶助論		社会学	社会学A 社会学B 社会学概論A 社会学概論B	
児童福祉論	児童福祉論A 児童福祉論B			教育学	教育基礎論 教育学概論
身体障害者福祉論	障害者福祉論A 障害者福祉論B		倫理学	倫理学基礎論A 倫理学基礎論B 応用倫理学A 応用倫理学B 倫理学概説A 倫理学概説B 倫理学概論A 倫理学概論B	
老人福祉論	高齢者福祉論A 高齢者福祉論B			医学一般	医学一般
医療社会事業論	医療ソーシャルワーク論			介護概論	介護概論
地域福祉論	地域福祉論 地域福祉論A 地域福祉論B				
法学	法学A 法学B				
民法	民法A 民法B 民法Ⅰ(総則)A 民法Ⅰ(総則)B 民法Ⅱ(物権)A 民法Ⅱ(物権)B 民法Ⅲ(債権総論)A 民法Ⅲ(債権総論)B 民法Ⅳ(債権各論)A 民法Ⅳ(債権各論)B 民法Ⅴ(親族・相続)A 民法Ⅴ(親族・相続)B				

- (注1) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目に掲載されていない本学開講科目は自由科目で履修してください。
- (注2)]がついている科目はセットで履修、修得することで1科目としてみなされます。

社会福祉主事に関する科目〈第2部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
社会福祉概論	社会福祉学概論A] 社会福祉学概論B]	行政法	行政法ⅠA] 行政法ⅠB] 行政法ⅡA] 行政法ⅡB]
社会福祉事業史	社会福祉発達史A] 社会福祉発達史B]		
社会福祉援助技術論	ソーシャルワーク論	経済学	経済学A] 経済学B] 経済学入門A] 経済学入門B] 経済原論A] 経済原論B]
社会福祉調査論	社会調査入門A		
社会福祉行政論	福祉行財政と福祉計画		
社会保障論	社会保障論		
公的扶助論	公的扶助論		
児童福祉論	児童福祉論		
身体障害者福祉論	障害者福祉論		
老人福祉論	高齢者福祉論	社会政策	社会政策論 社会政策A] 社会政策B]
地域福祉論	地域福祉論	経済政策	経済政策A] 経済政策B]
法学	法学] 日本国憲法]	心理学	心理学概論A] 心理学概論B] 心理学A] 心理学B]
民法	民法A] 民法B] 民法Ⅰ(総則)A 民法Ⅰ(総則)B 民法Ⅱ(物権)A 民法Ⅱ(物権)B 民法Ⅲ(債権総論)A 民法Ⅲ(債権総論)B 民法Ⅳ(債権各論)A 民法Ⅳ(債権各論)B 民法Ⅴ(親族・相続)A 民法Ⅴ(親族・相続)B]		
	社会学	社会学A] 社会学B] 社会学概論A] 社会学概論B]	
		教育学	教育基礎論 教育学概論
		倫理学	倫理学A] 倫理学B] 倫理学概論A] 倫理学概論B] 倫理学概説A] 倫理学概説B]
	医学一般		医学一般
		介護概論	介護概論

(注1) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目に掲載されていない本学開講科目は自由科目として履修してください。

(注2)]がついている科目はセットで履修、修得することで1科目としてみなされます。

国際地域学部 学生支援プログラム

海外国際地域学研修

国際地域学部では、海外国際地域学研修を実施しています。この研修は、海外諸国の都市・地域諸問題、あるいは観光資源および開発について、実地でそれらの理解を深め、現地の文化や歴史にふれるとともに、語学力の向上を目的とした国際地域学部独自のプログラムです。研修の期間や目的、成果により、履修科目や認定科目が設定されています。海外国際地域学研修に参加する場合は、事前に「海外安全・危機管理研修」または「国際観光学研修Ⅰ」（講義科目）を履修してください。

なお、各研修プログラムは過去の実績および今後の計画に基づき記載されていますが、研修先および当学部の研修運営上の事情、研修先の治安の悪化あるいは研修プログラムが募集人員に満たない等の場合は中止となることもあります。

※年度によって実施する研修コースは異なります。詳しくは4月および7月に開催される説明会に出席してください。

※研修費は目安です。実施時期の為替レートにより変動します。

1) 短期研修

◆研修参加に当たっての注意事項◆



<説明会>

研修に興味のある人や参加を希望する人は4月および7月に開催される説明会に参加してください。研修の具体的な内容の説明や、前年の参加者の体験談などを紹介します。

※説明会の日程は掲示、ToyoNet-G等でお知らせします。

<オリエンテーション、事前・事後学習>

出発までの渡航準備、現地での生活の説明ならびに事前学習のオリエンテーションを行います。また、帰国後は報告書作成などの事後学習や報告会を行います。

<事前履修科目>

研修参加希望者は、あらかじめ「海外安全・危機管理研修」または「国際観光学研修Ⅰ」（講義科目）を履修（各自でWeb履修登録）してください。

本科目は研修参加前に一度単位修得していれば、再度履修する必要はありません。

所属学科	事前履修科目名
国際地域学科	
国際地域専攻	海外安全・危機管理研修 2単位
地域総合専攻	
国際観光学科	国際観光学研修Ⅰ 2単位

◆◆事後履修および単位認定について◆◆

■事後履修科目

研修参加者は、研修参加直後のセメスタに以下の科目（1科目2単位）を履修することができます。研修実施校から送付される成績評価、事前・事後学習の状況等をもとに評価された成績が付与されます。

コース名	事後履修科目名
・フィリピン大学セブ校(UPセブ) ・チュラロンコン大学 ・建国大学 ・カーティン大学 ・サンカルロス大学 ・マラ工科大学・マレーシア科学大学	国際地域学研修Ⅱ 2単位 国際地域学研修Ⅲ *1 2単位 国際地域学研修Ⅳ *1 2単位
・ポーンマス大学 ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校 ・ミュンヘン大学 ・ネルソンマルポロ工科大学	国際観光学研修Ⅱ 2単位 国際観光学研修Ⅲ *2 2単位 国際観光学研修Ⅳ *2 2単位

- *1 国際地域学研修Ⅲ、Ⅳはそれぞれ上段記載科目を修得済みの場合のみ履修可能。
 (Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修・単位修得すること。)
- *2 国際観光学研修Ⅲ、Ⅳはそれぞれ上段記載科目を修得済みの場合のみ履修可能。
 (Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修・単位修得すること。)

■単位認定科目

「外国語系教育科目」から、下記科目を単位認定により修得することができます。所定手続きを行い、教授会で承認された成績評価（T：Transfer）が付与されます。

コース名および 修得上限単位数	国際地域学科 国際地域専攻	国際観光学科	国際地域学科 地域総合専攻
カーティン大学 <2単位> サンカルロス大学 <2単位> マラ工科大学・ マレーシア科学大学 <2単位>	英会話Ⅳ 1単位 ビジネス英語Ⅰ 1単位 ビジネス英語Ⅱ 1単位 一括認定単位(選択外国語) 1単位 一括認定単位(選択外国語) 2単位	Basic Writing 1単位 一括認定単位(選択外国語) 1単位 一括認定単位(選択外国語) 2単位 Reading and Vocabulary A ※ 1単位 Reading and Vocabulary B ※ 1単位 English Communication A ※ 1単位 English Communication B ※ 1単位 English for Tourism Industry I ※ 1単位 English for Tourism Industry II ※ 1単位 English Tourism Projects and Presentation ※ 1単位 Applied Reading ※ 1単位 ※再履修の場合のみ認定対象となります。	観光英語演習Ⅰ 2単位 観光英語演習Ⅱ 2単位 一括認定単位(選択外国語) 1単位 一括認定単位(選択外国語) 2単位
ポーンマス大学 <1単位> カリフォルニア州立 工科大学ポモナ校 <1単位> ネルソンマルポロ 工科大学 <2単位>	英会話Ⅳ 1単位 ビジネス英語Ⅰ 1単位 ビジネス英語Ⅱ 1単位 一括認定単位(選択外国語) 1単位 一括認定単位(選択外国語) ※ 2単位 ※ネルソンマルポロ工科大学コース参加者のみ申請可能です。	Basic Writing 1単位 ビジネス英語Ⅰ 1単位 ビジネス英語Ⅱ 1単位 一括認定単位(選択外国語) 1単位 一括認定単位(選択外国語) ※ 2単位 ※ネルソンマルポロ工科大学コース参加者のみ申請可能です。	一括認定単位(選択外国語) 1単位 一括認定単位(選択外国語) ※ 2単位 ※ネルソンマルポロ工科大学コース参加者のみ申請可能です。
ミュンヘン大学 <1単位>	一括認定単位(選択外国語) 1単位		

※フィリピン大学セブ校(UPセブ)コース、チュラロンコン大学コース(2週間)、建国大学コースは、外国語系教育科目の単位認定はありません。
 ※認定科目に変更が生じた場合は、別途掲示等でお知らせします。

■事後履修科目および単位認定科目の申請方法

- 1) ToyoNet-G から「事後履修科目申請書兼単位認定申請書」をプリントアウトし、必要事項を記入してください。
- 2) 事後履修科目および単位認定希望科目以外のWeb履修登録を終えた後、「履

修登録確認表」をプリントアウトしてください。なお、その際の当該学期の履修単位数はこれらの申請科目を含め上限単位数を超えないものとします。

- 3) 「事後履修科目申請書兼単位認定申請書」および「履修登録確認表」を申請学期の正規履修登録期間内に教務課窓口に提出してください。

なお、「事後履修科目」は参加直後の学期のみ、「単位認定科目」は研修参加後、4セメスタ以内の申請が認められます。

◆◆研修概要◆◆

研修コースや開講時期は年度によって変わる場合があります。

国際 地域 学科 ※	サンカルロス大学(フィリピン)	
	研修の目的	この研修は主に英語研修を中心とし、語学力向上を目指す。また、一部観光学と地域学に関する専門分野の入門的知識習得のための研修・視察・NGO活動を行う。フィリピンでは英語が公用語であり、大学ですべての授業が英語で行われる。研修期間中は、サンカルロス大学の学生との深い交流体験もできる。
	プログラム内容(例)	・英語授業1日60分授業(3コース×週5日) ・現地学生と英会話練習(1対1) ・文化交流専門科目授業(フィリピン社会事情、ホテル観光調査・見学、NGO活動等)
	宿泊場所	ホテル
	研修期間	4週間
	研修費予定	280,000円
	マラ工科大学・マレーシア科学大学(マレーシア)	
	研修の目的	マラ工科大学とマレーシア科学大学で主に語学研修を中心とし、語学力向上を目指す。また、研修や視察、課外活動を通じて多民族・多文化国家のマレー文化を体験し、理解を深める。
	プログラム内容(例)	午前：英語授業1日60分授業3コース×週5日 午後：現地大学生と英会話の練習(1対1)・文化交流 専門科目授業：マレーシア社会事情、ホテル観光に関する調査・見学・NGO活動を含む
	研修費予定	350,000円
建国大学(大韓民国)		
研修の目的	近年急成長を遂げている韓国ソウルの発展について学習する。韓国の経済発展の家徴である、ソウルの都市文化構造、住宅事情等についての講義を受講すると同時に、NGO訪問等のフィールド調査を通して、韓国文化および社会への理解を深める。	
プログラム内容(例)	・韓国文化についての講義 ・基礎韓国語授業 ・NGO訪問 ・歴史施設等見学 参加者はフィールドワーク等を通して、調査・学習した成果を研修中に発表。	
宿泊場所	寮	
研修期間	2週間	
研修費予定	200,000円	
フィリピン大学セブ校(UPセブ)(フィリピン)		
研修の目的	アジアの都市社会の特質を、講義とフィールドワークを通して理解する。講義には、現地の大学教員に加えて、第一線で活躍する自治体やNGO職員が当たる。講義、フィールドワーク、成果発表などすべての場面において英語を使用する	
プログラム内容(例)	第1週：大学での講義(午前)、現地見学(午後) 第2週：講義とフィールドワーク、ならびに調査の成果報告。週末はボホール島旅行。	
宿泊場所	ホテル	
研修期間	2週間	
研修費予定	190,000円	
カーティン大学(オーストラリア)		
研修の目的	総合的な英語プログラムおよびホームステイを通して実践的な語学力アップを図るとともにオーストラリアの歴史および文化への理解を深めることを目的とする。	
プログラム内容(例)	前半：英語授業 1日4時間(週に2日のConversation Club) 後半：専門授業 1日4時間(週に2日のConversation Club) その他、フィールドワーク、ボランティア活動、エクスカージョン	
宿泊場所	ホームステイ	
研修期間	5週間	
研修費予定	600,000円	
チュラロンコン大学(タイ)		
研修の目的	チュラロンコン大学の学生との交流やフィールドワーク等を通して、タイの文化や歴史への理解を深めることを目的とする。	
プログラム内容(例)	・チュラロンコン大学の学生との交流 ・チェンマイ地域へのコミュニティ調査 ・タイ王室による地域復興プロジェクトへの参加 参加者は調査を行った結果を発表。	
宿泊場所	大学宿泊施設およびホテル	
研修期間	2週間～3週間	
研修費予定	240,000円	

※国際観光学科の学生も参加可能です。

国際観光学科※	ボーンマス大学(イギリス)	
	研修の目的	英語力の強化と英国の観光資源、観光政策等の観光基礎科目の受講、また英国の生活と文化を知ることが目的とする。
	プログラム内容(例)	第1週～第2週 午前：英語授業、午後：観光基礎科目授業 第3週 終日観光基礎科目授業、観光資源視察調査
	宿泊場所	ホームステイ
	研修期間	3週間
	研修費予定	450,000円
	カリフォルニア州立工科大学ポモナ校(アメリカ)	
	研修の目的	アメリカの観光学科を持つ大学で就業体験をすることと、英語でのコミュニケーション能力を高めることを目的とする。
	プログラム内容(例)	午前：英語授業受講 午後：専門ワークショップ等への参加、キャンパス内のホテル・レストランで就業体験 週末：エクスカーション
	宿泊場所	キャンパス内ホテル
	研修期間	3週間
	研修費予定	560,000円
	ネルソンマルボロ工科大学(ニュージーランド)	
	研修の目的	語学力の向上を目指すとともに、最終週には現地の会社等で、ホスピタリティ・ツーリズムに関する就業体験を行う。
	プログラム内容(例)	第1週～第3週 午前：英語学習 午後：フィールドワーク 第4週 就業体験
	宿泊場所	ホームステイ
研修期間	4週間	
研修費予定	600,000円	
ミュンヘン大学(ドイツ)		
研修の目的	ミュンヘン大学付設のプログラムに参加することで語学力の向上を目指す。またホームステイを通してドイツ人の生活に触れ、ヨーロッパ文化を異文化として受容する素地を得ることを目的とする。	
プログラム内容(例)	月～金：午前：ドイツ語研修(4コマ) 午後：ドイツ事情と観光に関連した講義と見学 週末：エクスカーション	
宿泊場所	ホームステイ	
研修期間	3週間	
研修費予定	450,000円	

※国際地域学科の学生も参加可能です。

2) 長期留学

ダグラスカレッジ(カナダ・ブリティッシュコロンビア州)長期留学プログラムがあります。4ヶ月から1年間の長期留学プログラムで、留学先では学生の語学力や目的に合わせ、学部授業または附属の語学学校で授業を履修することができます。詳しくは、各学期に開催される説明会に出席してください。また、単位認定についてはP.164を参照してください。

【問い合わせ先】

国際地域学部教務課(6号館1階)

特別長期インターンシップ制度

1 セメスタ以上（通例は1 セメスタ間）に及ぶ長期インターンシップにおいて、休学せずに単位認定や単位互換を行い、スムーズに学修を進めてもらう制度です。詳しくは説明会等でお知らせします。

◆◆国連ユースボランティア（UNYV）◆◆

UNV（国連ボランティア計画）より指定された国や地域へ派遣され、約5ヶ月間の就労体験をします。業務内容は派遣先により異なり、事務作業やフィールドワーク等の業務に携わりながら、就職に対する意識やリーダーシップを身に付けることを目的としています。

◆◆ワシントンセンター（TWC）◆◆

ワシントン DC 地区の政府機関、国際機関、民間企業で15週間の就労体験をし、国際感覚を身に付けることを目的としています。インターン生は就業と同時に講義を受講し、知識を深めます。また、TWCにおけるリーダーシップ・フォーラムに出席し、ワシントンの財政界リーダーによる講義を受ける予定です。

問い合わせ先

国際地域学部教務課（6号館1階）

国際連携本部事務課（雨水会館1階）

SFS (Short-term Field Study)

◆◆目的◆◆

SFS (Short-term Field Study) は2年生以上を対象とした短期研修です。

真のグローバル人材を育成するため、国際地域学部の教育目的である現場主義に立脚した「地域づくり」を徹底することと、学生一人ひとりが「哲学」を獲得することを目的し、この研修を行います。

4～6名を単位とする小規模のワーキンググループで、教員の引率なしで行うことが特徴で、海外研修の場合は、現場における調査と国際交流を行います。

研修を通じ、現場の問題と課題の理解を深め、自立心とチームワーク力を高めます。

◆◆注意事項◆◆

下記の点を理解したうえで、履修してください。

1. 参加者は「地域フィールド調査研究」「国際フィールド調査研究」を履修する必要があります。
※対象コースについては各年度のはじめにお知らせします。
2. 履修人数が限られているため、希望者は必ず1回目の授業に参加してください。
3. 航空券・宿泊場所は、教員の指導の下、参加者が費用を負担して手配します。
また、海外旅行保険は大学指定のものに加入し、参加者が保険料を負担します。
4. 研修先の情勢等悪化を考慮し、研修実施を中止する場合があります。

<参考・2015年度実施プログラム>

- 1) 国内研修（石川県能登地区）
 - ・ 4泊5日（授業期間内）で実施
 - ・ 履修上限 24名
 - ・ 「地域フィールド調査研究」の履修が必要
- 2) 海外研修（タイ・バンコク）
 - ・ 10日間（授業期間内）で実施
 - ・ 履修上限 24名
 - ・ 「国際フィールド調査研究」の履修が必要

テンブル大学ジャパンキャンパス学生交換プログラム

国際地域学部はテンブル大学ジャパンキャンパス（東京都港区）と学生交換協定を締結しています。この制度により、条件を満たしている国際地域学部生はテンブル大学ジャパンキャンパスで科目を履修し、修得した単位を東洋大学の単位として認定することができます。

テンブル大学ジャパンキャンパスは本校をアメリカ・ペンシルベニア州にもつ総合大学で、文部科学省より「外国大学の日本校」と指定されており、授業はすべて英語で行われます。国際地域学部ではテンブル大学ジャパンキャンパスでの科目履修を「国内留学」として位置付け、奨励しています。

1. 履修資格

下記「a」「b」**両方の条件を満たす者**

- a. TOEFL スコア 525 または IELTS スコア 5.5 相当以上
- b. 2年生以上、かつ、東洋大学での前年度までの GPA が 2.0 以上

2. 履修学期（テンブル大学学年暦）

- 1) 夏学期：5月下旬～7月下旬（12週）
- 2) 秋学期：8月下旬～12月下旬（15週）
- 3) 春学期：1月中旬～4月下旬（15週）

3. 出願期間

- 1) 夏学期：4月下旬学内出願締切
- 2) 秋学期：7月下旬学内出願締切
- 3) 春学期：11月下旬学内出願締切

4. 出願方法

上記出願期日までに、所定の書類を提出していただきます。

各学期の募集要項は、学内掲示および ToyoNet-ACE にてご案内します。

④ 学部掲示板 p.7
④ ToyoNet-ACE p.8

5. 履修単位

テンブル大学での履修単位数と本学での同学期履修単位数の合計が、本学の指定する履修上限単位数を超えないようにしてください。

6. 単位認定

テンブル大学での履修学期終了後に発行される成績表をもとに単位認定を行います。単位が認定された際の成績評価は「T」となります。

7. その他

- ・各学期の時間割は、募集要項と同時に公開します。
- ・テンブル大学での授業料はかかりませんが、通学に伴う交通費やテキスト代等は自己負担となります。

課外特別講座

◆学部統一英語試験◆

国際地域学部では、総合的な英語教育の一環として、国際地域学科国際地域専攻および国際観光学科の1・2年生に対し「学部統一英語試験」(TOEIC-IP)の受験を義務づけています。各人が現在の英語力を知り、目標達成に向かって努力する際の指針として役立ててもらうことが目的で、受験料は大学が負担します。

実施時期と回数：入学時・第1学年終了時・第2学年終了時の計3回

なお、この試験を受験しなかった学生については、必修英語科目の単位が認定されない場合や、新学年での必修英語科目の履修が認められない場合があります。詳細は各試験の実施前に、学部掲示板やToyoNet-Gを通じてお知らせします。

④ 学部掲示板 p.7

◆旅行業務取扱管理者講座◆

国内・総合旅行業務取扱管理者資格とは旅行業界唯一の国家資格のことです。旅行会社の支店・営業所の責任者として旅行業務を取り扱うため必要な国家資格です。5月下旬～8月の水・木曜日、および8月の夏季休暇(昼間)、9月、10月(総合のみ)を利用して集中的に学習します(講座の実施曜日、時間帯は予定です)。

なお、講座は演習問題+解答・解説の形式で行います。受講希望者は、事前学習を行うか、以下の授業を履修してください。

《国内》	《総合及び国内・総合》
・旅行業法論	・旅行業法論
・人文地理学B	・人文地理学B
・国内運賃料金	・国内運賃料金
	・国際航空運賃
	・海外実務
	・海外観光資源

国家試験は年1回行われ、国内旅行業務取扱管理者試験(主催：社団法人全国旅行業協会)は9月、総合旅行業務取扱管理者試験(主催：社団法人日本旅行業協会)は10月です。(2016年4月1日現在)

スケジュール(予定)

《国内》	13日間	1回2時間(但し、夏季休暇時は異なる)
《総合》	18日間	1回2時間(但し、夏季休暇時は異なる)
《国内・総合》	30日間	1回2時間(但し、夏季休暇時は異なる)
※《国内》、《総合》とも上記の他に模擬試験および解答・解説を行います。		

受講料(予定)

《国内》	10,000円
《総合》	10,000円
《国内・総合》	18,000円
※上記受講料(模擬試験料含む)はこれまでの実績です。受講予定者数によって受講料が異なります(各年変動)。	

定員

《国内》 250名
《総合》 100名

説明会

旅行業務取扱管理者試験特別講座説明会を4月上旬(予定)に行います。申込方法・講座内容等の説明を行いますので受講希望者は必ず参加してください。

申し込み

4月中旬 自動証明書発行機にて、受講料納入。

外国語単位認定制度

◆国際地域学科英語単位認定制度◆

1. 対象学生
国際地域学部国際地域学科在学学生（2015年度入学生より）
2. 制度の趣旨
必修科目への出席が免除されることによって空いた時間を、さらに上級あるいは別種の資格取得のための勉強にあててもらうことを目的とした制度です。

3. 単位認定基準

資格の種類	英検	国連英検	TOEIC (含 IP)	TOEFL (ITP)	TOEFL (iBT)	IELTS	成績評価	
認定基準	ランク1	1級	特A級	990～920点	677～607点	120～101点	9.0～7.5	S
	ランク2	準1級	A級	919～650点	606～525点	100～68点	7.0～5.5	A
	ランク3			649～550点	524～490点	67～55点	5.0	A

4. 認定対象科目

国際地域専攻

ランク1：下記1～2年次必修科目7科目のうち7単位まで。

1年次必修科目 「英会話Ⅰ」（1単位）・「英会話Ⅱ」（1単位）
「英文読解Ⅰ」（1単位）・「英文読解Ⅱ」（1単位）
「LL演習Ⅰ」（1単位）・「LL演習Ⅱ」（1単位）

2年次必修科目 「英会話Ⅲ」（1単位）

ランク2：下記1年次必修科目4科目のうち4単位まで。ただし、1学期につき2単位までしか申請できません。

1年次必修科目 「英会話Ⅰ」（1単位）・「英会話Ⅱ」（1単位）
「LL演習Ⅰ」（1単位）・「LL演習Ⅱ」（1単位）

ランク3：下記1年次必修科目4科目のうち2単位まで。ただし、1学期につき1単位までしか申請できません。

1年次必修科目 「英会話Ⅰ」（1単位）・「英会話Ⅱ」（1単位）
「LL演習Ⅰ」（1単位）・「LL演習Ⅱ」（1単位）

※外国人留学生については、いずれのランクであっても、必修科目の「英会話Ⅰ」および「英会話Ⅱ」の計2単位までが認定の対象科目になります。

※すでに修得して成績評価がついている科目については申請できません（成績の上書き不可）。

地域総合専攻

ランク1および2：「総合英語演習Ⅰ」（2単位）・「総合英語演習Ⅱ」（2単位）のうち2科目4単位まで

ランク3：「総合英語演習Ⅰ」（2単位）または「総合英語演習Ⅱ」（2単位）の1科目2単位のみ

※すでに修得して成績評価がついている科目については申請できません（成績の上書き不可）。

上書き不可)。

5. 資格の取得期日について

申請日より2年以内に認定された資格を対象とします。また、本学入学以前に取得したものについては、本学入学前1年以内かつ申請日より2年以内に認定された資格を対象とします。

6. 申請時提出書類

- (a) 国際地域学科英語単位認定申請書
- (b) 各検定試験のスコアコピー、スコアレポートのコピー、スコア認定書のコピー、合格証書のコピー、試験結果通知書コピーなど

7. 申請期間

各学期の正規履修登録期間

※なお、単位認定希望科目の Web 履修登録は行わないでください。また、当該学期の履修単位数が単位認定希望科目を含め上限単位数を超えないものとします。(登録の上限が22単位で2単位を申請する場合、Web登録できるのは20単位まで。)

8. 申請先

国際地域学部教務課窓口 (6号館1階)

9. 成績評価

評価は国際地域学部教授会の承認を得て、ランク1の認定については「S」とし、ランク2および3認定については「A」とします。

10. 学期を超えた申請について

単位認定は申請学期に開講している科目が対象です。よって、一つの資格による単位認定が複数学期にわたる場合、学期ごとに申請を行う必要があります。

11. 追加申請について

- ①本制度により単位認定を受けた後に、新たに上級ランクの資格を取得した場合は、再度単位認定を申請することができます。その場合は以前に認定された単位を差し引き、増加分を追加で認定します。(つまり、TOEIC550点によって2単位を認定された場合、その後650点を取得しても新たに4単位の認定を申請することはできません。その場合は差し引いた2単位の申請が可能です。)
- ②同一のランクにおいて認定する単位は一度限りとし、他の資格を取得しても追加申請はできません。(つまり、英検準1級によって4単位を認定された場合、TOEICの650点を取得しても、新たに単位の認定を申請することはできません)

12. 単位認定までの流れ

- ①申請 …………… 資格の認定日が有効期限内であるか確認の上、必要書類をそろえて申請してください。
- ②単位認定 …… 国際地域学部教授会で審議された後、結果を掲示にて通知します。
- ③成績確認 …… 学期末の成績発表時に認定された科目に正しく評価が記載されているかを確認してください。

◆◆国際観光学科英語単位認定制度◆◆

1. 対象学生

国際地域学部国際観光学科 2012 年度以降入学生

2. 制度の趣旨

必修科目が目的としている語学力をすでに有しており、さらに上級レベルを目指して勉強をするための時間確保を目的とした制度です。

3. 単位認定基準

試験の種類	通訳案内士(英語)	英検	国連英検	TOEIC	TOEFL (ITP)	TOEFL (iBT)	観光英検	IELTS
認定基準	合格	準1級以上	A級	770点以上	520点以上	70点以上	1級	5.5以上

4. 認定対象科目

2年次履修科目「English Tourism Projects and Presentation」(春)
「Applied Reading」(秋) 合計2単位

5. 資格の取得期日について

入学以前、または入学後1年次に、かつ申請日以前2年以内に取得した資格とする。ただし、2年次春学期に取得した場合は「Applied Reading」1単位を認定する。

6. 申請時提出書類

- (a) 国際観光学科英語単位認定申請書
- (b) 各検定試験の結果通知書コピー

7. 申請期間

各学期の正規履修登録期間

8. 申請先

国際地域学部教務課窓口 (6号館1階)

9. 成績評価

国際地域学部教授会の承認を得て、「A」とします。

10. 学期を超えた申請について

単位認定は申請学期に開講している科目が対象です。1つの資格による単位認定が複数学期にわたる場合、学期ごとに申請を行う必要があります。

11. 単位認定までの流れ

- ①申請……………資格の認定日が有効期限内であることを確認のうえ、必要書類をそろえて申請してください。
- ②単位認定……国際地域学部教授会で審議された後、結果を掲示にて通知します。
- ③成績確認……成績発表時に認定された科目に正しく評価が記載されているかを確認してください。

◆◆外国語単位認定制度（英語を除く）◆◆

1. 対象学生

国際地域学部 2012 年度以降入学生

2. 制度の趣旨

大学入学以前にも留学や語学学習の可能性が広がっています。学び始めた語学の継続学習を促し、上級で学ぶ機会を増やすことを目的とします。

3. 単位認定基準

試験の種類	ドイツ語検定 (独検)	フランス語検定 (仏検)	中国語検定 (中検)	ハングル検定
認定基準	4 級以上	4 級以上	3 級以上	4 級以上
認定科目と単位数	「ドイツ語Ⅰ」 「ドイツ語Ⅱ」 2 科目 2 単位	「フランス語Ⅰ」 「フランス語Ⅱ」 2 科目 2 単位	「中国語Ⅰ」 「中国語Ⅱ」 2 科目 2 単位	「ハングルⅠ」 「ハングルⅡ」 2 科目 2 単位

※母語での認定はできません。

4. 資格の取得期日

大学入学前及び在学期間中

5. 提出書類

- (a) 語学科目認定申請書
- (b) 各検定試験の結果通知書のコピー

6. 申請期間

各学期の履修登録手続期間

7. 申請先

国際地域学部教務課窓口（6号館1階）

8. 成績評価

国際地域学部教授会の承認を得て、「A」とします。

9. 学期を超えた申請について

単位認定は申請学期に開講している科目が対象です。1つの資格による単位認定が複数学期にわたる場合、学期ごとに申請を行う必要があります。

10. 単位認定までの流れ

- ①申請 資格の認定日が有効期限内であることを確認のうえ、必要書類をそろえて申請してください。
- ②単位認定 国際地域学部教授会で審議された後、結果を掲示にて通知します。
- ③成績確認 成績発表時に認定された科目に正しく評価が記載されているかを確認してください。

国際地域学部語学賞

国際地域学部では、学生の積極的な語学学習の奨励をするため、“語学賞”を授与しています。

“語学賞”授与の対象となる学生は、語学の習得において顕著な成果を収めた者あるいは語学力を生かして学内・学外で活発な国際交流活動を行った者とし、その具体的な選定基準は外国語教育委員会が決めることとなります。また、候補者の募集期間は例年12月頃予定していますが、詳細は掲示で告知します。

語学関係では、その他に各言語のスピーチコンテスト（「日本語弁論大会」を含む）も毎年開催され、優秀な発表者はその都度表彰が行われています。

以上のことについて確認したいことがあれば、各学科の語学の教員に問い合わせてください。

資格実務科目

1. 資格実務科目設置の目的

資格実務科目は、社会における実務あるいは公開された実力テスト（技能検定・資格試験）に挑戦し、自らの実力を錬磨したことを評価するものです。授業履修と同等の価値のあるものについて単位を付与し、学生の自力学修の促進を図ります。学んだことを実践に移すということは、東洋大学の学祖の精神にも適うものです。

また、この科目は国際地域学科におけるインターンシップ単位認定制度を兼ねる科目になっています。

ただし、語学関係の単位認定、すなわち語学の実技資格、能力検定および国内外の他大学における語学研修等に関する単位の認定は、それぞれを対象とする規定にもとづき、語学関係の科目において扱うこととし、資格実務科目の対象とはしません。

2. 資格実務科目の種類とその概要

(1) 経済社会実務

- a： 社会的・経済的活動を通じて、一定のテーマの下にレポートをまとめて提出し、評価に値する学習成果をあげたものを対象とします。
- b： 社会的評価の定まった職業資格等の実技能力検定等に挑戦し、優秀な成績を修めたものを対象とします。

(2) 地域活動実習

原則として、地域のため社会的活動（ボランティア活動を含む）を通じて、一定のテーマの下にレポートをまとめて提出し、評価に値する学習成果をあげたものを対象とします。

(3) 国際活動実習

- a： 海外において上記(1)aと(2)の項目に準ずる活動を行い、一定のテーマの下にレポートをまとめて提出し、評価に値する学習成果をあげたものを対象とします。国内における活動であっても、海外の事業に直接関係し国際的活動への貢献が著しい内容であれば、検討の上この科目の対象とします。
- b： 国際地域学科が主催あるいは公認した海外での研修（語学研修は除く）のうち、この科目の趣旨に適したものに参加し、それを終了して評価に値する学習成果をあげたものを対象とします。

(4) 情報実務技術

- a： 情報ネットワーク・データベースの構築等、情報技術分野の活動で地域社会などへの貢献で著しい実績をあげ、一定のテーマの下にレポートをまとめて提出し、評価に値する学修成果をあげたものを対象とします。
- b： 情報技術分野において、社会的評価の定まった実技能力検定等に挑戦し、優秀な成績を修めたものを対象とします。

3. 資格実務科目の履修方法

経済社会実務、地域活動実習、国際活動実習、情報技術実務の各科目の単位数はそれぞれ2単位4レベルで、全体で32単位が用意されます。学生は単位修得可能な科目を履修することができます。

これらの科目の単位は、履修の申請が受理されたセメスタの次のセメスタにおいて、成績評価が付与されます。

資格実務科目は、次の2コースに分けられます。

- A) 実務活動・実習コース：経済社会実務 a、地域活動実習、国際活動実習 a、情報実務技術 a
- B) 実務業績・資格認定コース：経済社会実務 b、国際活動実習 b、情報実務技術 b

A) 実務活動・実習コースの場合

履修登録前	実習参加前	各学期に開催するガイダンスに出席。
		各自で実習先を選定のうえ、「実習実施計画書」を担当教員に提出。
		履修対象活動として承認されると、許可印が押印された上記「実習実施計画書」のコピーを担当教員より受領。
		実習先に「実習生受入れ承諾書」を記入いただき、担当教員に提出。
		担当教員による事前指導を受ける。
履修登録後	実習参加	実習参加。参加日ごとに「実習記録」を記入。 (実習中も指導教員が必要・状況に応じて適宜指導します)
		原則実習終了1ヶ月以内に、下記書類を指導教員へ提出。 ①「レポート」(任意書式) ②「実習記録」 ③「実習生に対する評価書」(実習先が記入)
履修登録後	実習終了後	Web 履修登録(各自で該当科目を履修登録期間に登録してください)
		資格実務・実習活動報告会での発表・振り返り
		①～③をもとに、成績評価(成績発表時に確認)

※上記の手続きを取らずに、インターンシップ等終了後に「実習実施計画書」を提出しても単位は認定されません。インターンシップ等で単位を取得する場合は、必ず事前に相談してください。

この科目の履修申請は、原則として随時受け付けますが、4年次の最後のセメスタでは履修は認められません。

B) 実務業績・資格認定コースの場合

履修登録前	資格取得前 または 資格取得後	各学期に開催するガイダンスに出席し、対象となる資格を確認する。
履修登録期間	資格取得後	『単位認定申請書』を担当教員に提出。 ※資格の取得証明書、受験した試験の成績証明書、参加した研修等の成績証明書またはそれに代わるもの(原本)のいずれかを添付してください。 ※申請受付期間は、各学期別途掲示等で周知します。
履修登録後		成績評価(成績発表時に確認)

<科目概念>

2. であげた(1) 経済社会実務、(2) 地域活動実習、(3) 国際活動実習、(4) 情報技術実務、の科目名にはそれぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳがあります。

- ⅠからⅣになるにしたがって、よりレベルの高い活動内容を求められます。ここでの“レベルが高い”とは、活動においてより重要な役割を担うことを意味します。
- またⅠからⅣは活動の多様さも示します。ここでの多様とは、活動の場所が異なることや(1)から(4)までの同じ科目に該当するが活動の内容が異なることを意味します。
- 資格認定の場合には、ⅠからⅣの資格内容の多様さを意味します。

なお、ⅠからⅣについては、レベルの高さと内容の多様さの組み合わせもあります。

4. ガイダンス

資格実務科目の履修については、各学期にガイダンスを実施するので、履修希望者は必ず出席してください。さらに質問等がある場合は、教務課窓口または担当教員に尋ねてください。

なお、申請書類は、ToyoNet-Gにて配信しています。各自ダウンロードして使用してください。

大学院開講科目履修制度

国際地域学部では、大学院国際地域学研究科との連携を強め、大学院への進学を希望する学生に対して学部時から専門的な学修の継続を図ることを目的として、国際地域学部4年生が大学院開講科目を履修できる「大学院開講科目履修制度」を導入しています。本制度の概要は以下のとおりですので、希望する学生は下記の事項をよく読んで必要な手続きをしてください。

◆◆制度の概要◆◆

1. 本制度は、国際地域学部4年生が本学大学院国際地域学研究科の開講科目を履修できる制度です。
2. 本制度により修得した単位は、本学大学院国際地域学研究科博士前期課程に入学時に、所定の手続きを取ることで、大学院の単位として認定されます。
3. 本制度を利用できるのは下記の項目を満たす者としてします。
 - (1) 国際地域学部4年次に在学していること。
 - (2) 国際地域学部卒業後、国際地域学研究科博士前期課程に進学する意志があること。
 - (3) 第7セメスタ(4年次春学期)において履修する場合は、卒業に要する単位102単位以上を修得済みであること。第8セメスタ(4年次秋学期)において履修する場合は、卒業に要する単位数120単位以上を修得済みであること。
 - (4) 卒業論文指導教員の推薦があること。
 - (5) 受講科目担当教員の承諾を得ていること。
4. 本制度で履修できる大学院の科目は、当該セメスタに国際地域学研究科博士前期課程で開講されている講義および演習科目とする。
5. 本制度により履修する科目は、学部では自由科目として取り扱い、学部卒業時の修得単位には含めない。また、年間履修単位数の制限範囲内で履修する。
6. 本制度で履修することのできる科目数は、4年次在学中に10単位以内とする。
7. 本制度により履修した科目の評価は、学部の成績原簿、成績表、成績証明書に記載する。学生は国際地域学研究科入学時に、その記録を添えて単位認定の申請ができる。

◆◆申し込み手続きについて◆◆

「大学院開講科目履修制度」申し込み用紙に必要事項を記入の上、当該セメスタの履修登録期間内に教務課窓口へ提出してください。申し込み用紙は正規履修登録期間内に教務課窓口にて配布します。

海外留学・国際交流プログラム

海外留学プログラム

◆海外留学プログラムの概要◆

本学には、休学することなく留学できるプログラムとして、「交換留学」「認定留学」「協定校語学留学」「短期語学セミナー」があります。

プログラムの概要は以下のとおりです。

◎1年

留学先機関によって学期制度や学期の日程が異なるため、トータルで1年間の留学期間を指す言葉として表していません。

◎学部留学

現地で正規課程の授業を履修する留学

◎語学留学

海外の大学附属の語学学校で語学を集中的に学ぶ留学

プログラム名	①交換留学	②認定留学	③協定校語学留学	④短期語学セミナー
留学形態	学部留学	学部留学	語学留学	語学留学
期間	1学期(※) または1年 <small>※アメリカ・ISEP留学のみ</small>	1学期または1年	3ヶ月または 6ヶ月	1～2ヶ月
出発時期	第Ⅰ期：2～3月 第Ⅱ期：8～9月	留学先大学により 異なる	春学期：2～3月 秋学期：8～9月	夏季および 春季休暇中
語学条件	あり		なし	
単位認定	申請可能(単位認定については、p.164を参照)			
東洋大学留学 奨学金(給付型)	あり		なし	
東洋大学海外留学 促進奨学金(給付型)	グローバル リーダー型	アクティブ型		ファースト ステップ型

Point

上記の全ての留学プログラムは単位認定の申請が可能です。

単位認定の申請手続きについては、国際教育センターのホームページを参照してください。申請する場合には、必ず教務課に相談してください。

◆東洋大学独自の奨学金◆

東洋大学では、海外での留学、ボランティア、インターンシップの支援を目的とし、東洋大学独自の留学のための奨学金を設けています。

1. 東洋大学留学奨学金(給付型・申請不要)

留学が決定した交換留学生・認定留学生、全員に給付されます。給付額は、交換留学奨学金が本学の授業料相当額(留学期間が1学期の場合は半額)、認定留学奨学金は本学の年間授業料半額相当です(留学期間が1学期の場合は1/4)。協定校語学留学奨学金は、出願時に所定の語学条件を満たした場合、本学の授業料1/4相当額が給付されます。授業料減免を受けている場合は、減免後の授業料相当額が支給されます。いずれの奨学金も申請不要です。

2. 東洋大学海外留学促進奨学金(給付型・要申請)

奨学金申請時の語学力に応じ、海外の留学、ボランティア、インターンシップ等に参加する学生を対象に給付される奨学金です。留学の種類によりグローバルリー

ダー型、アクティブ型、チャレンジ型、ファーストステップ型の4つのタイプから選べます。「グローバルリーダー型」をのぞき1. 東洋大学留学奨学金と併給可能です。また、海外留学促進奨学金は上記の他にも対象プログラムがあります。支給金額および出願方法は奨学金の種類や語学スコアによって異なりますので、詳細は国際教育センターのホームページや募集要項等で確認してください。

◆◆「留学の手引き」(留学費用や奨学金申請手続きなどの留学前準備)◆◆

留学に係る費用や協定校の詳細情報、申請可能な奨学金の種類、留学前の手続きなど、具体的な説明やあらかじめ知っておくべき留學生活の基礎知識などについて、1冊にまとめた「留学の手引き」が毎年刊行されます。



- ・ 本学の学費とは別に、留学プログラムの参加費がかかるものもあります。
 - ・ 留学プログラムの内容、奨学金などは、年度により変更することがあります。
- 「留学の手引き」などの冊子物を参照するとともに、国際教育センター窓口、国際教育センターのホームページ等で留学する年度の情報を確認してください。

「留学の手引き」(毎年4月:国際教育センター発行)

「国際交流プログラムパンフレット」(毎年4月発行:国際教育センター発行)

以下のURLを参照ください。

●● ホームページ URL <http://www.toyo.ac.jp/life/15/22> ●●

◆◆各種留学プログラムの詳細◆◆

① 交換留学

本学が学生交換協定を締結している協定校あるいは海外学生交換コンソーシアムに加盟する大学等へ、1学期(※)または1年間留学するプログラムです。原則、留学先大学の授業料は免除となり、正規課程の授業を履修します。東洋大学では、82大学(2015年11月現在)と学術交流協定を締結し、またISEP(アイセップ)、UMAP(ユーマップ)の2つのコンソーシアムに加盟しています。

1学期または1年間の長期留学で自分の可能性を広げたい、海外の大学でじっくり勉強し、専門分野の知識を深めたい学生にお勧めします。

(※) アメリカ・ISEP留学のみ

応募資格

出願時において、以下の3点を満たしていること。

(1) 本学の学部、大学院生であり、GPA2.00以上(通算)であること。

※学部4年生は、本学大学院受験予定であること。なお出願時に成績発表前である学生はGPAを問わない。

(2) 留学意欲が充分にあり、留学先大学で生活、勉強することができるレベルの語学能力を有すること。

(3) 志望する留学先大学の語学条件などを満たしていること。

◎ ISEP (International Student Exchange Programs)

世界中の ISEP 加盟校間で大学生の交換留学を推進する、非営利のコンソーシアム(世界的な大学連合組織)

◎ UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific)

アジア太平洋地域における高等教育機関の学生・教職員の交流促進を目的として設立された団体で、同地域の単位互換による学生交流を進めています。

募集概要

留学先大学・募集人数は、年度により異なります。

出願する年度・時期の募集要項を国際教育センターホームページにて確認してください。

【参考】2016年度交換留学募集概要

留学先	【第Ⅰ期(2～3月出発)】 オーストラリア・韓国 【第Ⅱ期(8～9月出発)】 アイルランド、アメリカ、イギリス、カナダ、オランダ、スイス、台湾、中国、ドイツ、フランス、ブルガリア
募集人数	【第Ⅰ期】30名程度 【第Ⅱ期】100名程度
出願受付時期	【第Ⅰ期】7月【第Ⅱ期】11月
選考方法	書類審査・面接審査

対象奨学金

- ・東洋大学交換留学奨学金（交換留学生全員へ支給されます。申請不要。）
- ・東洋大学海外留学促進奨学金「グローバルリーダー型」（対象者には大学から通知します。申請不要。交換留学奨学金とは併給不可。）

②認定留学

認定留学制度とは、協定校の枠にとらわれず、学位授与権のある海外の大学へ留学する制度です。大学への出願・入学手続きは原則として各自で行いますので、留学に先立って十分な情報を収集し、綿密な計画を立てることが不可欠です。

応募資格

国際教育センターへの出願時において、以下の2点を満たしていること。

- (1) 本学の学部1～3年生、本学大学院進学予定の4年生、大学院生であること。
- (2) 留学先大学からの入学許可書を入手していること。

募集概要

留学先	学位授与権のある海外の大学の中から、自由に選べます。 ※大学附属の語学学校、短期大学、専門学校等は不可。
募集人数	15名程度
出願受付時期	春学期終了後に出発する場合(8～9月留学開始)：4月15日 秋学期終了後に出発する場合(2～3月留学開始)：11月15日 それ以外の時期に出発する場合：出発日の5ヵ月前 (例：5月1日に出発する場合は、前年の12月1日が締切日となる。) ※申請期日が窓口閉室の場合、その翌日を期日とする。
選考方法	書類審査・面接審査

対象奨学金

- ・東洋大学認定留学奨学金（認定留学生全員に支給されます。申請不要。）
- ・東洋大学海外留学促進奨学金「アクティブ型」（要申請）

教務課での事前相談について

交換留学および認定留学をすることが決定した学生は、留学終了後に最短で卒業および諸資格取得を可能にするために、履修手続き上注意すべき点（継続履修および学年進行に関わる科目、帰国後の授業・成績等）について、必ず履修登録前に教務課窓口まで相談にきてください。

③協定校語学留学

協定校語学留学とは、本学の海外協定校が運営する語学学校へ3ヶ月または6ヶ月の間留学するプログラムです。語学力の向上を目的とし、語学を学びながら異文化体験をします。

応募資格

出願時において、本学の学部1～3年生であること。
※語学力は問いません。

研修先・内容

留学先大学・募集人数は、年度により異なります。
出願する年度・時期の募集要項を国際教育センターホームページにて確認してください。

【参考】過年度協定校語学留学募集国・募集人数

春学期	アイルランド(20名)、アメリカ(25名)、イギリス(20名)
秋学期	アイルランド、アメリカ、イギリス(各コース20名)

対象奨学金

東洋大学協定校語学留学奨学金（出願時に所定の語学条件を満たした方へ支給。申請不要。）

東洋大学海外留学促進奨学金「アクティブ型」（要申請）

④短期語学セミナー

本学では、国際教育センター企画で夏季および春季休暇を利用した1～2ヶ月間の短期語学研修プログラムを実施しています。語学研修、学生交流、ホームステイ等を通じた語学力の向上及び異文化理解を目的としています。

応募資格

本学の学部、大学院生であること。
※語学力は問いません。

研修先・内容

募集年度の「国際交流プログラムパンフレット」または国際教育センターホームページにて確認してください。

【参考】過年度語学セミナー実施国・募集人数

夏季	アメリカ、イギリス、カナダ(各コース30名)
春季	アイルランド、アメリカ、オーストラリア、中国(各コース30名)

対象奨学金

東洋大学海外留学促進奨学金「ファーストステップ型」（要申請）

※英語研修に参加した学生は、最大2単位まで単位認定の申請をすることが可能です。

2016年度以降入学生

		国際地域学科 国際地域専攻		国際観光学科		国際地域学科 地域総合専攻	
英語研修	外国語科目	英会話Ⅰ	1単位	Basic Writing	1単位	一括認定単位(選択外国語)	1単位
		英会話Ⅱ	1単位	一括認定単位(選択外国語)	1単位	一括認定単位(選択外国語)	2単位
		英会話Ⅲ	1単位	一括認定単位(選択外国語)	2単位		
		英会話Ⅳ	1単位				
		英作文基礎	1単位				
		一括認定単位(選択外国語)	1単位				
		一括認定単位(選択外国語)	2単位				
中国語研修	外国語科目	中国語Ⅰ		1単位		一括認定単位(中国語)	1単位
		中国語Ⅱ		1単位			
		中国語Ⅲ		1単位			
		中国語Ⅳ		1単位			

◆海外インターンシップ・ボランティア◆

世界の企業でグローバルに働くための英語力・異文化理解・社会人マナーなどの社会人基礎力を育成することを目的とし、海外インターンシップ・ボランティアプログラムを実施しています。本プログラムでは、語学力の向上に加え、各国の経済状況や文化風習の違いを“働く”という社会経験を通じて体験し、今後の学生生活とキャリア形成に生かすことができます。

応募資格

本学の学部、大学院学生であること。
コースにより資格・条件あり（語学レベル等）。

研修先・内容

実施期間：夏季・春季休暇期間中（3～5週間）
実施コース

- ① ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～（ニュージーランド・マレーシアほか）
- ② オーストラリア・ブリスベン 小学校ティーチングアシスタント インターンシップ
- ③ スペイン・セビリア フラメンコ博物館インターンシップ（夏季のみ）
- ④ カナダ・ケローナ インターンシップ
- ⑤ USA・LA “グローバルキャリア” インターンシップ～企業ビジネス研修～
- ⑥ USA・ポートランド オーガニックレストラン&ケータリングインターンシップ（夏季のみ）
- ⑦ USA・シアトル インターンシップ
- ⑧ USA・グレイシャー国立公園 ホテルインターンシップ（夏季のみ）
- ⑨ USA・アラスカ ツーリズムインターンシップ（夏季のみ）
- ⑩ USA・シアトル ボランティア研修
- ⑪ USA・サンディエゴ ボランティア研修
- ⑫ オーストラリア・シドニー 幼児教育ボランティア
- ⑬ カナダ・バンクーバー 幼児教育ボランティア
- ⑭ オーストラリア・ブリスベン 自然環境保護ボランティア ほか

※実施コースおよび名称は変更になる場合があります。詳しくは、国際教育センターホームページで確認してください。

対象奨学金

東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」（要申請）

◆国際地域学部長期留学単位認定について◆

対象プログラム：交換留学・認定留学・学部長期留学（ダグラスカレッジ）・協定校語学留学

1. 単位認定について

留学先で修得した単位は、定められた期間に申請を行い、国際地域学部教授会において科目の適合性が認められることで、本学部開講科目の単位として認定することができます。単位の認定は、留学先における修得科目の内容及び時間数が本学開講科目の対応科目と合致することが条件です。そのためには、留学前に指導教員と勉強計画について十分話し合いをしておくことが重要です。

※協定校語学留学など、語学科目のみ履修する場合は専門科目の単位認定はできません。ただし、演習科目の取り扱いについては「5. 演習科目の認定について」を確認してください。

2. 単位認定スケジュール

期間	日程	内容	対象
渡航前	1～3月 *留学時期により異なる	説明会参加	全員
	出発約4ヶ月前まで 8～9月出発者 ⇒4月上旬	演習科目単位認定申請書の提出 (※5. 演習科目の認定について参照)	希望者
	2～3月出発者 ⇒10月上旬	卒業論文履修申請書の提出 (※6. 卒業論文履修要件について参照)	希望者
	随時	指導教員と留学先での履修科目やマンスリーレポート、帰国後のゼミについて相談	全員
留学中	随時	留学先での科目履修	全員
	毎月(翌月15日まで)	マンスリーレポートの提出	全員
	学期終了1ヵ月後まで	学期終了時報告の提出	全員
帰国後	毎月	演習課題の提出	該当者のみ
	帰国後1ヶ月以内	単位認定手続きに関わる資料提出 1)単位認定願等の本学書式 2)留学先での成績証明書 3)評価基準がわかる書類 4)修得した科目のシラバス 5)アカデミックカレンダー等の学修時間がわかる書類	全員

*スケジュールは変更することがあります。詳細は掲示で確認してください。

*単位の認定結果については、事務局・指導教員が確認を行った上で、教授会等の会議での承認を経た後に、通知します。

3. 認定基準

- 1) 原則として、授業内容が本学部開講科目と同等である必要があります。
- 2) 留学先大学で授与した授業時間数（または単位数）を考慮して認定します。
- 3) 年間認定単位数上限は34単位（演習科目含む）です。

※卒業論文は認定対象外です。

- 4) 留学先大学の合格基準に達した科目のみ申請できます。

※演習科目については「5. 演習科目の認定について」を参照

4. 認定方法

詳細な認定方法は、以下の通りです。認定後評価は「T (Transfer)」となります。

- 1) 個別認定

授業内容が本学部開講科目と同等である場合、学科教育課程表内科目に個別に認められます。

2) 一括認定単位

個別に認定が出来ない場合で、本学部の教育内容上有益と認められれば、海外留学一括認定として単位認定を行います。成績表・成績証明書の表記は「一括認定単位〇〇単位」となります。

5. 演習科目の認定について

必修科目の演習科目については、個別に認定を行いますが、下記要件を満たしている必要があります。

- 1) 渡航前に、演習科目単位認定申請書を提出していること。
- 2) 留学中、ToyoNet-ACEにおいてマンスリーレポート（※1）及び学期終了報告（※2）を提出していること。
- 3) <協定校語学留学のみ>留学中、指導教員から課される演習課題を提出し、合格基準に達していること。（※3）

※1	マンスリーレポート	当該月終了後に正課での学習状況のほか、正課外の交流活動の様子や振り返りなども含めてレポートを提出します。日本語の場合は原則1,000字以上、英語の場合は500単語以上での報告が必要です。
※2	学期終了報告	学期終了後に、履修科目ごとにその内容や成果、振り返りを記入して提出します。
※3	演習課題	指導教員の指示に従ってください。

6. 卒業論文履修要件について

下記要件を満たしていることが申請の条件となります。

- 1) 帰国セメスタが第8セメスタ以降であり、当該セメスタでの卒業が見込まれること。
- 2) 帰国後の単位認定手続きが当該セメスタの卒業判定に間に合う見込があること。
 (目安) 3月卒業：1月末日までに単位認定申請を終えることができる。
 9月卒業：7月末日までに単位認定申請を終えることができる。
- 3) 留学中も卒論執筆について指導教員の指導が受けられること。

留学中は最終セメスタ（東洋大学）の正規履修登録期間内に「卒業論文」の履修登録を行い、指導教員の指導の下、卒業論文執筆を進めてください。また帰国後は、速やかに卒業論文を提出してください。卒論提出日に間に合う場合は、当日提出してください。

7. その他注意事項

冒頭にもあるように、自分の成績表をよく確認し、専門の選択必修科目での不足が多い場合、留学先開講科目と本学選択必修科目に類似した科目を履修する等、卒業に支障が出ることをないように留学先での履修科目を決めるようにしてください。

- ・ 海外留学プログラムについての問い合わせ先
国際教育センター〔国際部国際推進課〕（8号館2階）
- ・ 学籍・履修・単位認定についての問い合わせ先
教務課窓口（6号館1階）

Toyo Global Leader プログラム (TGL プログラム)

TGL プログラムは、東洋大学生が国内外で活躍できるグローバル人材となるために「異文化環境における英語運用表現能力」、「文化的な価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の3要素を強化することを目的としています。これらの目的に沿って、「Gold」「Silver」「Bronze」のランクごとに認定要件を定め、各要件を満たした学生を、Toyo Global Leader として認定します。

◆認定要件◆

下記のとおり、ランクごとに認定要件が設定されています。

認定要件	TGL Gold	TGL Silver	TGL Bronze
(1) 英語能力 (TOEIC®)	730 点	590 点	なし
(2) 外国語による授業科目の修得	40 単位	20 単位	10 単位
(3) 英語での卒業論文等執筆	必須	推奨	推奨
(4) 海外留学・インターンシップ	必須	どちらかを 必須	推奨
(5) 海外アクティビティ	必須		推奨
(6) 東洋グローバルリーダーキャンプ	必須(運営)	必須(参加)	必須(参加)
(7) Toyo Global(TG)ポイント	30 ポイント	20 ポイント	10 ポイント

◆認定要件について◆

- (1) 英語能力
英語資格試験のスコアにより認定します。
TOEIC® (公開テストおよび IP テスト) のほか、TOEFL iBT®, TOEFL ITP®, IELTS™ のスコアを TOEIC® スコアに換算します。なお、スコアは在学中に受験したものに限りします。
- (2) 外国語による授業科目の修得
開講言語が外国語の授業科目および基盤教育の語学科目の修得単位数を加算していきます。また、海外留学や海外インターンシップ等により認定された科目の単位数も加算できます。
- (3) 英語での卒業論文等執筆
執筆言語を問わず卒業論文等(指導教員が認めるもの)を執筆した場合、所定のフォーマットで英文要旨を提出することで認定します。
- (4) 海外留学・インターンシップ
海外での活動が連続で 3週間以上の留学やインターンシップを対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。
- (5) 海外アクティビティ
上記(4)に該当しない、海外での活動が連続で 1週間以上の留学・研修・インターンシップ・ボランティア等の活動を対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。

- (6) 東洋グローバルリーダーキャンプ
本学で実施する「グローバルリーダーキャンプ」への参加（または運営チームとしての参加）により認められます。
- (7) Toyo Global(TG) ポイント
国内外の国際交流活動（海外留学、インターンシップ、ボランティア、国際シンポジウム等）および課外語学講座等への参加がポイントの対象となります。ポイントは各活動期間に応じて付与します。

●● 詳細は ToyoNet-ACE で確認してください ●●

ログイン ⇒ 「TOYO GLOBAL DIAMONDS（国際交流情報）」
コース ⇒ 「東洋グローバルリーダープログラム」

◆ TGL プログラムの仕組み ◆

一度の取り組みで複数の認定要件に当てはまる場合があります。

<例>

東洋グローバルキャンプに参加した。

認定要件	結果
(6) 東洋グローバルリーダーキャンプ	⇒認定（参加）
(7)Toyo Global（TG）ポイント	⇒2 ポイント付加

<例>

交換留学で1年間海外渡航（TOEFL550点を保有）。

留学先で英語による専門科目5科目を修得、東洋大学で5科目×2単位＝10単位が認定された。また、留学中1週間のボランティア活動に従事し、短期海外実習（1単位）が認定された。

認定要件	結果
(1) 英語能力	⇒認定（TOEIC730点に換算）
(2) 外国語による授業科目の修得	⇒11 単位加算
(4) 海外留学・インターンシップ	⇒要件クリア
(5) 海外アクティビティ	⇒要件クリア
(7)Toyo Global（TG）ポイント	⇒35 ポイント付加



国際地域学部国際地域学科国際地域専攻で行っている「英語特別プログラム（ESP）副専攻」では、Toyo Global（TG）ポイントを認定条件の一つとして使用します。

【TGL プログラム問い合わせ先】

国際部 国際連携本部事務課（白山キャンパス 雨水会館1階）

Tel：03-3945-8549

E-mail：ml-tgl@toyo.jp

ランゲージセンター 課外プログラム

ランゲージセンター（白山キャンパス 浦水会館 1 階）では、海外留学や英語力向上を目指す学生のサポートを行っています。英語によるライティング指導、各種テスト対策講座や英会話講座等を実施していますので、ぜひ活用してください。

◆各種プログラム◆

<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座

英会話を中心とした 4 キャンパスで学べる英語講座です。授業の空き時間を有効に使って毎日英会話を学べる少人数制グループレッスンと自分のレベルや希望に合った英会話を受講できるマンツーマンレッスンを開講しています。また夏休み、春休みの長期休暇中も英会話や TOEIC 対策の集中講座を開講し、年間を通じてプログラムを提供しています。

英語資格試験対策講座

春学期、夏休み及び秋学期に、TOEFL・TOEIC・IELTS のスコア向上を目的とした英語資格試験対策講座を実施しています。

コンファレンスライティング／スペシャルアカデミックライティング

2 週間に一度、決められたスケジュールで受講する 1 回 30 分×6 回の英文ライティング個人の指導プログラムです。カリキュラムに則り英語論文を書くための基礎的な知識とライティングスキルを学びます。春学期と秋学期に開講します。

ライティング・コンサルティング（ライティング相談）

英文ライティングに関するアドバイスを 30 分間個人で受けることができるプログラムです。海外プログラムへの申込書、英文履歴書、英語での卒業論文・要旨作成等に利用可能です。

特別講座（Special Programs）

長期留学や海外インターンシップ等、特に高度なスキルが要求されるプログラムの準備対策講座を開講しています。プログラム詳細については開講時にお知らせします。

- ・長期留学出発直前対策講座（7 月末～8 月初旬／2 月上旬）
- ・長期留学出願書類、面接準備講座（9 月下旬～10 月）
- ・特別長期インターンシップ出願準備講座（1 月～5 月）

講座内容・募集の詳細については、ToyoNet-ACE「TOYO GLOBAL DIAMONDS（国際交流情報）」、東洋大学ホームページ（スーパーグローバル事業サイト）、もしくは下記窓口にてご確認ください。

- ・課外プログラムについての問い合わせ先
国際部 国際連携本部事務課／ランゲージセンター
（白山キャンパス 浦水会館 1 階）
Tel：03-3945-8172
E-mail：ml_lc_global@toyo.jp

◆ LEAP (Learning English for Academic Purposes) プログラム ◆

LEAP^{リープ}は、将来海外留学を目指す学生を主な対象とし、留学に必要な英語力を習得することおよび TOEFL のスコアアップを目標とした英語プログラムです。各学部教育課程の基盤教育に配置されていますが、授業は英語で行われるため、内容を理解し、学修到達目標を達成するためには、ある程度の英語力が求められます (TOEFL ITP400 点以上が目安)。履修修得した単位は、卒業単位に認められます。

LEAP プログラムは大きく EAP と PSA に分かれます。

(1) EAP (English for Academic Purposes)

リーディング／ライティング (週 2 コマ)、リスニング／スピーキング (週 2 コマ) の技能ごとに、科目の内容が分かれています。

(2) PSA (Pre-Study Abroad)

すでに留学が決まっている学生あるいは TOEFL で高得点を取得している学生 (TOEFL ITP500 点以上が目安) が受講可能です。留学先での勉学や学生生活をより実り多きものとするために必要なスキルを学ぶための留学準備コースです。

各種手続

学生生活を過ごすうえで重要な各種手続について説明します。

自らの学修活動に支障をきたすことがないように、履修要覧を熟読し、学生生活を実りあるものにしましょう。不明な点があれば教務課窓口へ問い合わせてください。

各種相談や事務取扱窓口について

大学では、皆さんがいつでも学修や大学生活について相談できる体制が整えられています。授業や学生生活に関する悩みごとなどの相談、休学などの学籍異動に関する手続等については、以下の窓口にて相談してください。

窓口時間は学生の長期休暇、大学祭などにより変更となる場合があります。掲示や大学ホームページなどでお知らせしますので、随時確認してください。

◆各種相談窓口◆

相談内容	担当	場所	窓口時間	参照ページ
授業に関する相談	教員	研究室等	オフィスアワー	p.25 「教員との連絡」を参照してください。
履修登録 成績 休学／復学／退学／転部・転科 各種証明書 教職 その他教務全般	各学部 教務課	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～20:30	履修登録 … p.19～20 成績 … p.30～31 休学／復学 … p.177～179 退学 … p.180～181 転部・転科 ……… p.183 各種証明書 … p.185～186 教職 … p.120～133
学生生活における悩みごとの相談	学生相談室	6号館1階	土 9:30～12:45 17:30～20:00	
奨学金に関すること サークル等課外活動に関する こと	学生支援課	6号館1階		
学習方法などに関する相談・ 支援	学修支援室	3号館1階 ナレッジ スクエア	詳細はHP、掲示板で確認 してください。	p.29
教員採用に関する支援	教職支援室	3号館1階 ナレッジ スクエア		p.132
病気・ケガなどの身体に関わる こと 健康診断等	医務室	6号館1階	医師診療時間 月～金 9:30～20:30 土 9:30～12:45 17:30～20:00 ※医師診療時間については 「学生生活ハンドブック」 にて確認してください。	
就職に関する相談	就職・キャリア支援課	6号館1階	月 9:30～17:45 火～金 9:30～19:45	
障がい学生支援に関する こと	バリアフリー推進室	6号館1階	9:30～13:00 14:00～18:30	
海外留学に関する相談	国際教育センター	8号館2階	月～金 9:30～13:00 14:00～16:45 土 9:30～12:45	
図書館資料に関する こと	附属図書館	2号館1階	HPにて確認してください。	
納付金に関する こと	財務課	9号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～16:45 土 9:30～12:45	p.187～189

学籍情報

◆学籍番号◆

みなさんには、「学籍番号」という10桁の固有番号が付与されています。原則卒業まで変わることはありません。番号は以下のとおり、所属学部・学科、入学年度などを表しています。履修登録や試験の解答用紙の提出、各種届け出、証明書の申請にあたっては、学生本人を特定する番号となりますので正確に記入してください。

【学籍番号の例】

1	8	1	0	1	6	0	9	9	9
学部・学科コード(※1)				入学年度 (西暦下2桁)		学生区分 (※2)	番号(001～)		

※1 学部・学科コード

1810	国際地域学部	国際地域学科	国際地域専攻
1820	国際地域学部	国際観光学科	
2810	国際地域学部	国際地域学科	地域総合専攻

※2 学生区分

0	通学課程
9	科目等履修生

◆学生証◆

◎学生証裏面シール
通学定期乗車券発行用証明書のこと。現住所等を記入し貼付してください。

本学の就学手続が完了した学生に学生証を交付します。学生証は本学学生としての身分を証明するものですので、常に携帯してください。また学長印、学生本人の写真、裏面シールの貼付が無いものは無効となります。学生証は他人に貸与、または譲渡することはできません。

Point

～学生証の携帯義務～

学生証は本学学生としての身分を証明するものであるため、常に携帯し、次の場合これを提示しなければなりません。

- 1) 本学の教職員の請求がある場合
- 2) 定期試験を受験する場合
- 3) 各種証明書や学生旅客運賃割引証明書(学割)等の交付を受ける場合
- 4) 通学定期乗車券や学生割引乗車券を購入する際と、それを利用して乗車船した際に係員の請求があった場合、等

学生証がないと各種証明書の発行が受けられません。また、図書館の利用、定期試験の受験、通学定期券の購入等ができませんので、紛失・汚損・破損のないよう十分注意してください。

<有効期限と更新手続>

入学時に交付を受けた学生証は卒業するまで使用しますが、学生証の有効期限は4月1日から次年度の4月15日までの約1年間です。毎年4月初旬の進級手続期間内に、学生証の裏面シールを貼りかえ、学生証の有効期限の更新を受けなければなりません。

※進級手続の日時等は、ToyoNet-Gでお知らせします。

<返還>

卒業または退学・除籍等の理由で、本学に籍が無くなった場合は、学生証を本学に返還しなければなりません。

<再発行>

学生証を紛失もしくは破損・著しく汚損した場合は、直ちに本学へ届け出し、以下の手続に従って学生証の再発行をしなければなりません。

●手続きの流れ●

①学生支援課窓口で遺失物届出の確認



②証明書発行機で学生証再発行届を出力



③学生支援課窓口で再発行届に確認印を受領



④教務課窓口にて上記③の再発行届を提出



⑤1週間後、各学部窓口で学生証を受領



- ・学生証の再発行には1週間かかります。
- ・再発行手数料として2,000円がかかります。
- ・申込キャンセルによる手数料の返金はできません。

<証明書発行機で使用する暗証番号>

第三者に不正使用されないために、4桁の数字の暗証番号が登録されています。オンライン入学手続時に届け出た暗証番号は、証明書発行機で証明書等を発行する際に必要です。メモなどを取り、必ず覚えておいてください。

◆◆学籍情報の変更◆◆

本学の入学手続時に届出した情報に変更が発生した場合は、教務課窓口で所定の用紙に変更箇所を記入し、速やかに届け出てください。なお、変更内容によっては、「ToyoNet-G」の「学生メニュー」>「個人情報管理」>「学生情報申請」を利用して変更が可能です。

④ ToyoNet-G p.8
④ 教務課窓口 p.172

変更内容	変更方法		注意事項 (提出書類など)
	教務課窓口	ToyoNet-G	
本人氏名変更 (改姓・改名)	○	×	戸籍抄本を提出してください。
本人住所、連絡先変更	○	日本国籍学生…○ 外国籍学生… 住所変更は×	外国籍学生は住民票の提出が必要です。
最寄駅変更	○	○	
保証人変更	○	×	新しい保証人の署名・捺印が必要です。
保証人住所、連絡先、勤務先変更	○	○	
緊急時連絡人変更	○	×	
緊急時連絡人住所、連絡先変更	○	○	
本籍地変更	○	×	住民票(本籍の記載があるもの)、または戸籍抄本の提出が必要です。
在留資格・在留期間等変更(外国籍学生対象)	○	×	住民票(国籍・在留資格・在留期間の記載があるもの)を在留期間終了前に提出してください。

◆◆修業年限・在学年限・休学期間◆◆

<修業年限>

卒業するために最低4年間在学しなければなりません。この期間を「修業年限」と呼びます。

<在学年限>

大学に在学できる期間は最長8年間です。これを「在学年限」と呼びます。8年を超えての在学はできません。ただし、休学期間は在学年限に含まれません。

<休学期間>

休学期間は通算して8学期(4年間)を超えることができません。

◆◆4年原級◆◆

本学に学生として最低4年間在学し、所定の単位を修得しなければ卒業はできません。

4年次終了までに所定の単位数を修得できず、卒業できないことを4年原級といいます。卒業に必要な単位を修得するために通算して在学できる年数(在学年限)は、最長で8年間ですので、その年限までは所定の単位数を取得するまで4年生を繰り返すこととなります。



・卒業できなかった学生は、教務課より郵送される要領に従って、教務課で手続きをしてください。

通常の在学年限	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	第9セメスタ	第10セメスタ	第11セメスタ	第12セメスタ	第13セメスタ	第14セメスタ	第15セメスタ	第16セメスタ
									← 原級 →							

1年間休学した場合	1年目		2年目		1年休学	3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ		第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	第9セメスタ	第10セメスタ	第11セメスタ	第12セメスタ	第13セメスタ	第14セメスタ	第15セメスタ	第16セメスタ
									← 原級 →								

④ セメスタ p.16

休学および復学

◆◆休学について◆◆

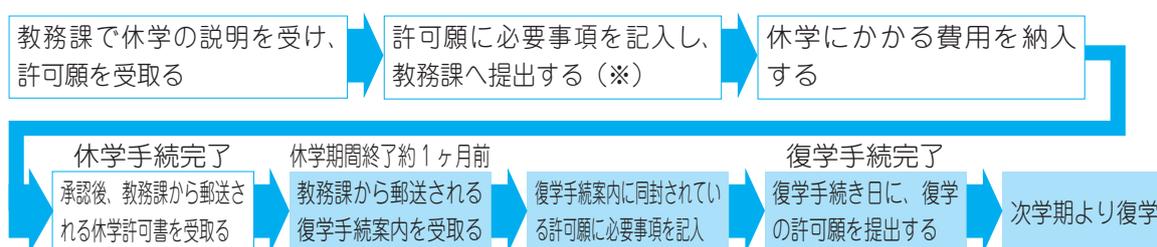
病気・家庭の事情・留学等の理由で3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得てその学期を休学することができます。

休学希望者は、教務課で休学の説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、教務課に提出してください。なお、病気・怪我による場合には、許可願に併せて医師の診断書の提出が必要となります。

以下の項目は、学期初めからの休学について説明しています。学期途中の休学についてはp.172「Notice」を確認のうえ、教務課窓口で詳細の説明を受けてください。

◆◆休学および復学手続の流れ◆◆

◎許可願の書き方
p.179



手続きについては、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続きできない場合は、事前に教務課へ相談してください。

※許可願には、保証人自筆の連署・捺印が必要です。

また、原則、許可願提出の前に担任教員と面談をする必要があります。

◆◆休学の期間と許可願の提出期限◆◆

学期初めからの休学希望者は、定められた期限までに許可願を教務課に提出しなければなりません。

	休学期間	提出期限
春学期	4月1日～9月30日	春学期納付金納入期限まで
秋学期	10月1日～3月31日	秋学期納付金納入期限まで

原則として連続する2セメスタを超えて休学することはできません。ただし特別な事情がある場合は大学の許可を得て休学することができます。休学の期間は通算して、8セメスタを超えることはできません。



休学希望者は休学する前のセメスタの定期試験期間を目安に教務課窓口にご相談してください。

2セメスタ連続休学を希望する場合は、各セメスタごとに手続が必要です。

◆各学期の休学にかかる費用◆

許可願提出後、各学期の納付金納入期限末日までに以下の納付金を納入することで、休学許可願申請が完了します。

学費	+	その他の費用	
一般施設設備資金 の1/2		雨水会費	学生課外活動 育成会費

※秋学期休学の場合、「その他の費用」については春学期に徴収済のため、納付の必要はありません。

④ 学籍異動に必要な納付金
p.187

納付金の詳細一覧がP 187にありますので、確認してください。



学期によって異なる部分があります。休学するためにかかる費用については教務課に必ず相談してください。

Notice

～学期途中の休学について～

春学期途中に休学する場合、春学期最終日の3ヶ月前の6月末日まで、秋学期途中に休学する場合、秋学期最終日3ヶ月前の12月末日まで受付をします。ただし、学期途中での休学の場合、納付金の返還はできませんので注意してください。

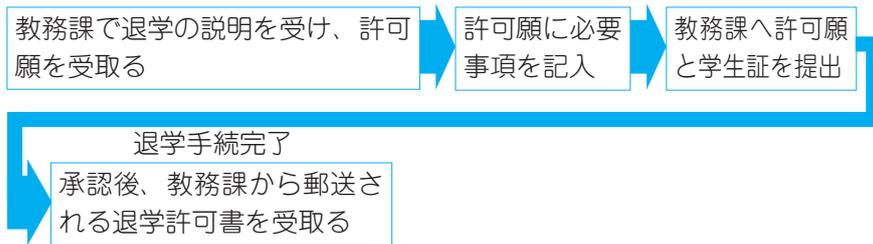
退学

事情により本学での修学が困難な場合は、大学の許可を得て退学することができます。

退学希望者は、教務課で退学の説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し学生証を添えて教務課に提出してください。なお、病気・怪我による退学の場合には、許可願に併せて医師の診断書の提出が必要となります。

許可願は、原則教務課窓口で説明を受けた後、教務課にて受取ってください。直接教務課に行くことが困難な場合は、ToyoNet-Gからダウンロードすることもできます。

◆退学手続の流れ◆



手続については、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続きできない場合は、事前に教務課窓口へ相談してください。

※許可願には、保証人自筆の連署・捺印が必要です。

また、原則、許可願提出の前に担任教員と面談をする必要があります。

◆退学許可願の書き方◆

学期末日で退学する場合
 春学期：20●●年9月30日
 秋学期：20●●年3月31日

退学を○で囲んでください。

学生本人が自筆すること

印鑑は別々の物を使用すること
 シャチハタは不可

保証人本人が自筆すること

退学理由を詳しく記入すること

◆◆学費の取り扱い◆◆

- ①春学期途中で退学する場合
 - ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しません。
 - ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻します。
- ②秋学期途中で退学する場合
 - ・秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しません。

④ 納付金 p.187

新学期の納付金納入期限末日までに退学を願い出た場合、退学日を前学期の末日付として扱うため、当該学年・学期の納付金を納入する必要はありません。

◆◆許可書の発送について◆◆

大学から許可されると第1部学生は保証人宛に、イブニングコースの学生は学費支弁者宛に退学許可書が郵送されます。

除籍

除籍とは、本学の学則およびその施行のために定められた規則に基づく権利の一切を失うことです。

次に該当する場合は、除籍の対象となります。

- ①指定された期間内に納付金を納入しなかった学生
- ②在学年限を超えた学生
- ③定められた休学期間を超えた学生
- ④新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生
- ⑤その他本学において修学の意思がないと認められる学生

④ 修業年限・在学年限・
休学期間 p.175

◆◆ 除籍日 ◆◆

在校生の除籍日は9月30日又は3月31日となり、新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生の除籍日は4月30日となります。

◆◆ 除籍となった場合 ◆◆

除籍となった場合、速やかに学生証を返却しなければなりません。なお、除籍通知書は保証人宛に郵送します。

再入学

本学を退学した者、または除籍となった者が、再び本学への入学を希望する場合、大学の許可を得て再入学することができます。

再入学を希望する者は、下記の日程までに教務課で手続きの説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、保証人連署・捺印の上、教務課窓口へ提出してください。

	許可願提出期限	再入学日
春学期(4月)から再入学を希望する者	1月末まで	翌年度 4月1日付
秋学期(10月)から再入学を希望する者	7月末まで	当該年度 10月1日付

！ 在学時と同じ学部・学科・専攻・コースへの再入学のみ希望することができます。

下記の条件により退学・除籍した者は再入学を希望することはできません。

！
 退学者：在学年限を超えて退学した者
 懲戒により退学となった者
 除籍者：在学年限を超えて除籍となった者
 休学期間を超えて除籍となった者

Notice

再入学する学年およびセメスタは、本学での最終学籍状況によって異なります。単位の修得状況によっては学年を繰り下げる場合があります。また、学科教育課程表は当初の入学年度のものを適用しますが、学科教育課程表が大きく変わっている場合には、再入学する学年の学科教育課程表を適用することがあります。履修方法は、再入学手続き時に教務課窓口で説明をします。不明な点は、教務課へ問い合わせてください。

その他の学籍異動

◆◆転部・転科◆◆

本学内で他の学部・学科への転部・転科を希望する学生に対し選考を実施します。転部・転科先の学年は2年次または3年次となります。

📄 掲示板 p.7

11月配布予定の試験要項に基づいて手続をし、12月実施予定の試験を受験してください。また、合格発表は翌年3月下旬に行う予定です。試験要項と手続案内については学内掲示で確認してください。詳細は、教務課へ問い合わせてください。

◆◆懲戒による退学◆◆

本学の規則に反し、または学生の本分に反する行為があった学生は、大学の決定を受けて懲戒による退学となる場合があります。

◆◆編入学◆◆

本学または他大学を卒業後に編入学を希望する者に対して、編入学試験を実施しています。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

編入学する学年は、原則として3年次となります。また、学科教育課程表も編入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、編入学の手続時に教務課で説明をします。不明点は、教務課へ問い合わせてください。



本学を卒業した者は、卒業した学部・学科への編入学はできません。

◆◆転入学◆◆

他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出る場合、本学の実施する転入学試験を受験する必要があります。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

転入学する学年は、原則として2年次または3年次となります。また、学科教育課程表も転入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、転入学の手続時に教務課で説明をします。不明点は、教務課へ問い合わせてください。

◆◆科目等履修生◆◆

特定の授業科目を履修しようとする場合、科目等履修生として当該授業科目の履修をすることができます。

本学に在籍中は科目等履修生として授業科目を履修することはできません。

詳細は、教務課窓口にお問い合わせください。

各種証明書

◆在籍時に発行できる証明書等の種類◆

以下の証明書等が発行できます。

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・ 在学証明書 ・ 成績証明書 ・ 健康診断証明書 ・ 履修科目証明書 ・ 卒業見込証明書	100 円	証明書発行機から直接	即日	・ 健康診断証明書は当該年度に大学が実施する定期健康診断を受診した学生のみ発行可能です ・ 卒業見込証明書は 4 年次の 4 月 1 日以降に発行可能です
・ 教育職員免許状取得見込証明書	100 円	証明書発行機から直接	即日	・ 4 年生次の 10 月 1 日以降に発行可能です
・ 学割 ・ 情報システム利用通知書	無料	証明書発行機から直接	即日	・ 発行枚数に上限があります
・ 兄弟等の授業料減免に係わる証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入 (学生支援課窓口へ提出)	1 週間	
・ 奨学金受給証明書 ・ 奨学生推薦書	300 円	証明書発行機で申込書を購入 (学生支援課窓口へ提出)	1 週間	・ 奨学金受給証明書(英文)の場合は国際推進課へ提出してください。
・ 人物証明書	200 円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	右記のとおり	・ 原則として大学所定用紙に卒論担当教員が必要事項を記入後、証明手続きを行います ・ 記入済み所定用紙を教務課窓口へ持参してください
・ 在籍証明書	300 円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	即日	・ 休学中の学生のみ発行可能です
・ 英文在学証明書 ・ 英文卒業見込証明書 ・ 英文在籍証明書	500 円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	・ 英文卒業見込証明書は 4 年次の 4 月 1 日以降に発行可能となります ・ 英文在籍証明書は休学中の学生のみ発行可能です
・ 英文成績証明書	1,000 円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	1 週間	
・ 学生証再発行 (通学定期乗車券発行用証明書含む)	2,000 円	証明書発行機で申込書を購入 (学生支援課窓口→所属学部教務課窓口の順に提出)	1 週間	・ 申込キャンセルによる手数料の返金はしません
・ その他の証明書 (指定書式での証明書発行を含む)	300 円	証明書発行機で申込書を購入	1 週間	・ 必要な証明書については教務課または学生支援課に相談してください

※科目等履修生が和文の証明書を発行する場合は、一律 300 円がかかります。

英文証明書及びその他の申込等は上記のとおりです。

◆卒業後に発行できる証明書の種類◆

以下の証明書が発行できます。証明書の申し込み方法は郵送と窓口受取のどちらでも受け付けています。電話・FAXでの申し込みはできません。
詳細は大学ホームページを確認してください。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/site/syoumeisyo/> ●●
(各種証明書発行ページ)

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・卒業証明書 ・成績証明書	200円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	即日	
・単位修得証明書 ・学力に関する証明書 ・社会福祉主事単位修得証明書	300円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	1週間	
・人物証明書	200円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	即日	・在籍時に人物調査書を提出した者のみ発行可能です ・卒業後3年以内まで発行可能です
・英文卒業証明書	500円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	1週間	
・英文成績証明書	1,000円	証明書発行機で申込書を購入 (所属学部教務課窓口へ提出)	1週間	
・その他の証明書 (指定書式での証明書発行を含む)	300円	証明書発行機で申込書を購入	1週間	・必要な証明書については教務課または学生支援課に相談してください

※科目等履修生が和文の証明書を発行する場合は一律300円がかかります。
英文証明書は上記のとおりです。

◆証明書発行機◆

④ 学生証の暗証番号
p.174

在学証明書や成績証明書、学割など、一部の証明書は証明書発行機より直接発行することができます。証明書発行機を使用する際には、学生証と、あらかじめ登録した暗証番号が必要となります。

! 稼働時間は学生の長期休暇、大学祭などにより変更となる場合があります。
・窓口時間及び稼働時間は掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

証明書発行機設置場所	稼働時間
2号館1階	月～金 9:00～20:30
6号館1階	土 9:00～13:00
8号館4階	17:00～20:30 ※
	※ 6号館1階のみ稼働

納付金

定められた期間に納付金を納入しなければ、本学の学生として、在籍することはできません。指定された期間に必ず納入してください。

◆◆納付金額◆◆

◎学費とその他の費用
「学費」とは授業料等の大学徴収分を指し、「その他の費用」とは各団体からの受託徴収分を指します。

「学費」と「その他の費用」を合わせて「納付金」と称します。2年次以降は、入学金を除く納付金の納入が毎年度必要になります。納付金の内訳は以下のとおりです。

【2016年度入学生納付金】 (単位：円)

国際地域 学部	学費			その他の費用		合計
	入学金	授業料	一般施設 設備資金	雨水会費	学生課外活動 育成会費	
第1部	250,000	680,000	220,000	5,000	5,000	1,160,000
イブニング コース	180,000	430,000	100,000	—	5,000	715,000

◆◆納入期間◆◆

納付金は、4月期（春学期納入期間）に1年間分を全額一括納入することが原則です。ただし、授業料・一般施設設備資金については次の二期に分けて納入することができます。

第1期（春学期）納入期間 4月1日～4月25日
第2期（秋学期）納入期間 10月1日～10月15日



各年度の曜日の関係により、納入期間が短縮される場合があります。

◆◆学籍異動における納付金の取扱◆◆

◎休学／復学
p.177

【休学】

学期始めに休学する場合は、納付金の納入期間内に休学許可願を教務課に提出してください。

＜第1期（春学期）の納入期限までに休学を願い出た場合＞

- ・休学日を4月1日付として扱い、納付金のうち、第1期（春学期）分の授業料は納入する必要はありません。
- ・全額一括納入した場合は、第1期（春学期）分の授業料および第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜春学期中に休学する場合＞

- ・春学期の途中で休学する場合、第1期（春学期）の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜第2期（秋学期）の納入期限までに休学を願い出た場合＞

- ・休学日を10月1日付として扱い、納付金のうち、第2期（秋学期）分の授業料は納入する必要はありません。

- ・第2期（秋学期）分の納付金を納入した場合は、第2期（秋学期）分の授業料を払い戻しいたします。

<秋学期中に休学する場合>

秋学期の途中で休学する場合、第2期（秋学期）の納付金は払い戻しをいたしません。

<2セメスタ連続して休学する場合>

連続休学する場合、次学期分の授業料を除く納付金は納入しなければなりません。

【復学】

- ・休学者が復学する場合の納付金は、入学年度の額が適用されます。
- ・第2期（秋学期）に復学する場合は、復学時に1セメスタ（半期）分の納付金を納入することになります。
- ・1セメスタ（半期）休学する場合、全額一括納入・分割納入の選択が可能な納入期は、第1期（春学期）とします。

④ 除籍 p.182

【除籍】

所定の納期までに納付金を納入しない学生は、学則第38条1項により、除籍とします。

④ 退学 p.180

【退学】

修学の意思がない場合は、納入期間内に退学許可願を教務課に提出してください。

<新学期の納入期限の末日までに退学を願い出た場合>

退学日を前学期の末日付として扱い、当該年度・学期の納付金を納入する必要はありません。

<春学期中に退学する場合>

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しいたします。

<秋学期中に退学する場合>

秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。

④ 再入学 p.183

【再入学】

再入学する場合の納付金は、再入学する学年次の納付金を適用します。ただし、入学金は、再入学する年度の新入生の半額となります。

④ 4年原級 p.175

【原級】

4年次生で原級する場合の納付金は、当該年度正規4年次生の納付金を適用します。

④ 転部・転科 p.184

【転部・転科】

納付金は転部・転科先の学年の納付金を適用します。ただし、入学金は、転部・転科先との不足分を納入することになります。

④ 編入学／転入学 p.184

【編・転入学】

編入学する場合の納付金は、編入学する年度の新入生の納付金を適用します。ただし、本学出身者が編入学する場合、入学金は、編入学する年度の新入生の額の半額となります。

◆◆振込用紙の送付◆◆

- ・ 振込用紙の送付先は、第1部学生…保証人宛て／第2部学生…入学時に選択した宛先／留学生…本人宛て、となります。
- ・ 入学手続時（1年次）に分割納入した場合、2回目の納入に使用する振込用紙は9月末に郵送します。
- ・ 2年次以降は毎年3月末（全納用と分納1回目用）と9月末（分納2回目用）に振込用紙を郵送します。

④ 学籍情報の変更
p.175



振込用紙送付先の住所に変更があった場合は、所定の手続により、住所変更の手続を行ってください。

◆◆納入方法◆◆

- ・ 本学所定の振込用紙を使用し、国内の金融機関から振り込んでください。大学窓口での受付および海外からの送金はできません。
- ・ 振込用紙を紛失した場合は、至急、財務課まで連絡してください。
- ・ 納付金に関する証明書の発行が必要な方は、財務課にて申請してください。
- ・ 納入された納付金は、超過納入が明らかな場合または学籍異動に伴い徴収の対象とならない場合を除き返還いたしません。

◆◆納入期間内に納入ができない場合◆◆

④ 学生支援課窓口
p.172

やむを得ない事情で納入期限までに納付金を納入できない場合は、**必ず納入期間内**に学生支援課に相談し、所定の手続きを行ってください。

2016年3月 印刷
2016年4月 発行

編集 発行 東洋大学国際地域学部

<http://www.toyo.ac.jp/site/rds/>

〒112-8606 東京都文京区白山5丁目28番20号

2016 年度入学生
履修要覧
国際地域学部

学籍番号

【諸注意】

- この「履修要覧」は、2016 年度入学生に適用されるものであり、2015 年度以前の入学生には適用されません。
- この「履修要覧」は、卒業時まで使用します。再配布しませんので、大切に使用してください。
講義内容に関しては、「シラバス（講義要項）」に掲載されています。
- 記載内容の変更等については、掲示にてお知らせいたします。